

No. 7

現代の現象



緒言

一本集ハ本社並直系事業所及分身會社ニ於ケル成文例規中主ナルモノヲ輯録ス
 獨立ノ規程ヲ有セザル分身會社ニ於テハ特別ノ定メアルモノ、外本社ノ諸規程ヲ
 準用スルモノトス
 一本集ハ内容ノ補正ヲ自由ナラシムル爲メ加除式トシ規程ノ改廢及新規通達ハ適宜
 追録ヲ印行シ送付スベキニ付其ノ都度直ニ之ヲ整理シ置カレタシ
 一本集ハ外部ニ對シテハ嚴ニ秘密扱トシ事業所、營業所ノ閉鎖其ノ他ノ爲メ不用ト
 爲リタル場合ハ直ニ當部ニ返還セラレタシ
 一本文主題ニ〇印ヲ冠セルモノハ當該分身會社ニノミ適用スル規程ナリ
 一本集ニ於テ分身會社トハ左記各社ヲ指稱ス

- | | |
|-----------|------------|
| 株式會社鈴木商店 | 株式會社日本商業會社 |
| 株式會社浪華倉庫 | 豐年製油株式會社 |
| 南滿洲物産株式會社 | 帝國汽船株式會社 |
| 日本金屬株式會社 | 支那樟腦株式會社 |

- | | |
|---------------|------------|
| 帝國樟腦株式會社 | 株式會社日沙商會 |
| 日本輪業株式會社 | 米星煙草株式會社 |
| クロード式窒素工業株式會社 | 第一窒素工業株式會社 |
| 長府土地株式會社 | 南朝鮮製紙株式會社 |

昭和二年三月

鈴木合名會社總務部

現行例規集目次

第一編 職制 執務手續 職務權限

◎鈴木合名會社職制.....	一
○株式會社 鈴木商店職制.....	五
○株式會社 鈴木商店事務分掌規程.....	六
○株式會社 鈴木商店監查課規程.....	九
○株式會社 業務監查ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	一〇
○株式會社 業務監查手續ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	一一
○株式會社 支店業務監查ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	一三
○株式會社 本支店事務刷新竝執務方ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	一三
○株式會社 商品賣買日報及商品手持殘高表ノ件(株式會社鈴木商店).....	一六
○株式會社 主要商品手持高表ノ件(株式會社鈴木商店).....	一〇
○株式會社 各所商況週報ノ件(株式會社鈴木商店).....	一一
○株式會社 本店各課商況週報ノ件(株式會社鈴木商店).....	一三
○株式會社 本店各課賣買案內書ノ件(株式會社鈴木商店).....	一三
○株式會社 本店各課賣買約通知票ノ件(株式會社鈴木商店).....	一六

◎ 賣買契約其ノ他外部ニ對スル權利義務ニ關スル書類ノ件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 重役支配人要署名捺印書類ノ件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 本店貨物受渡ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 大阪支店貨物受渡及本店貨物課トノ連絡ニ關スル件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 營業費科目ノ件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 本店當直宿直規程(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 電報並郵便物差出方ノ件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 第一室素工業株式會社工場處務規程.....	三六
◎ 度量衡器取扱ニ關スル件.....	三六
◎ 職員被用人發明ヲ爲シタル場合ノ取扱内規.....	三六
◎ 海外渡航者紹介ニ關スル件.....	三六
◎ 紹介シタル海外視察渡航者接待ノ狀況等通報方ノ件.....	三六
◎ 記帳係ノ職分ニ關スル件.....	三六
◎ 旅行日報ニ關スル件.....	三六
◎ 職員預金及立替金取扱規定ノ件.....	三六
◎ 特別ノ事情アル場合職員ニ金品ノ融通ヲ爲スノ件.....	三六
◎ 穿孔郵便切手使用方ノ件.....	三六
◎ 東京神戸間私送郵便ノ件.....	三六
◎ 嘱託辯護士濱宇津惇一郎氏利用ニ關スル件.....	三六
◎ 濱宇津顧問辯護士依囑ニ關スル注意ノ件(株式會社鈴木商店).....	三六
◎ 和文電信暗號使用ノ件.....	三六
◎ 記帳用標準數字ニ關スル件.....	三六

第二編 本家

- ◎ 本家參趨方ノ件…………… 六五
- ◎ 本家贈與品ニ關スル件…………… 六六
- 御家様寫眞贈與ノ件…………… 六六
- ◎ 本家慶弔金ニ關スル件…………… 六七

第三編 社風 紀律

- ◎ 職員服務心得…………… 六八
- ◎ 懦弱淫逸ヲ避ケ剛健整實ノ氣象養成ニ關スル件…………… 七〇
- ◎ 浮華輕佻ヲ避ケ質素朴實ヲ旨トスル件…………… 七〇
- ◎ 形式的諸禮ヲ廢スル件…………… 七一
- 年賀狀交換廢止ノ件…………… 七一
- 中元贈答暑中見舞遣取全廢實行ノ件…………… 七二
- ◎ 店員技術員等出張ノ際宴席ヲ設ケ歡待セザル件…………… 七三
- 店員等地方出張ノ際多人數送迎ヲ爲サザル件…………… 七三
- ◎ 店用々紙葉書及郵便切手等ヲ私用セザル件…………… 七四
- ◎ 擅ニ他會社ニ關係スベカラザル件…………… 七四
- 擅ニ他會社ノ株式ヲ取得スベカラザル件…………… 七五
- ◎ 關係會社重役報酬金納入ノ件…………… 七五

第四編 執務時間 休日 休暇

- ◎本社休日ニ關スル件……………七七
- 日曜日及祝祭日事務綜合セ交代休養ヲ爲ス件(株式會社鈴木商店)……………七七
- ◎職員勤務調ニ關スル件……………七九
- ◎職員慰勞休暇規程……………八〇

第五編 業 務

- ◎資本節約方ノ件……………八三
- ◎財界不況時ニ於ケル商業上注意ノ件……………八四
- 各所取引先信用調査ニ關スル件(株式會社鈴木商店)……………八六

第六編 職員

第一章 採用 身分 賞罰

- ◎分身會社所屬職員ニ關スル件..... 六九
- 分身會社所屬職員ノ進退及待遇ニ關スル通達ノ件..... 九三
- ◎採用者ニ對スル誓約書竝身元引請證ニ關スル件..... 九三
- 引請人身上異動届出方ノ件..... 九六
- クロード式窒素工業株式會社及同分身會社所屬職員ニ對スル特別誓約書ノ件..... 九六
- ◎各所備人ノ件..... 九九
- ◎見習員制度廢止及准店員ノ階級新設ノ件..... 一〇〇
- ◎本社及分身會社職員行賞及懲戒ニ關スル規程..... 一〇一
- ◎職員非職規程..... 一〇三
- 非職者心得..... 一〇四

第二章 願 届

- ◎職員願届ニ關スル件..... 一〇五

- ◎職員出張ノ場合發着月日宿所等ヲ最寄事務所へ通知方ノ件..... 一〇七
- ◎職員本店來訪ノ節氏名宿所等受付係へ通知方ノ件..... 一〇八
- ◎職員不正確氏名訂正ノ件..... 一〇八

第七編 職員待遇

第一章 俸給 手當

- ◎入店、退店ノ月ノ俸給算定方ノ件.....102
- ◎轉勤ノ場合ニ於ケル給與負擔方ノ件.....103
- 轉勤者ニ對シ給料前渡シセザル件.....110
- ◎家族手當ノ件.....111
- ◎内地在勤者社宅及住宅手當ノ件.....113
- ◎内地在勤者濟美寮寄宿並散宿ノ件.....114
- ◎在外給與規程.....113
- 新嘉坡印度瓜哇各所特別加給ノ件.....113
- 支那各地及香港在勤者ノ本俸及家族手當ノ弗換算率ノ件.....113
- 支那各地及香港在勤者ノ在外給與ノ弗割増ニ關スル件.....114

第二章 旅費

- ◎内國旅費規程.....114

- ◎外國旅費規程.....115

- 日額旅費規程.....117
- 旅費規程實施ニ關スル注意ノ件.....117
- ◎内地外在勤者豫備員店務休職或ハ退職ト爲リタル場合歸朝旅費支給方ノ件.....118
- ◎内地外在勤者結婚ノ場合路費及支度料支給ノ件.....118
- 株式會社 鈴木商店本店船舶課出張旅費特例.....118
- 株式會社 鈴木商店下關支店管内出張旅費特例.....118
- 株式會社 鈴木商店小樽支店管内出張旅費特例.....118
- 株式會社 鈴木商店紐育支店旅費特例.....118
- ◎南朝鮮製紙株式會社内國旅費特例.....118

第三章 雜給

- ◎食事店給ニ關スル件.....118

第八編 諸報告 人事通知

◎ 勤靜報告ノ件.....一五二

◎ 職員勤務報告ノ件.....一五三

◎ 人事通知ニ關スル件.....一五三

人事通知ヲ秘密扱トシテ注意スベキ件.....一五四

第九編 諸會

◎ 在郷軍人會分會組織方ノ件.....一五五

◎ 鈴木合名會社濟美會々則.....一五五

關係會社入社者ヲ準會員トスルノ件.....一五六

濟美會慶弔及其ノ他ニ關スル取扱細則.....一五六

○ 鈴木商店本店濟美會運動修養部規程.....一六三

第十編 雜件

◎濟美寮命名ノ件.....一六五

○株式 鈴木商店本店濟美寮則.....一六五

○會社 鈴木商店本店濟美寮規約.....一六六

○株式 鈴木學生貸費規則.....一六八

○株式 鈴木商店ノ商號及商標ニ關スル件.....一七三

○會社 東京ステーションホテル(重役専用室)使用ニ關スル件.....一七四

現行例規集

第一編 職制 執務手續 職務權限

◎鈴木合名會社職制

(大正十四年六月一日定昭和二年一月一日一部改正)

- 第一條 鈴木合名會社ノ業務ヲ處理スル爲メ理事三名以上監事二名以上ヲ置ク理事及監事ハ社員總會ノ同意ヲ經テ業務執行社員之ヲ選任ス
- 理事及監事ノ任期ハ共ニ二箇年トス滿期ニ至リ再選セララルコトヲ得
- 第二條 理事ハ互選ヲ以テ業務執行社員ノ同意ヲ經一名ノ專務理事ヲ定ム
- 專務理事ハ理事會ノ決議ヲ執行ス
- 第三條 理事ハ理事會ノ決定ニヨリ本則ノ定ムル所ニ從ヒ業務ノ一部ヲ擔任ス但シ理事會ノ同意ヲ經テ業務ノ擔任ヲ爲サザルコトヲ得
- 第四條 監事ハ常任シテ會社ノ業務ヲ監査ス
- 第五條 理事及監事ヲ役員ト稱ス
- 第六條 會社ハ理事會ノ推薦ニヨリ本店及支店ニ支配人ヲ置クコトヲ得、支配人ハ專務理事ノ事務ヲ助ケ手形、契約書類等ニ署名ス
- 第七條 會社ハ必要ニヨリ評議員ヲ置クコトヲ得評議員ハ理事會ノ推薦ニ基キ業務執行社員之ヲ選任ス

第八條 評議員ハ業務執行社員又ハ專務理事ノ招集ニ應ジ會社重要事項ノ評議ニ參與シ又ハ之ガ諮問ニ答フルモノトス

第九條 理事ハ合議制トシ理事會ヲ組織シ定款及內規ノ定ムル所ニ從ヒ業務ノ全體ヲ管理シ其ノ會議ニ於テ左ノ諸件ヲ決定スル權アルモノトス

一 專務理事ヲ互選スルコト

二 評議員ヲ推薦スルコト

三 各關係會社ノ役員ノ候補者ヲ詮衡スルコト

四 店員ヲ任免シ及其ノ職掌ヲ定ムルコト

五 役員及店員ノ給料及其ノ他ノ諸給與ヲ定ムルコト

六 定款ニ從ヒ毎季ノ財産目錄、貸借對照表、業務報告書、損益計算書並利益分配ニ關スル議案ヲ

調製スルコト

七 各關係會社ノ事業經濟及豫算決算ニ關スル諸件ヲ決スルコト

八 當社財産ヲ處理スルコト

九 其ノ他ノ重要事項

第十條 理事會ハ每週一回以上專務理事之ヲ招集ス但シ差支アルトキハ他ノ理事代リテ之ヲ招集スルコトヲ得

理事又ハ監事二名以上ヨリ要求アリタルトキハ專務理事ハ理事會ヲ招集スルコトヲ要ス

第十一條 理事會ハ會員半數以上ノ出席ニヨリテ成立ス

理事會ノ議長ハ專務理事トス但シ差支アルトキハ他ノ理事之ニ代ル

會員中事故アリテ定數ニ滿タザルモ緊急事項ニ就キテハ出席員ニ於テ決議シ次回ノ理事會ニ其ノ旨ヲ報

告スベシ

議事ハ多數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

監事ハ隨時理事會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得但シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第十二條 評議員會ハ理事監事及評議員ヲ以テ組織シ會社ノ重要事項ニ關シ業務執行社員又ハ專務理事ニ於テ必要ト認メタルトキ開會ス

評議ノ事項ニ依リ評議員ノ招集ヲ一部ニ止ムルコトヲ得

第十三條 監事ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ業務執行社員ニ申告シテ評議員會ヲ開クコトヲ得此ノ場合ニ於テ業務執行社員ハ理事ノ全員又ハ一部ノ出席ヲ求メザルコトヲ得

第十四條 合名會社ノ社員ハ理事會及評議員會ニ出席スルコトヲ得但シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第十五條 當社ニ左ノ職員ヲ置ク

店員 若干名

准店員 若干名

雇員 若干名

第十六條 店員ノ任免ハ理事會ノ決議ニヨリ之ヲ行ヒ准店員及雇員ノ任免ハ專務理事之ヲ專行ス

第十七條 當社ニ左ノ各部ヲ置ク

一 總務部

二 業務部

三 經理部

第十八條 總務部ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 本社並分身及關係會社職員ノ人事ニ關スル事項

二 機密ニ關スル事項

三 諸契約、訴訟、登記及一般文書ニ關スル事項

四 庶務ニ關スル事項

五 他ノ部ニ屬セザル事項

第十九條 業務部ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 分身會社並關係會社ノ業務ノ調査、管理並ニ監査ニ關スル事項

二 不動産ノ管理賣買及收利ニ關スル事項

第二十條 經理部ハ左ノ事項ヲ掌理ス

一 動産ノ管理並處分ニ關スル事項

二 會計計算並金融ニ關スル事項

三 稅務用度ニ關スル事項

四 各社決算並會計ノ監査ニ關スル事項

第二十一條 業務部ハ必要ニヨリ二部又ハ三部ニ分ツコトヲ得

第二十二條 各部ニ部長ヲ置ク部長ハ理事中ヨリ業務執行社員之ヲ指命ス但シ場合ニヨリ次長又ハ代理ヲ置クコトヲ得

第二十三條 部長ハ委任セラレタル範圍ニ於テ其ノ部ニ屬スル事務ヲ處理ス

第二十四條 店員准店員及雇員ハ各所屬上長ノ指揮ヲ承ケ部ノ事務ニ從事シ又別ニ分身及關係會社ニ配屬セラレ當該會社上役ノ指揮ヲ承ケ其ノ會社ノ事務ニ從事ス

店員ハ必要ニ應ジ理事會ノ決議ニヨリ分身及關係會社役員トシテ其ノ會社ノ經營又ハ監査ノ任ニ當ル此

ノ場合當該役員ハ本社ノ規程及方針ニ基キ其ノ職務ヲ行フモノトス

○株式鈴木商店職制

(大正十四年六月二十九日定)

第一條 當會社ノ社務ハ定款ニ依リ社長、副社長、專務取締役及常務取締役之ヲ總攬ス

前項ニ掲グル取締役ヲ常任取締役ト稱ス

第二條 常任取締役ハ其ノ權限ノ一部ヲ本支店支配人又ハ其ノ他ノ職員ニ委任シ又ハ代理セシムルコトヲ得

第三條 本店支配人ハ常任取締役ヲ輔佐シ會社ノ機務ニ參與シ會社ヲ代表シテ手形、契約書類ニ署名ス

第四條 支店支配人ハ支店ノ業務執行上會社ヲ代表シテ手形、契約書類ニ署名ス

第五條 本店及支店ニ支配人代理ヲ置クコトヲ得

支配人代理ハ支配人ヲ輔ケ必要ニ應ジ其ノ職務ヲ代理ス

第六條 本店ニ部長ヲ置ク取締役、支配人又ハ支配人代理ヲ以テ之ニ充ツ

部長ハ本店ノ一般事務ヲ分掌スルト共ニ合議ヲ以テ重要社務ノ審議及實行ニ任ズ

第七條 營業上必要アルトキハ出張所ヲ置クコトヲ得

第八條 本店各部、各課、支店及出張所ハ別ニ定ムル所ニ依リ必要ノ地ニ出張員ヲ常置スルコトヲ得

第九條 本店、支店、出張所ノ各營業種目、營業地域及其ノ相互間營業上ノ連絡ニ就テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十條 當會社ノ従業員ハ店員、准店員、雇員及傭人トス
 店員、准店員及雇員ヲ職員ト總稱ス
 第十一條 店員准店員ハ上役ノ指揮ヲ承ケ社務ニ従事ス
 雇員ハ上役ノ指揮ヲ承ケテ其ノ事務ヲ輔ケ又ハ特種ノ事務ニ従事ス
 傭人ハ上役ノ指揮ヲ承ケ雜役ニ従事ス
 第十二條 店員ノ進退賞罰ハ鈴木合名會社ト協議ヲ經テ之ヲ行フ

○株式會社 鈴木商店事務分掌規程

(大正十四年六月二十九日定)

第一章 本店

第一條 本店ニ左ノ四部ヲ置ク
 第一營業部
 第二營業部
 庶務部
 經理部
 第二條 部長ハ常任取締役ノ指揮ヲ承ケ其ノ部務ヲ管掌ス
 第三條 部ニ次長ヲ置クコトヲ得
 次長ハ部長ヲ輔ケ必要ニ應ジ部ノ事務管掌ニ就キ其ノ職務ヲ代理ス
 第四條 部ニ左ノ課ヲ置ク課ハ下記ノ事項ニ關スル事務ヲ取扱フ

第一營業部

砂糖課 各種砂糖
 小麥課 小麥、麥粉、麩
 船舶課 一般海運
 貨物課 賣買貨物ノ受渡、保管
 保險課 保險會社代理事務

第二營業部

穀油課 雜穀、澱粉、大豆、豆油
 護謨外米課 外米、護謨
 雜品課 製紙原料、分身及關係會社商品ノ輸出入
 輸入木材課 輸入木材
 煙草課 煙草
 鐵材課 鐵材一式
 金物課 銅、亞鉛、錫、鉛、其ノ他ノ金屬
 樟腦課 樟腦、樟腦油、硬化油、薄荷、除蟲菊
 肥料課 硫安、硝石、磷礦石、魚粉末、鹽、
 諸機械器具

庶務部

人事課 人事
 庶務課 文書、株式、用度其ノ他庶務事項
 通信課 電信、信書ノ發受、タイピストノ事務

經理部

會計課 金融、出納、集金

計算課 本店各部及各支店出張所ノ計算、決算

爲替課 爲替事務

第五條 前條ノ外本店ニ監査課ヲ置ク

第六條 常任取締役及部長直屬トシテ秘書役ヲ置ク

秘書役ハ重要文書事務ヲ取扱フ

第七條 課ニ課長又ハ課長代理ヲ置ク

課長又ハ課長代理ハ上役ノ指揮ヲ承ケ課ノ事務ヲ掌理ス

第八條 課ハ之ヲ若干ノ係ニ分ツコトヲ得

第九條 支店ニ支店長ヲ置ク

支店長ハ本店ノ指揮ヲ承ケ支店ノ事務ヲ管掌ス

第十條 支店ニ次長ヲ置クコトヲ得

次長ハ支店長ヲ輔ケ必要ニ應ジ其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 支店ニ左ノ二課ヲ置ク課ハ下記ノ事務ヲ取扱フ但シ營業課ハ業務ノ都合ニ依リ二課又ハ三課ニ分ツコトヲ得

營業課 營業事務

經理課 會計、庶務、受渡

第二章 支店出張所

第十二條 課ニ課長又ハ課長代理ヲ置ク

課長又ハ課長代理ハ支店長ノ指揮ヲ承ケ課ノ事務ヲ掌理ス

第十三條 出張所ニ出張所主任ヲ置ク

出張所ニ若干ノ係ヲ置クコトヲ得

係ニ主任ヲ置クコトヲ得

○株式鈴木商店監査課規程

(大正十四年六月二十九日定)

第一條 監査課ハ本店各部課及支店出張所ニ對シテ獨立ノ地位ヲ有シ左ノ事務ヲ掌ル

一 監査役ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ヲ補助スルコト

二 常任取締役ノ指揮ヲ承ケ本店各課及支店出張所ノ業務ニ就キ當會社ノ利益ヲ増シ又ハ損失ヲ減ズル上ニ注意ノ足ラザル點ナキヤ不正、錯誤又ハ不整理ノ點ナキヤ諸規程及常任取締役ノ指揮ヲ遵守セラレザル點ナキヤ其ノ他常任取締役ノ必要ト認ムル事項ヲ查察スルコト

第二條 監査課員ノ任免ハ常任取締役及監査役ノ協議ニ依ル監査役又ハ常任取締役ニ於テ必要ニ應ジ他課所屬ノ職員ヲ指名シ第一條ノ事務ニ從事セシムル場合亦同ジ此ノ場合受命者ハ臨時監査課ニ屬スルモノ

前條ノ外本店ニ監査課ヲ置ク
監査課員ノ任免ハ常任取締役及監査役ノ協議ニ依ル監査役又ハ常任取締役ニ於テ必要ニ應ジ他課所屬ノ職員ヲ指名シ第一條ノ事務ニ從事セシムル場合亦同ジ此ノ場合受命者ハ臨時監査課ニ屬スルモノ

トス

- 第三條 前條ノ職員第一條第一號ノ事務ニ從事スル場合ハ當然常任取締役ノ指揮系統外ニ立ツモノトス
- 第四條 第一條第二號ノ事務遂行上必要ナル細則ハ常任取締役ニ於テ監查役ト協議ヲ經テ之ヲ定ム
- 第五條 第一條第二號ノ事務ニ就キ店內ヨリ監查課ニ提出シタル書類及監查課員ノ作成シタル書類ハ之ヲ監查役ノ閱覽ニモ供スルモノトス

○業務監查ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正十四年一月十三日附本店各部長及各所主任宛重役通知)

本店及各所支店出張所ノ業務監查ハ自今監查課ニ於テ之ガ實行ヲ期スルコト、相成候間御承知被下度茲ニ更メテ申ス迄モナク監查ノ方針ハ徒ニ業務上ノ不正失態ヲ摘發セントスルニ非ズシテ事前ニ之ガ過誤ヲ防止スルト共ニ收支ノ適正ヲ期スルニ外ナラズ候ニ付此ノ點誤解セラルルコトナク留意ナク監查ニ應ゼラレ候様致度尙差當リ監查スベキ事項ハ

- 一 貸借對照表ト實際トノ照合
 - 二 手合帳ト賣買約定證及賣買日報、荷物出入帳ト殘荷表トノ照合
 - 三 假出假拂金ノ整理審査
 - 四 滯貸金ノ整理審査
- 等ニ有之候間手合帳、荷物出入帳、其ノ他ノ諸帳簿類ハ遲滯ナク正確ニ之ヲ整理シ何時監查ニ應ズルモ差支無キ様御準備置相成度切望致候爲念此段得貴意候也

○本店各課監查手續ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正十五年七月附本店各課長宛重役通知)

A 一般商品監查要項

- 一 賣買ガ成立シタル場合ハ支配人並通信課ヨリ遲滯ナク其ノ大要ヲ監查課ニ通知スベシ又當事者ハ其ノ通知ト共ニ片賣買ノ場合ハ原價計算書ヲ又賣買兩立ノ場合ハ收支豫算書ヲ作り監查課ニ開示シ置クモノトス但シ賣買兩立トハ必ズシモ同時兩立ヲ意味セズ一方宛ノ成立ニ依リ兩立シタルトキヲモ含ム
- 定期賣買及先物ノ思惑賣買ノ成立シタルトキ並委託積送品ノ積出又ハ委託品ノ引受ヲ爲サントスルトキモ亦支配人及通信課ヨリ監查課ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
- 二 監查課ハ前項ノ通知ヲ受ケタル場合直ニ左ノ監查ヲ行フモノトス
 - イ 手合帳ト契約書又ハ通知書電報トノ照合
 - 定期賣買其ノ他ノ時モ亦同ジ
 - ロ 賣買先ガ幹部ノ承認ヲ得タルモノナリヤ否ヤ
 - 又其ノリミツトヲ超過シ居ラザルヤ否ヤ不信用ノモノナラザルヤ否ヤ
 - ハ 未賣委託積送品積出ニ係ル荷受先ノ諒解充分ナリヤ否ヤ又之ニ對スル信用狀又ハ爲替金高ガ市價ニ照シテ適當ナリヤ否ヤ

- ニ 未賣買約ガリミツトヲ超過シ居ラザルヤ否ヤ又ハストツクトナルモノナキヤ否ヤ
- ホ 賣買條件ニ懸隔アリ危險ヲ含ムコトナキヤ否ヤ
- ヘ 爲替ノレート及運賃船腹取極濟ナルヤ否ヤ之ガ未定ノ場合爲替課又ハ船舶課ノ諒解アリヤ否ヤ或ハ其ノ他ニ正當ナル理由アリヤ否ヤ
- ト 横濱支店又ハ其ノ他各支店ノ委託ニ依リ買付ケタルモノニ對シ該支店ニ通知及記帳ヲ了シタリヤ否ヤ關係會社又ハ得意先ノ委託ニ依ル場合モ亦同ジ
- チ 關稅ノ計算適當ナリヤ否ヤ
- リ 關稅ノ變更ハ總テ買手持トスルノ條件ヲ對日本ノ輸入商賣ニハ總テ記入セシムルコト
- ス 信用狀發行其ノ他金融ニ差支ナキヤ否ヤ
- ヌ 支店以外ニ賣約シタルモノニ就キ完全ナル信用狀ヲ受取ルベキ條件アリヤ否ヤ
- 前記ノ監査ヲ爲シタル上(イ)ニ不備ノ點アル場合ハ監査課ハ當事者ト打合セ適當ニ之ヲ訂正セシムベク(ロ)以下ニ危險ヲ認メタル場合ハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スルモノトス
- 三 買約品又ハ未賣思惑委託積送品ガ積出サレタル場合ハ通信課並當事者ヨリ其ノ契約番號(手合帳)及數量揚地ヲ監査課ニ通知スベシ
- 四 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ監査課ハ之ニ對シ左ノ監査ヲ行フモノトス
 - イ 契約當時ト積出當時トノ時價ニ大ナル相違ナキヤ否ヤ委託積送品ニ對シテハ爲替切レトナル處ナキヤ否ヤ
 - 未賣陸揚ノ時ハ倉入ノ諸經費ヲ豫メ計算シ置クコト
 - ロ 賣先ガ速ニ之ヲ引取り無事ニ代金ヲ支拂見フ込アリヤ否ヤ
 - ハ ストツクトナルモノナキヤ否ヤ

- 五 前項ノ監査ヲ遂ゲタル上損害ヲ及ボスベキ危險ヲ認メタル場合又ハストツクトナルベキモノヲ發見シタルトキハ幹部並支配人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
- 六 買約品ガ到着シタル場合又ハ内地契約品ノ引渡ヲ受ケントスル場合貨物課ハ左記ノ要件ヲ監査課ニ通知スベシ
 - イ 其ノ荷物が當初ノ約束ノ合格品ナリヤ否ヤ斤量ガインボイスト増減ナキヤ否ヤ但シ内地引取契約品ハ有利ニ受渡ノ手續ヲ爲シ得ルモノナリヤ否ヤ
 - ロ 無事ニ買手ニ引渡ヲ了シ得ルヤ否ヤ
 - ハ クレームヲ生ズル處ナキヤ否ヤ
 - ニ 引渡未濟又ハ純然タルストツクヲ生ズルコトナキヤ否ヤ
 - ホ 關稅及諸掛經費ノ内譯
- 七 監査課ハ前項ノ通知ニヨリ左ノ監査ヲ行フ
 - イ 當事者ガ賣買成立ノ際提出シタル豫算ト實際ヲ照合シ誤リナカリシヤ否ヤ受託品ハ引受當時ノ條件ト異ナラザルヤ否ヤ
 - ロ 賣渡代金ハ無事ニ回收サレ得ルヤ否ヤ手形ニテ代金ヲ受取リタル場合無事ニ支拂ヲ受ケ得ラル、ヤ否ヤ
 - ハ 當該係ノ賣買記帳支店其ノ他關係帳簿ノ附替ヲ完全ニ了シタリヤ否ヤ手合帳ノ記入ヲ了シタリヤ否ヤ
 - ニ ストツクニ就キ損失ノ危險ナキヤ否ヤ
 - ホ 賣手ニ對シクレームヲ要求スル必要ナキヤ否ヤ
 - ヘ ストツクニ關シテノ一箇月ノ諸經費ハ如何

前項ノ監査ヲ遂ゲタル上(イ)ノ場合ニ誤リヲ發見シタル場合其ノ誤リノ少額ナルモノハ單ニ當事者ヲ警告スルニ止メ大ナル場合ハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スベシ(ハ)ノ場合ニ未了ノモノアルトキハ當事者ト打合セ適當ノ記帳整理ヲ爲サシムベク(ロ)(ニ)ノ場合ニ危険ヲ認メタル場合ハ幹部及支配人ニ之ヲ通知スベシ(ホ)ノ場合ヲ認メタルトキハ當事者ニ之ヲ警告スベシ

八 貨物ヲ積出サントスル場合貨物課ハ其ノ大要ヲ監査課ニ通知スベシ監査課ハ左ノ監査ヲ行フ
イ 賣約當時ト積出當時ト時價ニ大ナル相違ナキヤ否ヤ、完全ナル信用狀アリヤ否ヤ、該爲替ガ無事ニ支拂ハルル見込アリヤ否ヤクレームヲ生ズル虞ナキヤ否ヤ

ロ 賣約ノ際ニ於ケル豫算ト實際ト異ル點ナキヤ否ヤ、原價及諸掛ニ付キ調査ヲ爲スコト
ハ 該代金諸掛ニ對スル爲替其ノ他關係方面ノ記帳ガ完全ニ整理サレタリヤ否ヤ、但シ横濱支店ノ委託ニ係ルモノニシテ同支店ニ附替ヲ了シタリヤ否ヤ手合帳ノ記帳ヲ了シタリヤ否ヤ

ニ 委託積送品積出ノ場合荷受地ノ支店ト充分ノ諒解アリヤ否ヤ、インボイスノ値段及爲替取組高ガ適當ナリヤ否ヤ、此ノ記帳ガ適當ニ整理セラレ居ルヤ否ヤ

九 前項ノ監査ヲ遂ゲタル上(イ)(ニ)ノ危険ヲ認メタル場合ハ幹部及支配人ニ之ヲ通知スベク(ロ)(ハ)ノ不備又ハ不當ヲ發見シタル場合小ナルモノハ警告ニ止メ大ナルモノハ幹部及支配人ニ通知スルコトヲ要ス

十 通關品又ハ他ヨリ受取リタル貨物並ニストツクヲ賣約先ニ引渡ヲ了シタルトキ貨物課ハ速ニ其ノ數量及經費其ノ他ノ要件ヲ監査課ニ通知スベシ監査課ハ日々出荷傳票ト該通知トヲ照合スルヲ要ス

十一 監査課ハ前項ノ通知ニ依リ左記監査ヲ行フコトヲ要ス

イ 引渡シタル貨物ト手合帳ヲ照合シ適當ニ其ノ記帳ヲ了シタリヤ否ヤ

ロ 該代金ノ回收ヲ了シタリヤ否ヤ手形ノ場合特ニ注意ヲ要ス

ハ 該賣渡ニ關スル代金及其ノ他之ニ屬スル元帳其ノ他ノ記帳ガ完全ニ整理セラレタリヤ否ヤ

ニ 數量ニ缺斤ナカリシヤ否ヤ但シ本件ハ一船又ハ一約定ノ受授ヲ了リタル際査定スルコトヲ要ス

ホ 豫算ト實際ト相違ナカリシヤ否ヤ

ヘ クレームヲ生ジタルコトナキヤ否ヤ

十二 前項(イ)(ハ)ノ場合其ノ不備ヲ發見シタルトキハ其ノ當事者ト打合セ之ヲ適當ニ訂正セシムベク(ロ)(ニ)ニ於テ危険ヲ認メタル場合ハ幹部及支配人ニ之ヲ通告スベク(ホ)(ヘ)ニ不都合ヲ認メタル場合小ナルモノハ警告ニ止メ大ナルモノハ幹部及支配人ニ通告スルコトヲ要ス

十三 積出委託積送品ヲ賣却シ了リタル場合ハ通信課、支配人並當事者ヨリ監査課ニ通告スベシ

十四 監査課ハ左ノ監査ヲ行フ

豫定インボイス代價ニ荷受後ノ諸掛費用ヲ加ヘタルモノト實際販賣セラレタル手取代價ノ差額ヲ適當ニ記帳シタリヤ否ヤ

十五 前記ノ場合豫定代價ト實際賣却シタル差額ノ多大ナルトキハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スベシ

十六 如何ナル場合ト雖モクレームヲ生ジタル場合ハ當事者、支配人及通信課ヨリ監査課ニ通知スベシ

十七 監査課ハ其ノクレームガ正當ノモノナリヤ否ヤ又當事者ニ手落アリヤ否ヤヲ調査シ幹部及支配人ニ其ノ結果ヲ報告スルモノトス

十八 受託品ガ積出サレタル場合ハ通信課ヨリ、到着シタル場合ハ貨物課ヨリ之ヲ監査課ニ通知スベシ監査課ハ左記ノ監査ヲ行フ

イ 該インボイスノ代價ガ適當ナリヤ否ヤ之ニ附隨スル爲替金額運賃諸掛ガ時價ノ九割以上ヲ超過スルコトナキヤ否ヤ

ロ 前項關係記帳ガ他ノ商品ト混同セラル、コトナク受託品計算トシテ特別ニ記帳整理セラレ居ルヤ否ヤ

十九 前項監査ノ上(ロ)ノ場合ハ當事者ト打合セ適當ニ之ヲ訂正セシムベク(イ)ノ場合危險ヲ認メタルトキハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スルモノトス

B 米 材 監 査 要 項

- 一 賣買ノ一方又ハ双方ガ成立シタルトキハ支配人ヨリ直ニ監査課ニ通知スベシ
- 二 監査課ハ右通知ニ依リ左記要件ヲ監査ス
 - 一 手合帳ト契約書ノ照合但シ支店ニ對スル契約ニシテ契約證ナキモノハ其ノ通知書又ハ電報ニ依リ
 - 二 賣買條件ガ當店所定ノ其レニ適合スルヤ否ヤ
 - 三 賣買ノ超過ナキヤ否ヤ
 - 四 其ノ商賣ニ於ケル豫算並其ノ豫算ガ適當ニ成立シ居ルヤ否ヤ
 - 五 相手方ガ其ノ契約ヲ履行スルニ足ルヤ否ヤ
- 前記ノ監査ヲ遂ゲタル上第一ニ相違アルトキハ當事者ト打合セ適當ニ訂正セシムベク第二ニ適合セザルモノヲ發見シタルトキ第三ノ超過ノ不當第五ノ危險ヲ認メタルトキハ之ヲ幹部及支配人ニ通知シ置クベシ
- 三 米材ガ積出サレタルトキハ通信課ヨリ、到着セントスルトキハ貨物課ヨリ監査課ニ通知スベシ
- 四 監査課ハ前項ノ通知ニ依リ左記ノ監査ヲ行フ
 - 一 契約値段ト到着當時ノ時價
 - 二 相手方ガ完全ニ契約ヲ履行シ得ル見込アリヤ否ヤ
 - 三 ストツケトナルモノナキヤ否ヤ
- 五 監査課ハ前記ノ監査ヲ爲シタル上(一)(二)ノ危險(三)ノストツケヲ認ムルトキハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スベシ

六 前項荷渡ヲ了リタル後監査課ハ左ノ監査ヲ爲スベシ

- 一 豫算ト實際ノ相違
 - 二 數量ノ過不足
 - 三 此荷物賣買ニ對スル支店及各課ノ帳簿附替整理等ニ遲滞セルモノナキヤ否ヤ
 - 前項(一)(二)ノ結果ハ幹部及支配人ニ通知スベク(三)ノ遲滞ヲ認メタルトキハ當事者ヲ督勵シ速ニ其ノ整理ヲ完了セシムベシ
- 覺
- 一 賣約ニ就キABC三個ノ條件ヲ協定シ置クコト
 - 即チ之ヲ本店所定ノ條件ト云フ
 - 一 買約ニ就テモ亦同シ
 - 一 支配人通信課貨物課ヨリノ通知書ノ様式ヲ定ムルコト
- 覺
- 一 賣約ニ關シ
 - 現物取引タルト先物タルトニ拘ラズ又賣先ノ何店タルトヲ問ハズ賣約成立ト同時ニ壹割ノ保證金ヲ請求スルコト
 - 保證金ハ成ルベク現金トスルコト但シ時ニハ公債又ハ手形ニテ受入ル、コトアリ取引先ノ信用調査ヲ爲スハ根本的必要條件トシテ其ノ信用ノ厚薄ニ拘ラズ成ルベク現金取引ニ努ムルコト
 - 先物賣約ニハ
 - A 本船入港ト同時ニインボイス面ニヨリ船側ニテ(又ハ買手指定場所ニテ)現品引換ニ(又ハD/O引換ニ)契約金ノ全額現金(半金現金半金六十日手形)又ハ全額六十日手形)拂ノコト

- B 本船入港ト同時ニ船側ニテ(又ハ買手指定場所ニテ)寸檢後現品引換ニ(又ハD/O引換ニ)現金(半金現金半金六十日手形又ハ全額六十日手形)拂ノコト
- C 官廳又ハ準官廳式ノ會社ヘノ賣約ニ對シテハ買主指定ノ場所ニテ(又ハ本船側ニテ)寸檢ノ上(又ハインボイス面ニヨリ)現品引渡ヲ爲シ契約金ノ全額現金拂但シ月ノ半以前ノ納入ト以後トニ依リ支拂ハ十五日トナリ又ハ月末トナル(但シ此ノ場合保證金ハ無キモノ)
- 現物賣約ニハ
- A インボイス面ニヨリ現品引換ニ(又ハD/O引換ニ)現金(半金現金半金六十日手形又ハ全額六十日手形)拂ノコト
- B 寸檢ノ上現品引換ニ(又ハD/O引換ニ)現金(半金現金半金六十日手形又ハ全額六十日手形)拂ノコト
- 現在日本各地木材輸入業者間ノ販賣商習慣トナリ居ルハ賣約ト同時ニ壹割保證金受入現品引換ニ六日手形賣トナリ現金賣又ハ半金現金要求スルトキハ自然取引高ヲ減少スルコト、ナリ僅少ノ値段ノ低廉ナルヨリモ支拂方法ノ寛大ナル手形取引ヲ要求スル傾向アレバ當店所定ノ條件トシテハ此ノ商習慣ニヨルモ成ルベク此ノ規定以上ノ好條件ニテ取引ニ努ムルコト

覺

- 一 買約ニ關シ
- 買約セントスルモノニ對シテハ成ルベク買オツフアラ漁リ賣約出來得ル範圍ニ於テ之ヲ產地ニ引合セ採算ノ上當時ノ相場ト比較シテ利益ヲ見出シ得ル點ニ於テ買註文ヲ確定ス
- A FASニテ買付セントスルモノニ對シテハFAS引合ト同時ニ產地及内地ニテ船腹ノ引合ヲモ兼行ヒ當時ノ採算點ニテ成ルベク同時ニ兩者ヲ結附ケ取極メ置クコト

- B CIFニテ買付ケルコト
- C 現物ノ買付ヲ爲ス場合ハ成ルベク六十日手形ニテ買ヒ現金賣ヲ爲スコト
- 右ABC何レノ買付タルヲ問ハズ買付ケタルモノハ薄利主義ニテ成ルベク迅速ニ賣約ニ努ムルコト然シ滿船モノ、買付上止ムナク多少ノ思惑ヲ餘儀ナクセラル、場合アルトモ此ノ思惑品ハ成ルベク船ノ入港前ニ處分ニ努メ尙本船入港前ニ處分出來ザルモノタリトモ庫入ヲ避クル程度ニ賣却スルコト
- 庫入後ト雖モ在庫品目錄ニヨリ出來得ル限リ迅速ニ處分スルコト買約品ニ對シテハ賣約アルモノハ賣約書ヲ添ヘ思惑品ニ對シテハ時價ト參照及入荷當時ノ豫測ヲ爲シテ有利ナリヤ否ヤノ理由ヲ附シテ信用狀ノ發行ヲ依頼スルコト
- 信用狀ノ條件トシテハ產地ヨリ六十日拂ノ手形ノ振出ニ左ノ書類ヲ要求スルコト
1. Signed Invoice.
 2. P.L.I.B's or T.I.B's Certificate.
 3. Specification or Tally sheet.
 4. Shipped B/L
 5. Insurance Policy (if bought cif, but usually covered by our open policy.)
- 振出案内入電ニ對シテハ直ニ保險課ニテカバ一爲スコト
- 爲替取極メニ關シテ常ニ細大ノ注意ヲ拂ヒ成ルベク爲替ノ思惑ノ危險ヲ避ケ賣約出來シモノヨリ順次取極メ置クコト

C 麥粉敝營業關係監査要項

- 一 買約ガ成立シタルトキハ支配人ヨリ直ニ大要書ヲ監査課ニ通知スベシ

輸入ニ係ル分ハ通信課ヨリモ直ニ之ヲ監査課ニ通知スベシ

二 監査課ハ右通知ニ依リ左記要件ヲ監査ス

一 手合帳ト電報ノ照合

二 買條件ガ當店所定ノ其レニ適合セルヤ否ヤ

三 爲替相場ハ取極濟ナリヤ否ヤ爲替取極ガ偏在セル場合爲替課ガ之ヲ承認シ居ルヤ否ヤ

四 手持限度ヲ超過セザルヤ否ヤ

五 契約先ハ本部承認濟ノモノナリヤ否ヤ

六 信用狀發行其ノ他金融等ニ支障ヲ生ズル虞ナキヤ否ヤ

前記ノ監査ヲ遂ゲタル上買條件及手合帳ニ不備又ハ相違アルヲ認メタルトキハ當事者ト打合セ適當ニ訂正セシムベク持高限度ノ超過其ノ他取引上不當、支障又ハ危險ヲ認メタルトキハ直ニ幹部及支配人ニ通知スベシ

三 賣約又ハ註文ノ引受ハ日々其ノ大要ヲ支配人並當事者ヨリ監査課ニ通知スベシ

監査課ハ契約書賣約通知書又ハ註文ノ書信或ハ電報ト手合帳ヲ照合シ夫々認印ヲ押スベシ而シテ其ノ賣先及賣約限度ガ幹部承認濟ノ範圍ナリヤ否ヤ又條件ガ當店所定ノ其レニ適合シ居ルヤ否ヤ賣越ノ制限ヲ超過スルコトナキヤ否ヤヲ監査スベシ然ル上制限ノ超過取引上ノ危險ヲ認メタルトキハ幹部ニ之ヲ報告スベシ

四 日々ノ出荷ハ當事者並貨物課ヨリ監査課ニ通知スベシ但シ渡シ先ト手合帳ノ番號ヲ特記スルコトヲ要ス

五 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ監査課ハ左ノ監査ヲ爲スベシ

一 手合帳ニ記入セラレタリヤ否ヤ但シ内地品ナル場合ハ買約帳ニモ適當ニ記入サレ居ルヤ否ヤヲ監

査ス

二 現金賣ナラザル場合貸賣限度ヲ超過スルコトナキヤ否ヤ回收ノ見込アリヤ否ヤ

三 當日賣買ニ對スル賣先買先及各部門ノ帳簿附替整理等ニ遲滯セルモノナキヤ否ヤ

前項(一)(二)ノ結果ハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スベク(三)ノ遲滯ヲ認メタルトキハ當事者ヲ督勵シ速ニ其ノ整理ヲ完了セシムベシ

六 當事者ハ毎月或ハ隔月一回各帳簿ヲ締切リ一般的監査ヲ受クベシ

此ノ場合監査課ハ左記ノ監査ヲ行フ

一 滞リ貸金ヲ生ゼントスル虞ナキヤ否ヤ

二 諸經費ノ見積リガ實際ト豫算ト併行シ居ルヤ否ヤ

三 其ノ期間ノ損益ガ幹部又ハ當事者ノ豫想ニ反スル虞ナキヤ否ヤ

四 契約不履行ヲ受クル虞ナキヤ否ヤ

五 賣買共リミツトヲ超過シ居ラザルヤ否ヤ

D 機械課營業關係監査要項

一 賣買約ガ成立シタルトキハ支配人ハ賣買約通知書ニ收支ノ大要書ヲ添附シ直ニ監査課ニ通知スベシ
通信課ヨリモ買約成立シタルトキハ直ニ之ヲ監査課ニ通知スベシ

二 監査課ハ右通知ニ依リ左記要件ヲ監査ス

一 賣買條件ニ懸隔アリ多少ニテモ當店ノ責任ニ歸スル點ナキヤ否ヤ

但シ機械類ハ賣買同時同數ナルヲ要ス

二 賣買收支豫算ニ不當ノモノナキヤ否ヤ特ニ關稅ト運送費ニ注意ヲ要ス

- 三 代金回収ノ見込充分ナリヤ否ヤ
- 四 買約中未賣品ヲ含ミ居ラザルヤ否ヤ
- 五 爲替レートノ取極濟ナリヤ否ヤ
- 六 信用狀發行其他金融等ニ支障ヲ生ズル虞ナキヤ否ヤ
- 七 手合帳ト契約書トノ間ニ相違セル點ナキヤ否ヤ
但シ支店ニ對スル契約ニシテ契約證ナキモノハ其ノ通知書又ハ電報ト照合ス
前記ノ監査ヲ遂ゲタル上賣買條件及手合帳ニ不備又ハ相違アルヲ認メタルトキハ當事者ト打合セ適當ニ訂正セシムベク賣買收支豫算ノ不當、未賣品ノ買約其他取引上支障危険ヲ認メタルトキハ直ニ幹部及支配人ニ通知スベシ
- 三 機械類ガ通關ヲ了シタルトキハ貨物課ハ諸掛ノ大要（關稅諸掛、運送費、インボイス）ヲ監査課ニ通知スベシ
- 四 荷渡ヲ了シタルトキハ機械課ハ出荷通知書ニ代金請求書寫ヲ添ヘ監査課ニ通知スベシ
- 五 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ監査課ハ左ノ監査ヲ爲スベシ
 - 一 豫算ト實際トノ相違及其ノ原因
 - 二 賣買ニ對スル支店及各課間ノ帳簿附替、整理等ニ遲滯セルモノナキヤ否ヤ前記（一）ノ結果ハ之ヲ幹部及支配人ニ通知スベシ（二）ノ遲滯ヲ認メタルトキハ當事者ヲ督勵シ速ニ其ノ整理ヲ完了セシムベシ
- 六 代理店契約ノ締結又ハ改廢アリタルトキハ支配人ハ其ノ内容ヲ監査課ニ報告スベシ
- 七 前記諸項ノ外監査課ハ現在手持商品ノ有利處分方ニ關シ當事者ガ不斷ノ努力ヲ爲シツ、アリヤ否ヤ等

ヲモ監査スベシ

○支店業務監査ニ關スル件（株式會社鈴木商店）

（大正十五年七月附各支店長宛重役通知）

日常ノ營業ニ對スル監査ノ必要ハ今更申上グル迄モ無之本店ニ於テハ過般來種々研究ノ上別紙ノ要項（前項ノ通りニ付別紙省略）ニ基キ監査ヲ實行スルコトニ相成申候就テハ貴支店ニ於テモ之ニ準據シ監査ヲ行ハル、コトニ相願度候尤モ支店內ニ專任ノ監査員ヲ特置スルコト困難ナリトセバ差當リ經理係ヲシテ監査ノ任ニ當ラシムルヨリ外無之ト存候
尙麥粉、機械及米材ニ就テハ別紙ノ通各別々ニ監査要項ヲ定メ置キ候他ノ各種商品ニ於テモ亦夫々其ノ商品ニ適合スル要項ヲ定ムルノ要有之候へ其餘リ繁雜ニ相成候間暫ク別紙一般商品要項ニテ右三品目ノ外ノ商品ニ適用スルコト、致候間御承知置被下度右得貴意候

○本支店事務刷新並執務方ニ關スル件（株式會社鈴木商店）

（大正十一年十月六日附本店及各所主任宛）

左記事項ニ關シ別紙御通知申上候間重役意思ノ存スル所御了承自今右ニ依リ實行上違算ナキヲ期セラレ度

尙貴部内職員ニ對シ本通達ノ趣旨徹底致候様可然御配慮被下度命ニ依リ此段得貴意候也

- 一 支店各部主任職掌及勤務所變更ニ關スル件
- 二 職員管轄外出張及取引ニ關スル件
- 三 通信機關利用方法並管内旅費規程制定方ノ件
- 四 本支店間及各支店間ニ於ケル事務共助ニ關スル件

本支店間相互事務ノ刷新ニ就テ

薄利多賣ト云フモ、凡テノ取引ガ満足ニ行ハレタ場合ニ於テ、始メテ其ノ成績ガ認メラル、ノデアアル、若シ薄利多賣ヲ遣ツタ後ニ、取引上ニ聊デモ手落チガアツテ、代金ノ取り損ジヤ解約乃至クレームナドヲ受ケタナラバ薄利多賣ハ却ツテ大損ノ基トナルカラ、斯ノ薄利多賣ト云フコトハ、凡テノ從業者ガ腕捕ヒデ丁稚カラ番頭ニ至ル迄一人モ屑ノ無イ、所謂完璧ノ場合ニ於テ始メテ言フベク行ハルベキモノデアアル。最近ノ商賣ハ、眞ニ極度ノ薄利多賣ノ契約ガ出來ナイ、恰モ飛行機乗りノ様ナモノデ、九十九回ノ飛行ニ成功シテモ、一回ダケ失敗スレバ、夫レデ寂滅シ萬事休スルノデアアル、故ニ薄利多賣ノ場合ト同ジク店員ノ行動ニ完璧ヲ期スルノ必要ガアル、若シ從業者ノ一人ガ針デ突イタ程ノ失策ヲシテモ、忽チ全般ノ利益ヲ破壊スルカラ學校ノ試験ノ様ニ八十點九十點デハ成功シナイ、總テノ店員ガ百點以上デ、最高ノ商業智識ト誠實トヲ兼備シ、一生懸命ニ奮闘シテ吳レネバ、此ノ鈴木商店ト云フ大伽藍ガ持テナイノデアアル。現在本支店ニ於ケル中樞ノ人物ハ、大抵完璧ニ近い機デアアルガ、本店及各支店間ニ出張スル店員ガ、其ノ出先ノ支配人ト協調セナイ爲メニ、我商店ノ戦線ニ一ノ空隙ガアツテ、之カラ始終敵ニ乗ゼラレ、尠カラザル損害ヲ受ケツツアルノミナラズ、屢々出張往復スル爲メニ各店ニ於ケル旅費ノ負擔ガ中々多イ様デアアル、思フニ電信電話郵便等遺憾ナク通信機關ノ完備セル時代ニ於テ、而モ各地ニ同一商店ノ支店ヲ有シ何

等隔意ナキ通信要求ヲ爲シ得ル場合ニ於テ、斯ノ如ク出張往復ノ頻繁ナノハ、本支店又ハ各支店相互ノ間ニ十分ノ諒解ト誠意ガ缺乏シテ居ルカラデアラウガ、大體ニ於テ我店員ガ、經費ハ原價デアツテ痛ク商賣ヲ脅威スルモノデアアルト云フ眞理ヲ尊重セナイ結果デアアル、吾人ハ此ノ場合ニ於テ、薄利多賣ヨリモ薄費多賣ヲ切望スル、即チ出張ニ依ツテ商費ノ嵩ムノハ、實ニ旅費ノミデナイ、旅行ガ多ケレバ夫レダケ多クノ人ヲ要ス、故ニ人件費ガ増加シ斯ノ主旨ニ悖ルカラ、各種ノ通信機關ヲ利用シテ大ニ旅行ヲ節スル必要ガアル。

夫レカラ、各部係及出張所主任ノ職掌及勤務所ノ移動ニ就テハ、從來本店ガ干渉シタ場合ト然ラザル場合トアツタガ、此レハ矢張本店ガ干渉スルノガ當然デアアル、若シ之ヲ各支店デ勝手ニ移動サセルト、本支店間ノ聯絡ト諒解ガ支離滅裂ニナルカラデアアル

尙ホ本支店間及各支店間ノ聯絡疏通ヲ圖ル上ニ於テ必要デアリ、且最モ經濟的デアアル所ノ事務共助ニ付テハ、其ノ取扱ヲ一層親切ニシテ賅ヒタイト思フ、此レモ從來其ノ取扱ガ往々不親切デアツタ爲メニ、餘義ナクセラレタ職員ノ頻繁ナ出張ニ伴フ、無用ノ失費ヲ防グ上カラ希望セザルヲ得ナイノデアアル、又各支店相互間、當事者同士ガ通信デ交渉ヲ仕合フタ揚句、行詰ツテ事態ガ運バナイ様ナ場合ニハ、支店長ガ立入ツテ調停疏通ヲ圖リ、斯様ノ旅行ヲサセナイデ済ム様ニ遣リタイノデアアル。

又本社制定ノ旅費規程ハ、之ヲ各支店一般其ノ管内旅行ニ適用セントスルノハ當ラ得ナイコトモアルト思フ、例ヘバ、各支店ガ自己ノ管内デ砂糖麥粉ビール等ヲ販賣スル爲メニ得意廻リヲスル場合ニ、此ノ規程ヲ適用セバ到底收支相償ハザルコトニナルカラ、各支店ハ管内旅費規程ト云フ様ナ程度ノ低キ旅費規程ヲ作ツデ賅イタイ、然ラザレバ地方的ノ小サイ商賣ハ收支相償ハナイカラ、之ヲ全廢スルノ外ナキコトニナリ、尙地方的雜務ノ如キモ、之ヲ整理スルノ利益ヨリモ旅費ノ方ガ多イカラ、自然不整理ノ儘放置セラルル虞アルヲ憂フルノデアアル

別紙ノ通達ハ、以上列記シタル必要ニ應ジ、斯ノ缺點ヲ救済スル爲メニ出來タモノデアアル、而モ商賣上緊急ノ利害得喪ニ基クモノデアアルカラ本支店トモ誓ツテ之ヲ勵行シ、以テ其ノ果實ヲ收ムルノ速カナランコトヲ祈ル

大正十年九月二十七日

金子直吉

各支店各部主任職掌及勤務所變更ニ關スル件

從來各支店管内職員ノ職掌及勤務所ノ變更ニ付テハ、當該支店支配人ニ於テ適宜取計ハレ、其ノ旨本店ニ報告スルニ止メラレ然ルベキコトニナリ居レルモ、自今各部主任(營業各部主任及倉庫、會計、庶務部並ニ出張所主任)ノ職掌及勤務所變更ニ關シテハ、支配人同様本店ニ於テ之ヲ決定スベキニ付各支店支配人ニ於テ其ノ必要ヲ認ムルトキハ、必ズ本店人事課ヲ經テ本店支配人ニ申出ヅルコトヲ要ス、若シ此ノ手續ニ依ラズシテ之ヲ變更セシメタルトキハ、當該支店支配人及當事者ニ對シ懲罰ヲ行フモノトス

職員管轄外出張及取引ニ關スル件

- 一 各支店(出張所ヲ含ム以下同ジ)店務ニ因リ職員ヲ管轄外ニ出張セシメントスルトキハ、特ニ至急ヲ要スル場合ヲ除クノ外支店支配人ニ於テ其ノ目的、旅程等要項ヲ具シ本店ノ承認ヲ受クベシ(本店人事課宛送信ノ事)但シ東京横濱名古屋大阪神戸間、下關大阪間、京城釜山間及臺北臺南間ハ此ノ限ニ在ラズ
- 二 支店支配人ハ、職員ノ管轄外出張ニ關シ特ニ至急ヲ要スル爲メ本店ノ承認ヲ受クル暇ナカリシ場合ト雖モ、遲滞ナク前記要項ヲ本店人事課ニ通知スベシ、其ノ出張先ガ他ノ支店(出張所ヲ含ム以下同ジ)所

在地又ハ其ノ附近ナルトキハ、豫メ出張承認ヲ受ケタル場合ト否トヲ問ハズ出張先支店支配人ニ對シテモ亦之ガ要項ヲ通知スベシ。

三 他ノ支店所在地又ハ其ノ附近ニ出張シタル職員出張先ニ於テ商取引ニ付キ契約ヲ爲ス場合ハ、取引先ノ良否、取引ノ程度及條件等ニ關シ其ノ地方ヲ管轄スル支店ノ支配人ノ同意ヲ得ルヲ要ス

四 前項契約ノ履行ニ就テハ其ノ地方ヲ管轄スル支店ニ於テ管理スルモノトス從テ代金引替ノ取引ハ所管店舗ニ委附スベシ、但シ特別ノ事情アリテ委附ヲ不利トスル場合ハ、該支店支配人ノ同意ヲ得テ直接ニ取引ヲ決行スルコトヲ得

五 本支店ニ於テ管轄地以外ノ地方ト取引ノ契約ヲ爲シタルトキハ、該地方ヲ管轄スル支店長ニ對シ遲滞ナク其ノ要領ヲ通知スルハ勿論、其ノ通信往復ノ寫ヲ其ノ都度送附スルコトヲ要ス、普通ノ場合他ノ管轄地内ト直接ニ取引ヲ爲スベカラザル等ニ付、本項ハ或特種ノ場合ヲ目的トシテ規定シタルモノトス

六 或種ノ商品ヲ賣買シ又ハ既ニ契約シタル商品ノ取引、積取、分配等ノ爲メ、本支店又ハ各支店間ニ職員ヲ一時派遣シ又ハ常置セシメタルトキハ、出張先支店ノ名ニ依リ該出張員ニ於テ適宜賣買又ハ荷役ヲ爲スコトアルハ勿論ナリト雖モ、左記ノ事項ニ就テハ必ズ其ノ出張先本支店支配人ノ同意ヲ得ルヲ要ス若シ此ノ手續ニ依ラザルモノアルトキハ所管支店支配人ハ之ヲ本店ニ通告スベク、本店ハ當事者ニ對シ懲罰ヲ行フモノトス

一 取引先ノ良否、賣買總額ノ程度及賣懸殘高ノ程度

二 賣買ノ條件

三 受取手形金額ノ程度

四 運送業者、人足及倉庫ノ選擇

七 前項ニ依リ契約シタルモノハ該出張員ニ於テ出張先支店備附ノ一定ノ手合帳ニ記入シ、何時ニテモ出

張先支配人ノ一覽シ得ル様準備シ置クベシ、又契約品受渡決了次第其ノ支店ノ債權又ハ債務トシテ記帳スベク代金ノ受入支拂其ノ他之ニ附屬スル出入モ總テ其ノ支店ヲ經由スルコトヲ要ス、荷物ノ積取分配ニ要スル貨錢ノ出入亦同ジ

八 第六項ニ依ル出張員ハ出張先支店支配人ノ監督ニ屬シ、其ノ支店員ト同一ノ節度ニ從フベク、出張先支店員ニ非ザルノ理由ニ因リ任意ノ行動ヲ爲スコトヲ得ズ、出勤退店ノ如キモ其ノ支店員ト同一ノ時刻ヲ守リ、長時間ニ亘ル外出又ハ出張ニ就テハ其ノ支店支配人ノ承認ヲ經ルヲ要ス、支店支配人ハ其ノ執務上ニ便宜ヲ與フル爲メ座席ヲ附與スベシ

通信機關利用方法並管内旅費規程制定方ノ件

一 事務ハ能フ限リ通信ニ依リ旅行ヲ避クベシ、又他ノ管内ニ於ケル用件ハ成ルベク各支店（出張所、工場、分身會社ヲ含ム以下同ジ）ニ依頼スベシ

二 本社制定ノ旅費規程ヲ各支店一般其ノ管内旅行ニ適用スルトキハ、地方的事務ヲ處理スルニ不利ナルノミナラズ、職員ヲシテ能フ限リ旅費ノ節約ヲ圖ラシムルコトハ今日ノ場合最必要ト認ムルヲ以テ、各支店ニ於テハ、本社制定ノ内國旅費規程第十六條ノ趣旨ニ依リ速ニ各地方ニ適應セル管内旅費規程ヲ設ケ、本店ノ承認ヲ經テ實施スベシ

參照 内國旅費規程第十六條

各所ニ於テ頻繁ニ旅行ヲ要スル近距離ノ地又ハ長期間出張ヲ要スル業務區域ノ旅費及各所限使用人ノ旅費ニ關シ本規程ノ金額ヲ低メ支給スル必要アルトキハ旅費特例ヲ設ケ本社ノ承認ヲ經テ實施スベシ

本支店間及各支店間ニ於ケル事務共助ニ關スル件

一 從來本支店（出張所、工場、分身會社ヲ含ム以下同ジ）間及各支店間ニ於ケル事務ノ共助ニ關シ、其ノ取扱親切ナラザル爲メ延イテ事務ノ滯行詰リヲ生ジタル場合ナキニアラザルコトヲ聞ケリ、甚ダ遺憾ニ堪ヘズ、是レ固ヨリ被依頼者ニ於テ本務多忙ノ爲メ其ノ他己ムヲ得ザル事由ニ基クテ疑ハズト雖モ、蓋シ其ノ取扱者ニ於テ十分ノ諒解ト誠意ヲ缺キ依頼事務ヲ閑却スル場合アルニ因ルモノト思料セラレ就テハ自今特ニ相戒メテ深ク此ノ點ニ留意シ、互ニ親切敏速ヲ旨トシテ囑託事務ヲ處理シ、以テ依頼者ノ期待ニ副ハシムルニ方メ、苟モ取扱不親切ノ爲メ管轄外支店ヨリスル職員ノ出張ヲ頻繁ナラシムルガ如キ弊竇ニ陥ルヲ避クルト共ニ、之ニ伴フ無用ノ失費ヲ極力防止スベシ

二 事件ノ處理ヲ依頼セントスル場合ハ被依頼者ニ發送スベキ通信ノ寫ヲ必ズ其ノ店舖ノ支配人ニ別送スベシ

三 各支店支配人ハ本件依頼事務ノ取扱方ニ關シ今後一層ノ注意ヲ拂ヒ萬一ニモ滯行詰リヲ生ジタルガ如キ場合ニハ進ンデ之ガ調停ニ任ジ疏通進捗及解決ヲ速カナラシムル爲メ最善ノ方法ヲ講ズベシ

○商品賣買日報及商品賣買手持殘高表ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十年三月十五日附支店出張所主任宛重役通知)

從來御送附被下居候手持殘高表ハ一ヶ月二回作成ノ事ト相成居候爲メ其間往々時機ヲ逸スル感有之候間更ニ百尺竿頭一步ヲ進メ取引狀態ヲ日々御通知被下候コト、致度本店ニテハ先月ヨリ實施致候處經營及管理上大ニ便宜ヲ得申候ニ付テハ貴方ニ於テモ御實行被下候ハ、獨リ當方ノ好參考ト相成候ノミナラズト被存

候間是非參月拾六日ヨリ御實行本店支配人宛ニ御送附被下度別便ニテ商品賣買日報用紙送附致置候間御受取被下度候

尙右日報ハ毎日作成ノ上五日目毎位ニ御送附被下候テモ宜敷候又從來ノ商品賣買手持殘高表ハ今後毎月一回月末ニ御作成御提出被下候テ宜敷候

◎主要商品手持高表ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十四年八月十九日附支店出張所長宛監査課通知)

- 一 各店ハ毎月十五日及月末(該當日ガ休日ニ當ル時ハ其ノ前日)現在主要商品ノ手持高又ハ賣越高ヲ其ノ翌日朝迄ニ本店監査課ニ届ク様電信(又ハ手紙)ニテ報告スル事
- 一 手持高トハ現在品及買約ノ合計數量ヨリ賣約數量ヲ控除シタル差額、賣越高トハ賣約數量ガ現在品及買約ノ合計數量ヲ超過セル數量ヲ指ス事
- 一 委託品ハ現在品中ニ含マシメ別ニ委託品ヲ報告セラル、ニ及バザル事
- 一 數量ハ別表(別表省略)ヲ参照シ一定ノ單位ニテ表示シ統一ヲ保ツ事
- 一 商品ノ内譯モ別表(別表省略)ニ準ジテ報告セラル、事

◎各所商況週報ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正九年八月各所宛重役通知)

時下財界依然不振營業愈々困難ノ時期ニ際シ候ニ就テハ今後ハ相互ニ一層氣脈ヲ通シ努力致スベキ必要有之候就テハ甚ダ御手数數ニハ候ヘ共今後每週一回一定ノ日例ヘバ土曜日ニ本店支配人宛其ノ地ノ商況御通知ニ預リ度候尤モ簡單ナルモノニテ宜敷例ヘバ競争店ノ取引狀況、貴店其ノ週中營業方針ノ大體等大略左記例示ノ如キ事項御記載被下候ハバ大ニ當方ノ參考ト可相成候週報トシテ每週御送付被下候様願度御依頼申上候

例

商況週報 第何號 (自大正 年 月 日)

- 一 三井何丸ニテ何何噸何港向積出
- 一 何當市ニテ何何噸賣、値段何何見當
- 一 増田何丸ニテ何何處ヨリ輸入
- 一 何何ハ何品ヲ旗賣居ルラシ
- 一 當店ハ今週中買附何何賣上何何
- 一 其ノ他反對商人ノ行動、主ナル仕手關係、重要ナル事件ニシテ其ノ地ノ市況ヲ觀察スルニ必要ナル材料等

◎本店各課商況週報ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正九年十一月本店各部課宛重復通知)

自今各課ノ商況ヲ簡單ニ御記述ノ上毎週一回御差出被下候様致度既ニ主要各支店長ヨリハ去八月以來其ノ商況週報ノ御送付ヲ請ヒ拜見致居候處頗ル有用ニシテ寧ロ實行ノ晚カリシヲ感ジタル次第ニ御座候然ルニ本店內各課ノ商況ニ就テハ從來日夕面概晤ネ拜承致居候コト、テ別ニ報告書等ノ必要無之トハ存居候へ共御互ニ多忙ノ裡ニ在リテハ自ラ面晤ノ機ヲ逸スル場合モ多ク旁々簡單ナル商況摘録ノ御差出ヲ願フ方御互ニ便利ト存候ニ付今後ハ本店內各課ヨリモ前記各支店ノ例ニ倣ヒ商況週報差出方御實行被下度右特ニ得貴意候也

追テ左記ノ廉モ御承知相成度申添候

- 一 右週報ハ毎土曜日ヲ劃リ成ルベク各主任自ラ御執筆支配人へ御差出被下度候
- 二 御參考ノ爲メ各支店宛發送シタル商況週報送付方依頼狀寫左ニ添附致候 (前項参照)

◎賣買約案内書ノ件 (株式會社鈴木商店本店各課實施)

一 本店ニ於ケル一般商品賣買約案内書ヲ左ノ通定ム但シ同業組合ニ於テ特別ノ定メアルモノハ其ノ形式ニ據ル

- 甲號形式 (取引條件確認ヲ要スルモノニ用フ)
- 乙號形式 (其他一般のモノニ用フ)

甲號形式

大正 年 月 日

契約書No.

買約主	取次人
品名	
數量	
品質	
價值	
社出	
賣場	
金擔	
代支	
保證金	
摘要	

第 號 案 內 請 書

大正 年 月 日

株式會社 鈴木商店 殿

右ノ裏面ニ記載アル取引條件ヲ御承認ノ上御註文被成下候處應々買附相整ヒ候間此類案內申上候也

摘要 保證金 擔 代支 金擔 賣場 社出 價值 品質 數量 品名

第 號 案 內 請 書

大正 年 月 日

株式會社 鈴木商店 殿

右ノ裏面ニ記載アル取引條件ヲ承認ノ上註文致候處應々買附相整ヒ候間案內禁第類ヲ以テ御通知ニ相成正ニ受領致候也

摘要 保證金 擔 代支 金擔 賣場 社出 價值 品質 數量 品名

(甲號形式ノ裏面ニ案内書ト請書ノ双方ニ同文記載)

取引條件

- 第一條 株式會社鈴木商店(以下甲ト稱ス)ハ註文者(以下乙ト稱ス)ニ對シ天災不可抗力同盟罷業又ハ不慮ノ出來事ニヨリ生ジタル註文品ノ全部又ハ一部ノ不着延着又ハ積出ノ不能ニ付キ其ノ責ニ任セズ
- 第二條 契約成立後輸入稅率ニ變更アリタル時ハ新舊稅率ノ差ハ乙ノ計算ニ屬ス
- 第三條 契約成立後競争其他事變ニ因リ保險料ノ増加アリタル時ハ其増加額ハ乙ノ負擔トス
- 第四條 契約成立後乙ヨリ註文品ノ取合明細ヲ通知スベキ場合ニ之ガ通知ヲ怠リ又ハ乙ノ取合明細ガ外國製造所又ハ商品供給者ノ供給シ能ハザル事由ニヨリ變更ヲ要スル爲メ荷物ノ積出延引其他ノ損害ヲ生ジタル場合ハ乙ノ責任トス
- 第五條 乙ハ物件到着ノ案内ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ物件ノ検査ヲ爲スコシ該期限經過後ハ品質其他註文條件ニ相違アルモ甲ハ其責ニ任セズ
- 第六條 到着セル物件ノ數量ガ約定數量ニ比シ百分ノ五以内ノ増減アルモ乙ハ異議ナリ之レヲ引取ル可キ事
- 第七條 乙ハ物件受渡條件ニ從ヒ物件ノ引取ヲ爲スベシ若シ引取ヲ延引シタル時ハ其引取ノ日ニ至ル迄ノ期間ノ倉敷料火災保險料金利(利率ハ時價ニ據ル)ヲ支拂ヒ其他甲ノ蒙リタル一切ノ損害ヲ賠償スベキモノトス
- 第八條 乙ガ受渡期限内ニ物件ノ引取ヲ了セザル場合ニ於テ甲ハ何等ノ手續ヲ要セズ隨意ニ物件ヲ處分シ因テ生ジタル損害ノ賠償ヲ乙ニ請求スル事ヲ得
- 第九條 受渡期限前ト雖モ乙ガ賣買契約ヲ履行スル意思ナキモノト認ムベキ事實アリタル時ハ前項ノ規定ニ據ルコトヲ得
甲ノ引渡サントスル物件ノ品質ガ多少約定ニ相違スル處アルモ乙ハ相違ノ値引ヲ以テ之ヲ引取ル義務ヲ有ス但シ値引ノ割合ニ付キ一致セザル時ハ物件受渡地ニ於ケル商業會議所ノ判定ニ據ル此ノ判定ニ對シテハ雙方異議ヲ唱ヘザモノトス
- 第十條 前項ノ條件ハ甲ノ引渡サントスル物件ガ甲ノ過失又ハ不注意ニ因ラズシテ毀損シタル場合ニ準用ス
甲ハ乙ノ信用低落セリト認ムベキ事實アルトキハ擔保又ハ増擔保ノ請求ヲナスコトヲ得乙若シ之ニ應セザルトキハ甲ハ本契約ヲ解除スルコトヲ得
- 第十一條 甲ハ前項ノ場合ニ於テ擔保又ハ増擔保ノ請求ヲナサズシテ直ニ本契約ヲ解除スルコトヲ得
前二項ノ場合ニ於テ甲ハ契約解除ニヨリ生ジタル損害ヲ乙ニ賠償セシムルコトヲ得
- 第十二條 手形拂ニテ取引ヲ爲シタル場合ト雖モ當事者各自ノ都合ニヨリ相手方ニ對シ現金ヲ請求シ又ハ現金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得
此場合ニハ甲ハ乙ニ物件受渡地ニ於ケル當時ノ銀行率ニヨリ現金受取ノ日ヨリ手形期日ニ至ル迄ノ期間ノ日歩ヲ拂戻スルモノトス
- 第十三條 外國貨幣ニテ値段ヲ定メタル時ハ荷渡日ニ於ケル橫濱正金銀行外國爲替相場ニ據テ換算ス
輸出禁止又ハ元地賣主ガ契約不履行ノ場合ハ此契約ハ取消サルモノトス

乙號形式

第 號	參錢收 入印紙	賣約案内書
一 品 名		
一 數 量		
一 價 段		
一 受渡期日		
一 受渡場所		
一 代金受授方法		
一 保證金		
一 摘要		

前記ノ通貴店へ賣約記帳仕候間此段御案内申上候

大正 年 月 日

賣主 殿

第 號	參錢收 入印紙	買約案内書
一 品 名		
一 數 量		
一 價 段		
一 受渡期日		
一 受渡場所		
一 代金受授方法		
一 保證金		
一 摘要		

前記ノ通貴店へ買約記帳仕候間此段御案内申上候

大正 年 月 日

買主 殿

備考 控ハ賣買約案内書トシ三連式複寫トス

○本店各課賣買約通知票ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十三年七月廿八日附本店各課主任宛支配人通知)

從來日々ノ賣買約定ハ契約書作成ノ如何ニ拘ラズ賣約又ハ買約通知票ニ其ノ日ノ分ヲ一括シテ各々一票ニ御記入支配人へ御差出相成居候處右通知票ハ整理ノ都合上七月末日限り廢止シ來ル八月一日ヨリ別冊添附ノ通知票ニ改メ實行致度候間御了承一口毎ニ夫々所定事項御記入ノ上支配人へ御提出被下度又副紙ハ計算課へ御回付願上候

尙票中契約番號欄ハ契約書ノ有無ニ拘ラズ一口毎ニ必ず番號ヲ附セラレ契約書ナキ分ハ同欄後尻(契約書No.ノ次)ニ「無シ」ト記入セラレ日附ト共ニ後日査閱其ノ他取扱上ノ便ヲ圖リ度以上部下取扱者へ可然御傳達被下度此段得貴意候也

追テ該票ニ記入シタル契約番號ハ其ノ取引上ニ關スル總テノ書類摘要又ハ備考欄ニモ漏レナク記入スル様御注意被下度御願申上候

賣買通知票形式

注意

No. 賣 約 通 知 票	
大正 年 月 日 課	
契約番號	契約書 No.
賣 約 先	
品 名 品 質	
數 量	
值 段 @ ¥ Per ¥	
代金受入方法	
積月又ハ引渡期限	
引 渡 場 所 C. I. F. C. & F. F. O. B.	
BROKER	
保 證 金	
其 地 ノ 要 件	

賣約定ノ都度契約書ノ作成如何ニ拘ラズ記入ノ事
一契約一葉ニ記入ノ事
委託モ全部積出通知ト同時ニ記入ノ事
契約書ナキ分ハNo.ノ次ニ無シト記入ノ事
契約番號ハ契約書ノ有無ニ拘ラズ番號ヲ附スル事

注意

No. 買 約 通 知 票	
大正 年 月 日 課	
契約番號	契約書 No.
買 約 先	
品 名 品 質	
數 量	
值 段 @ ¥ Per ¥	
代金支拂方法	
積月又ハ受入期限	
引 取 場 所 C. I. F. C. & F. F. O. B.	
BROKER	
保 證 金	
其 他 ノ 要 件	

買約定ノ都度契約書ノ作成如何ニ拘ラズ記入ノ事
一契約一葉ニ記入ノ事
受託モ積出案内ト同時ニ記入ノ事
契約書ナキ分ハNo.ノ次ニ無シト記入ノ事
契約番號ハ契約書ノ有無ニ拘ラズ番號ヲ附スル事

備考 兩票共控、支配入室、計算課宛ノ三葉複寫式トシ買約通知票ハ赤刷リトス

第一編 職制執務手續 職務權限

○賣買契約其ノ他外部ニ對スル權利義務ニ關スル書類ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十五年六月十一日附本店及各所宛支配人通知)

株式會社鈴木商店ノ營業ニ屬スル文書中特ニ賣買契約、保證、其他外部ニ對シ權利義務ヲ證スル文書ハ總テ商法上ノ資格ヲ有スル代表取締役(社長、副社長、專務、常務)又ハ支配人名義ヲ以テ處理スルコトニ相成居候處(外部ヨリ受ケタル重要文書ニ調印ヲ要スルモノ亦同ジ)往々ニシテ右重要文書ヲ部、課、係、又ハ單ニ店員個人名義ヲ用フル向モ有之統一ヲ缺クノミナラズ事面倒ナル問題ヲ惹起シ當商店ノ爲メ意外ノ不利ヲ來シ延イテ之ガ監査上ニモ多大ノ手數ヲ要シ候ニ付是等ノ文書ハ必ず前記重役又ハ支配人名義ヲ以テ處理スルコトニ御實行被下度事情ニ依リ是等ノ重要文書ニ重役又ハ支配人ノ調印ヲ得ルコト至難ノ場合ハ其ノ理由ヲ述ベ重役、支配人ヨリ其ノ事件ニ就テノ委任狀ヲ受ケ然ル後處理スルコトニ被成下度尙事件ニ依リ株式會社鈴木商店ト鈴木合名會社(代表社員又ハ支配人)トノ名義ニ就テモ混同無之様充分御注意願度候也

○重役支配人要署名捺印書類ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正九年九月本店及各所主任宛支配人通知)

今後、重役本店支配人等ノ署名捺印ヲ要スル文書即契約證差入證委任狀其ノ他多少込入リタル書類ニ調印ヲ要スル場合ハ必ず控一通御副御提出被成下候様致度幹部ノ意見ニ依リ今後右様實行可仕候間御承知置被下度此段得貴意候也

尙本店各課ニ於テハ必ず其ノ書類ノ欄外若クハ小箋御添附主任者或ハ次席ノ御方認印押捺御差出被下度候

○本店貨物受渡ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正八年九月三十日附本店各課宛支配人通知)

本店貨物課ト各營業課トノ聯絡及責任區分ヲ左記各項ニ依リ之ヲ保持ス

- 一 貨物課ハ本店各營業課取扱ノ商品及各支店出張所ノ委託貨物ノ受渡保管運送荷造等ノ業務ヲ擔任シ其ノ責ニ任ズ
- 二 貨物課ガ營業課ニ對シ保證引受スベキ貨物取扱賃金ノ内運送ニ關スルモノハ當港及阪神間ノ運送賃ニ止メ其ノ他各地ヘノ運送賃及市内ノ倉庫業者ヘ支拂フベキ貨物保管料ハ其ノ實費支拂額ヲ計算課ヨリ附替フルモノトス但シ支店出張所ヨリノ委託貨物モ本文ニ準ズ
- 三 營業課ガ貨物課ニ對シ貨物ノ受渡ヲ請求セントスルトキハ所定ノ傳票ニ條件ヲ明記シ必要書類ヲ添附シ貨物課ニ交付スルモノトス但シ輸入貨物ニシテ書類ノ添附ナキモノハ貨物課ニ於テ保證狀ヲ作製シ貨物ノ引取ヲ爲スニ付書類到着ノ際ハ遲滞ナク送致スルモノトス
- 四 營業課ニ於テ貨物積付船ノ出帆電報及貨物受渡ニ關スル往復文書類ヲ受理セシ場合ハ遲滞ナク貨物課ヘ其ノ旨通知又ハ書類ヲ回付スルコトヲ要ス
- 五 營業課ニ於テ所定ノ賃率表ニ記載以外ノ貨物又ハ特種ノ荷造ヲ要スル貨物ノ取扱ヲ爲サント欲スルトキハ豫メ貨物課ヘ之ガ引受賃率ノ提示ヲ請求スルモノトス

- 六 營業課ニ於テ新ニ倉荷證券ヲ受入レタルトキハ直ニ之ヲ貨物課ニ交付スルコトヲ要ス
- 七 營業課ガ倉荷證券又ハ荷渡指圖書ヲ以テ代金ノ取立ヲ爲サントスルトキハ豫メ所要證券又ハ荷渡指圖書ノ交付ヲ貨物課ニ請求スルコトヲ要ス
- 八 營業課ニ於テ大口貨物ノ取扱ヲ爲ザント欲スルトキハ貨物課ニ於テ之ガ收容場所ノ準備ノ必要上豫メ其ノ旨貨物課ヘ通知スルモノトス
- 九 營業課ニ於テ輸出貨物ノ船腹契約ヲ爲シタルトキハ豫メ其ノ要旨ヲ貨物課ヘ通知シ置クコトヲ要ス
- 一〇 一般海上保險ノ申込ハ當該營業課ノ責任トス但シ阪神間及營業課ガ舩保險込ニテ賣買又ハ委託セルモノヲ除ク以外ノ港内運送ニ關スル海上保險ハ貨物課ニ於テ之ガ取扱ヲ爲スヲ便宜トスルニ付該保險ニ關シテハ貨物課其ノ責ニ任ズ
- 一一 一般陸上保險ノ申込ハ貨物課ノ責任トス
- 貨物課ハ保管貨物ノ火災保險金額及保險條件ヲ當該營業課ト協議ノ上附保スルモノトス
- 陸上運送保險ハ貨物課ニ於テ必要ト認ムル貨物ニ對シ當該營業課ト協議ノ上貨物課之ガ申込ヲ爲ズベキモノトス
- 一二 輸出入貨物ガ舩船内ニ五日以上碇泊スルトキハ當該營業課ヘ其ノ事情ヲ通シ海上保險其他ニ關シ適宜ノ處置ヲ取ルモノトス
- 一三 本船ノ出入及貨物ノ舩船取ヲ開始セシトキハ貨物課ハ其ノ旨當該營業課ヘ報告スルモノトス
- 一四 貨物課ニ於テ營業課ヨリ貨物受渡ノ傳票ヲ受理セシトキハ所定ノ手續ヲ經受渡完了ノ上ハ直ニ其ノ結果ヲ傳票ニテ報告スルモノトス
- 一五 輸入貨物ニシテ過不足、損傷、變質等凡テ貨物ニ異狀アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ之ガ原因ヲ調査シ營業課ヘ報告協議ノ上適當ノ措置ヲ取ルモノトス

- 一六 貨物課ニ於テ前項受渡貨物ノ損害ヲ責任者ト協定シタル場合ハ其ノ結果ヲ速ニ當該營業課ヘ報告スルモノトス
- 一七 營業課ノ請求傳票記載條件ニ變更ノ止ムナキ事情發生シタルトキハ其ノ旨營業課ヘ通知シ便宜ノ方ヲ取ルモノトス
- 一八 營業課ガ取引セル相手商賣ニシテ受渡ノ際常ニ背德ノ行爲アリト認メタルトキハ貨物課ハ是等ノ事故ヲ詳細ニ當該營業課ヘ報告シ考慮ヲ促スモノトス
- 一九 貨物課ハ營業課ノ請求ニヨリ營業課ガ倉荷證券ニテ代金ノ決済ヲ爲サントスル以前之ガ品質荷造ノ善惡ヲ調査スルモノトス
- 二〇 貨物課ハ毎月末現在ノ現品殘荷表ヲ作り各營業課及計算課ヘ報告スルモノトス
- 二一 貨物課ハ隔月一回帳簿殘荷個數ト現品トヲ對照シ品質其ノ他ニ異狀ヲ生ジ或ハ其ノ處アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ當該營業課ニ其ノ旨ヲ通シ適宜ノ處置ヲ取ルモノトス
- 二二 在庫貨物ノ倉荷證券ハ其ノ明細ヲ當該營業課ヘ通知スルコトヲ要ス
- 二三 貨物課ハ商品出入元帳ノ出入個數欄内ニ之ニ相當スル當該營業課元帳記載ノ月日及丁數ヲ記入シ置クコトヲ要ス
- 二四 貨物課ハ常ニ當港ニ於ケル貨物ノ集散及滯貨ノ狀況並同業者ガ取扱ヒツ、アル輸出入貨物ノ狀態ヲ調査シ各營業課ノ參考ニ資スベキモノトス
- 二五 貨物課ニ受入レタル倉荷證券ニ付テハ凡テ會計課ノ指圖ヲ得テ保管ノ措置ヲ決スルモノトス
- 二六 貨物課ハ貨物ノ出入及積出ヲ日々計算課ヘ報告スルモノトス
- 二七 貨物課ハ其ノ部ニ要スル給料其他一切ノ經費ヲ負擔シ第二項引受附替金額ト實際支拂金高トノ收支及貨物課ガ使用セル倉庫其ノ他ノ動産ヨリ生ズル果實ノ計算ヲ遂グ毎年三月及九月末ノ兩度ニ之ガ決算

報告ヲ作ルモノトス

二八 保證引受貸率ノ改訂ハ關係營業課ト協議ノ上決定スルモノトス

○大阪貨物受渡並駐貨物課トノ連絡ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正十五年七月定)

- 一 大阪支店ニ貨物係ヲ置キ本店貨物課トノ連絡協調ヲ採リ受渡ヲ統一シ支店各營業課並日本商業會社及各支店出張所委託ニ係ル貨物ノ受渡、保管、運送、荷造等ノ業務ヲ擔當シ其ノ責ニ任ズ
- 二 大阪仕向ノ貨物ニシテ大阪港ニ入津スルモノハ支店貨物係ニ於テ又神戸港ニ入津スルモノハ本店貨物課ニ於テ取扱フモノトス但シ大阪港ニ入津スル貨物ト雖モ本店營業課並船主等ノ都合ニ依リ本店貨物課ニ於テ取扱フヲ便宜トスル場合ハ協議ノ上本店貨物課ニ於テ取扱フコトヲ得此ノ場合其ノ監督ハ支店貨物係ニ於テ爲スベキモノトス
- 三 大阪仕向ノ貨物ニシテ神戸港ニ入津スル場合本店貨物課ニ於テ取扱フト雖モ其ハ單ニ所定ノ場所迄ノ回送トシ之ガ陸揚受渡倉入等ハ支店貨物係ニ於テ取扱フモノトス
- 四 大阪ヨリ積出ノ輸出貨物ニシテ神戸港ニ於テ船積スル場合之ガ回漕ハ支店貨物係ニ於テ取扱ヒ本店貨物課ハ積込上ノ監督ニ任ズルモノトス
- 五 本支店貨物課ハ常ニ互助ノ精神ヲ以テ業務ノ繁閑ニ依リ係員ヲ融通スルモノトス
- 六 支店貨物係ハ貨物取扱ニ要スル費用ノ高低ヲ調査シ常ニ之ガ輕減ヲ圖ルベキモノトス

七 支店貨物係ハ常ニ取扱貨物ニ對スル變質、毀損、減失、缺斤等ニ注意シ之ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク營業課ニ報告シ適當ノ措置ヲ爲スベキモノトス

八 支店貨物係ト各營業課並日本商業會社トノ貨物取扱上ニ於ケル連絡ハ總テ本店ノ例ニ倣ヒ傳票制度ニ據ルベキモノトス

九 支店貨物係ハ常ニ經理課ト協調ヲ圖リ倉荷證券ノ收受保管等ノ責ニ任ズルモノトス

一〇 支店貨物係ハ其ノ取扱ニ係ル貨物ノ受渡保管上必要ナル帳簿ヲ備ヘ其ノ經過及計數ヲ明記シ整理スルコトヲ要ス

一一 支店貨物係ハ毎月十五日及月末現在ノ殘荷表ヲ調製シ當該營業課ニ報告スルト同時ニ其ノ寫ヲ本店監査課並貨物課ニ送付スルモノトス

一二 支店貨物係ノ經費ハ各商品ノ取扱噸量ニ應ジ當該營業課ニ附替フルモノトス

○營業費科目ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十五年七月十七日附各所主任宛部長通知)

今回營業費科目ヲ左記ノ通修正七月分ヨリ御實行ヲ願フコト、相成候間御了承宜敷御取計被下度候尙從來當然營業費ニ屬スベキモノナルニ拘ラズ之ヲ商品諸掛ニ繰入ル、ガ如キ向往々有之統一上遺憾ノ點尠カラズ候ニ付自今斯ノ如キ誤謬無之様特ニ御注意被下度候尙若シ不審ノ點等有之候ハ、御申越可被下候御通知旁々右得貴意候

修正營業費科目

科 目	科 目 說 明	内譯表記入上ノ注意
1 給料	職員ニ支給スル本俸、家族手当、住宅手当、特別手当、散宿手当及傭人ニ支給スル諸給料但放事ニ係ルモノノ給與ハ第3項參照社宅宿舍ニ係ルモノノ給與ハ第4項參照	員數ハ實際支給員數ニシテ月末現在員ノミニ限ラザルコト
2 在外給與	在勤手当及之ニ附隨スル諸給與（即チ勤報加給單身在勤加給等）在外給與規程參照）及暖房手当等	
3 食費	食事ニ要スル直接間接一切ノ費用（即チ食品材料ハ菜ヨリ炊事關係使用人ノ諸給與、諸器具補充費、使用水道料、瓦斯薪炭等ノ燃料代其他）及食事手当	一 現品支給ノ員數ハ職員傭人共 二 實際支給延員數ノコト ニ 食事手当員數ハ實際支給人員ノコト
4 住宅費	住宅宿舍俱樂部ニ要スル一切ノ費用（即チ借地借家料、保險料修繕費、電燈料、使用人ノ諸給與、内外掃除費、維持費、消耗物品等一切）	氏名列記ノコト
5 醫療費	店費支辨ノ醫療費及海外在勤者ノ轉地費用等（在外給與規程參照）	氏名列記ノコト
6 轉勤旅費	轉勤及海外在勤者ノ休暇歸朝及歸郷旅費	
7 借地借家料	事業所（倉庫ヲ含ム）ニ要スル借地借家料	
8 火災保險料	事業所ニ要スル火災保險料	
9 電燈瓦斯水道料	事業所ニ要スル電燈瓦斯水道料	
10 修繕費	事業所ニ要スル修繕費	
11 諸寄附金	諸寄附及附合廣告料ノ類	
12 雜費	店內外掃除裝飾及諸消耗品、事務所暖房扇風費、宿直當直料、店給被服費、傭人賃與及退職給與、慶弔金、中元歳暮及特種ノ必要ニ因ル贈答費	

13 諸税金	公課賦課金一切
14 通信費	内外電信料、電話料、郵便料
15 旅費	營業及事務用旅費 旅行中ノ通信費及交際費ハ夫々該當科目ニ分類スルコト 饗應及一般贈答費
16 交際費	營業用廣告費
17 廣告料	旅費トシテ支給セザル人車、自動車、電車等ノ乗物費
18 車馬賃	營業及事務用ノ新聞雜誌書籍類
19 圖書費	事務用文房具消耗品、什器及備品勘定ニ計上セザル諸器具備品並什器備品ノ修繕費
20 消耗品費	天災地變其他特別ノ事變ニ依ル臨時支出金
21 臨時費	

明細書添附ノコト

○株式會社 鈴木商店本店當直宿直規程

(大正十五年五月一日定)

- 一 休日及一般勤務時間外ノ事務ヲ處理スル爲メ職員ハ交代シテ當直又ハ宿直ニ服スルモノトス
當直及宿直員ノ員數ハ左ノ通トス但シ時宜ニ依リ増員スルコトアルベシ
當直 店員一名 見習員又ハ雇員一名
宿直 店員一名 見習員又ハ雇員二名
但シ休日ノ夜ノ宿直見習員又ハ雇員ハ一名トス
- 二 當直及宿直ノ勤務時間ハ左ノ通トス
當直 全休日 一般出勤時間ヨリ一般退出時間迄
半休日 正午ヨリ一般退出時間迄
宿直 一般退出時間ヨリ翌朝ノ一般出勤時間迄
- 三 當直及宿直當番者已ムヲ得ザル事故ノ爲メ其ノ任務ニ服シ難キトキハ豫メ庶務課ニ申出デ承認ヲ經ベシ無斷ニ缺勤シ又ハ任意代理者ヲ依囑スルコトヲ許サズ
- 四 當直及宿直者ノ勤務ハ左ノ通トス
見習員及雇員ハ店員ノ指圖ニ依リ其ノ任務ニ從フモノトス
- イ 郵便電信ノ發受
發着信書類ハ所定ノ方法ニ依リ整理シ宛名關係者退出後ノ受信物ハ翌朝信書係(休日ノ場合ハ交代者)ヘ引繼グコト但シ至急ヲ要スル文書又ハ電報ハ直ニ宛名關係者ニ通告又ハ送達スルコト
- ロ 金庫ノ閉鎖及鍵ノ收受
鍵ハ會計課員退出ノ際同課ヨリ引繼ヲ受ケ各課帳簿類ノ搬入ヲ了リタル上ニテ金庫ノ錠ヲ下シ柳田

- 邸ヘ持參シ翌朝同邸ヨリ受ケテ會計課ヘ引繼グコト本任務ニ從フ見習員又ハ雇員ハ宿直見習員又ハ雇員ガ二名ナル場合事務ニ差支ナキ限り柳田邸ヘ持參後濟美寮ニ歸泊スルコトヲ得
- 五 當直及宿直者ハ前條ノ外專任警備係員ト協力シテ店内全般ノ警備及外部トノ應接ニ當ルモノトス尙重要ナル事故ノ發生シタル場合又ハ非常事變ニ際シテハ直ニ關係各方面ニ通報シ其ノ指圖ヲ仰グト共ニ臨機適當ノ處置ヲ爲スベシ
- 六 當直及宿直ニ服シタル店員ハ其ノ勤務中ニ發生シタル事件ヲ日誌ニ詳記シ庶務課ヘ提出スルモノトス但シ休日ノ場合ハ交代勤務ノ店員ヘ引繼グモノトス
- 七 當直及宿直者ニハ別ニ定ムル所ニ依リ手當ヲ支給ス
- 八 當直及宿直ニ關スル事務ハ庶務課ノ主管トス

○電報並郵便物差出方ノ件 (株式會社鈴木商店)

(大正十一年一月十一日附各課宛支那人通知)

- 店用ニ關スル電報發信並郵便物發送ニ關シ左記事項特ニ御了承被下度此段得貴意候
- 一 電報發信差出方 係員ニ於テ主任者ノ了解ヲ經ズシテ獨斷ニ電報發信ヲ專行スルガ如キコト有之候テハ業務上統一ヲ缺ギ遺憾ニ存候間今後ハ總テ主任者(主任者不在ノトキニ主任代理者)ニ於テ電報賴信紙ノ欄外ニ認印ヲ捺捺シ又ハ「サイン」シタル上信書係ヘ差出サレ候様致度尙右賴信紙末尾ノ發信者居所氏名記入欄ニハ必ズ課係名記入又ハ課係名印捺捺方併テ御實行被下度

- 二 郵便物差出方 差出課係名表示ナキ爲メ信書係ニ於テ郵稅負擔及記帳ノ必要上差出箇所詮議ニ時間ヲ徒費シ自然發送遲延スルコト往々有之候ニ付今後ハ必ズ課係名ヲ表示セラレ候様御取計被下度又表示ニ個人名義ヲ以テセラルルモノ有之候處右ハ豫テ御承知ノ通店用郵便物ニ貼付スル穿孔郵便切手使用方ニ違反シ無效トセラルベキニ付個人名義ハ封皮ニ表示セザル様御注意被下度
- 三 前二項ニ違反シタル電報又ハ郵便物ハ信書係ニ於テ受理セザルコト可有之ニ付豫メ御了知置被下度

○第一窒素工業株式會社工場處務規程

(大正十五年八月定)

- 一 各工場ニ工場長ヲ置ク
工場長ハ工場ニ關スル一切ノ業務ヲ統轄ス
- 二 工場ニ事務課及工務課ヲ置ク
各課ニ課長ヲ置キ其ノ課ニ關スル業務ノ責ニ任ゼシム
- 三 事務課ニ庶務係、會計係、倉庫係、用度係、勞務員係ヲ置ク各係ニ主任ヲ置ク主任ハ其ノ擔當スル業務ニ對シ其ノ責ニ任ズ
- 四 工務課ヲ左ノ工場ニ分チ各工場ニ主任ヲ置ク
主任ハ擔當業務ニ對シ其ノ責ニ任ズ
瓦斯工場 アンモニア工場 製品工場 營繕工場

- 副産物工場 電氣部 分析室
- 五 前項ニ定ムル主任ノ外法規ノ定ムル所ニ依リ左ノ主任ヲ置ク
電氣主任 化學主任
- 壓縮機取扱主任 汽罐汽機取扱主任
- 六 新ニ擔當區分ヲ表示スル名稱ヲ用ヒント欲スルトキハ其ノ旨稟請シ許可ヲ受クベシ

◎度量衡器取扱ニ關スル件

(大正六年九月十日附一般各所宛通知)

各所ニ於テ度量衡器ノ取扱ニ從事スル向ニ對シ其ノ取扱ニ關スル指導ヲ爲シ兼テ該度量衡器故障ノ有無ヲ検査セシムル目的ヲ以テ今回專門技術員ヲ店員ニ採用(鈴木商店本店貨物課ニ配屬)相成候ニ就テハ將來時々貴所ヘモ巡回可致若シ注意ヲ要スル事項發見ノ場合ハ其ノ旨貴所主任者ニ報告可致ニ付御承知被下度尙ホ臨時御必要ノ場合ハ繰合セ派遣可致候間何時ニテモ御申出相成度右得貴意候

◎職員被用人發明ヲ爲シタル場合ノ取扱内規

(大正十一年十二月七日附一般各所主任宛通知)

- 大正十年四月改正特許法實施後發明ニ關スル權利歸屬其ノ他ノ取扱方ヲ定ムル必要有之今回左ノ内規ヲ設ケラレ候ニ付該當者アリタルトキハ右内規ニ據リ御取扱被下度此段御通知申上候
- 一 職員其ノ他ノ被用人カ其ノ勤務又ハ會テ從事シタル勤務ニ關シ發明ヲ爲シタルトキハ其ノ發明者ヲシテ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權ヲ當社又ハ關係會社ニ讓渡セシムルモノトス
 - 二 前項讓渡ニ際シ補償金又ハ報酬ヲ發明者ニ贈與セントスルトキハ豫メ本社ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス此ノ場合ノ贈與金ハ各事業所ノ負擔トス
 - 三 第一項ノ讓渡ニ際シ發明者ノ同意ヲ得テ無償讓渡ヲ爲ス場合ハ發明者ヨリ特許局へ差出スベキ讓渡證ニ無償讓渡ノ旨明記スルカ又ハ報酬ヲ請求セザル旨ノ契約ヲ爲スコトヲ要ス
 - 四 第一項ノ勤務ニ關係ナキ發明ヲ爲シタル場合其ノ發明カ業務上ニ利害關係ヲ有スルトキハ關係所主任者ハ發明者ニ對シ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權ノ讓渡ヲ要求セラルベシ
 - 五 前項讓渡ニ付テハ雙方合意ノ上本社ノ承認ヲ經テ相當補償金ヲ發明者ニ交付スルコトヲ得
 - 六 發明者ニ本社名義ヲ以テ感謝狀ヲ贈與スベキ希望アルトキハ其ノ旨申請セラルベシ

◎海外渡航者紹介ニ關スル件

(大正十一年二月十五日附一般各所宛通知)

戰後洋行スル人益々頻繁ト相成隨テ紹介狀持參鈴木商店倫敦支店ヲ往訪セラレ候向不少候處被紹介者ノ身分地位當店ノ關係等不明ナル爲メ突然訪問ヲ受ケ其ノ應接待遇上頗ル不便ヲ感ズルニ付今後ハ前以テ紹介狀ノ寫一通並ニ接待ノ程度等甲格乙格丙格待遇ト云フガ如キ意味成ルベク詳細通知ヲ得度旨同支店ヨリ申來リ候米國各支店出張所亦同様ニ感ジ居ラルベク寔ニ尤モノ儀ト存候就テハ今後紹介狀ハ總テ本社ニテ相認メ可申候間若シ將來之ヲ要求セラレ候御仁有之候際ハ前段申陳候如ク御當人ノ事詳細御通知ト同時ニ紹介狀本社へ御請求被下度且被紹介者ニ於テ特別ノ依頼事項御座候場合ハ其ノ事件亦委細御申越被下度之ニ準ジ紹介狀作成可仕候右御通知旁得貴意候也

追テ大體ノ標準甲格ハ金子直吉氏トシ乙格ハ支配人トシ丙格ハ總務部又ハ鈴木商店人事課トシテ相認可申候是亦御承知置可被下候尤モ此ハ大體ノ標準ヲ示シタルモノニ候間之ニ依ラザルヲ可トスル御見込ノ場合例ヘバ丙格ニシテ金子氏又ハ支配人名義ノ紹介ヲ要スルガ如キ場合等ニハ特ニ其ノ旨御申越被下度候

◎紹介シタル海外視察渡航者接待ノ狀況等通報方ノ件

(大正十三年六月一日附一般各所主任宛支配人通知)

本邦知名ノ士ニシテ洋行セラルルニ際シ求ニ應ジ本社又ハ鈴木商店本店ヨリ海外支店出張所宛ニ紹介狀ヲ御渡シ致候員數ハ最近一箇年八十名内外ニ有之是等ノ諸氏ガ貴所御往訪ノ節其ノ身分地位又ハ當店トノ關

係ノ如何ニ依リ夫々接待方御配慮被下居候事ト盜察罷在候然ル處他日被紹介者歸朝セラレ候後其ノ身分地位職業等ニ稽ヘ臨機必要ニ應ジ當店取引上其ノ他ニ關シ何等カノ便宜ヲ得ルニ力メ度ト存申候ニ就テハ御手敷ニハ候ヘ共海外支店出張所ニテ御接待相成候場合ノ狀況竝被紹介者歸朝後如何様ノ方面(例ヘバ機械、鐵材其ノ他何々)ニ於テ當店ガ便宜ヲ得ラルベキカ等ノ御見込等通報方御取計相願度斯ク致候ハバ當取計方ヨリノ紹介モ貴所ニテノ御接待モ自然有意義ニ相成可申歟ト思料仕候次第ニ御座候何卒右御諒承宜敷御被下度候也尙海外各支店出張所ヘ紹介方依頼越相成候内地支店其ノ他ヨリモ前述ノ趣旨ニ依リ右被紹介者歸朝後ノ動靜等御報告相煩度切望仕候

○記帳係ノ職分ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正十年八月廿五日附本店各部課主任宛支那人通知)

營業上記帳ノ重要ナルハ固ヨリ贅言ヲ要セザル所ナルモ其ノ仕事ノ性質上往々之ヲ輕視スル傾アリ金子重役深ク之ヲ遺憾トセラレ特ニ記帳係ノ職分等ニ關シ左記ノ通り詳説セラレ候間御覽ノ上該係員ニ回覽セシメラレ尙十分重役意思ノ存スル所ヲ御説明被成下度此段得貴意候也

記帳係諸君ニ告グ

簿記ハ機械的ノ仕事デアリ、記帳係ハ椽ノ下ノ力持デアルカラ、一向面白クナイ、又一身ノ前途ニ就テモ良イ結果ヲ齎サナイカラ、何時カ好機會ニ營業部ノ方ヘ轉任シテ吳レヨウトハ、記帳係ノ腦裡ニ絶エズ往來シテ居ル考デアララシイ

併シ記帳係ハ決シテ斯ノ如キ薄幸ナ仕事デナイ、前途有望ノ役目デアル、是迄ノ軍人ハ、無學文盲ノ武士上リノ人デ差支ガ無カツタガ今後ハ成規ノ軍事教育ヲ受ケタ人ヲ要スル如ク、今後ノ商人ニハ、簿記ノ練達ト云フコトガ必ズ一ノ要素デアル、之ヲ暗ンジテ居ラナケレバ、立派ナ商人トシテノ資格ハ得ラレナイノデアアル

商賣ノ真相ハ記帳係カラ研究シ想像スレバ、一番能ク分ルノデアアル唯賣買ニ直接セザルニ因リ商賣ガ分ラナイトノミ思フノハ、自己ノ分別ガ足ラズ自己ガ不明ナカラデアアル

唯日々賣買スル計數及之ニ伴フ出入ヲ漫然附ケツ放シデ、何等ノ注意ト整理ヲ加ヘズシテ後ヘト書キ込ンデ行クト、商賣ノ事情ハ更ニ分ラズ、全然自分ノ擔當シテ居ル記帳ノ結果ガ、損ニナルヤラ益ニナルヤラ、借方ノ殘高ガ活キテ居ルカ死ンデ居ルカ判ラナクナルノデアアル、斯ノ如クニシテ商賣ノ事情ニ通曉スル筈ガナイ

記帳係ト云フモノハ、賣買及貸借ノ口座ヲ適當ニ按配シ、之ニ依ツテ日々ノ賣買出納ヲ正確ニ記入シ、常ニ商賣ノ實際ト帳簿ノ殘高トガ併行シテ居ル様ニ不斷ノ注意ヲ爲シ、何時營業ノ責任者又ハ重役ガ帳簿ヲ一覽シテモ、其レニ依ツテ貸借ノ程度損益ノ結果不良貸金ノ有無ガ判然想像シ得ラルル様ニ、各帳簿ヲ整理シテ置ク責任ガアル、即チ斯ノ如ク各帳簿ヲ整理セントセバ、記帳係ノ腦裡ハ營業主任者又ハ重役ト同憂同喜ナラザルヲ得ナイ、故ニ記帳ノ順序口座ノ配置ハ、斯ノ如クセバ彼レノ意ニ適スルデアラウ、彼レハ常ニ此ノ口座ト彼ノ口座ノ殘高トヲ正確ニ知リタイデアラウト云フコトヲ想像シ、一心專念ニ之ヲ記帳ノ方針トシテ居ラネバナラス。

凡テ簿記ハ、記帳係ノ勝手ノ良イ様ニ記帳シテハ役ニ立タナイ、營業主任ガ一見シテ、直ニ其ノ殘高ガ其ノ商賣ノ參考トナル様ニ、重役ガ之ヲ一見シテ監督ノ仕易イ様ニ、記帳シテ置クベキデアアル

吾人ガ常ニ口ヲ爛ラシ、記帳ノ方法ニハ、記帳係ノ勝手ノ良イ様ニ記入スルノト、監督者又ハ營業者ノ參

考ト成リ易キ様ニ記帳スルノト二種アルガ、斷ジテ前者ニ依ル勿レ努メテ後者ヲ採用セヨト言フタノハ、即チ此處デアル、記帳係ガ此心持テ簿記ヲ取扱ツテ行クト、營業係ト同ジ理想ヲ進ムカラ、不知不識ノ間ニ商賣上ノ智識ヲモ習得スル、是ニ於テ記帳係ハ、椽ノ下ノ力持デモ機械ノ様ナモノデモナイ、全ク其ノ營業部係ノ一員トシテ、他日商界ニ活動スルノ素地ヲ充分ニ造リ得ルノデアル、記帳係ハ何等齷齪スルニ及バナイ

又記帳係ヲ重役側ヨリ見レバ、營業上重要ナル一ノ監査役デアリ、檢非違使デアリ、又或意味ノ取締役デアアル、即チ重役ガ記帳係ヲ撰任スルニハ、只漠然ト此人ハ記帳ガ上手デアアル、斯ノ學校ノ出身者デアアルカラ、記帳係ニハ適當デアラウト云フ様ナ意味ヲ取極メタノデナイ、斯ノ人ナレバ、正確ニ記帳ヲスルデアラウ、不正直ナコトニ加擔スル虞ハアルマイ、怪シキ點ヲ不問ニシテ唯々諸々デ記帳スル様ナコトハナカラウ、暗黙ノ間ニ檢非違使ノ役目モ勤メルデアラウト、千思萬考ノ上任命シタノデアアル、故ニ此ノ點ニ就テ記帳係ハ重役ノ期待ト信任ニ反シナイ様ニ注意スベキ義務ガアルノダ

然ルニ最近、往々之ニ反セル行爲ノ發見セラルルノハ、誠ニ遺憾千萬デアアル、記帳係諸君、何卒緊禪一番大ニ此ノ點ニ留意セラレンコトヲ望ム (中略)

現在日本ニ行ハル簿記法ハ、唯西洋カラ其ノ形式ノミヲ輸入シ、之ヲ金科玉條トシ慣行シテ居ルカラ、簡單ナル商賣ニハ適當スルナランモ、廣汎ナル事業ハ之ヲ律スルコトガ出來ナイ、記帳係ガ營業係ニ屬スル機械ノ様ニ見エ、記帳係自身デ何ヲ記帳シテ居ルカ、儲ケツツアルカ損ヲシツツアルカ、更ニ商賣ノ状態ガ判ラナイノハ全ク茲ニアルノダ、管ニ記帳係ノミデナイ、營業係デモ、其ノ殘高ヲ一見シテ一寸見當ノ附カナイ場合ガアツテ、大事ヲ誤ル虞ガアルカラ、此ノ點ニ一大革新ヲ加フル必要ガアル、即チ其レハ商品ヲ賣却シタ場合、從來ハ其ノ代金ヲ一筆ニ其ノ口座ニ記入シテ居タノヲ、今後ハ元價ダケヲ其ノ口座ニ記入シ、其ノ他ハ運賃人足賃倉敷及利益等ニ分配シテ記入スルコトニ依テ、救濟セントスルノデアアル

委細ハ、永井君カラ説明スルカラ、速ニ之ヲ實行セラレンコトヲ祈ル、蓋シ之ニ依ツテ、記帳係モ營業係ト同身一體ノ如ク商業上ノ利害ニ浴シ、同ジ趣味ヲ同感スルカラ、諸君ハ定メテ満足デアラウ

又記帳係ハ記帳以外ノ方面ニモ眼ヲ配ツテ居ル必要ガアル、元來簿記ハ、賣買ガ決リシタ事後ノ要件ノミヲ記スルカラ、事前ニ溯リ事ノ大體ヲ知悉シテ居ラナケレバ、誤リヲ訂ス智識ガナク頗ル不便デアアル、換言スレバ決算ノミヲ遣ツテ居ツテ豫算ヲ知ラナイカラ、記帳ノ上ニ徹底シタ判斷ガ出來ナイノデアアル、故ニ今後ハ、商賣ガ出來ル毎ニ採算ト豫算ヲ作ラセ、此レニハ記帳係ノ主任者ヲ參與サセテ、始メカラ不當ナ見積リヲセナイ様ニ注意シ之ヲ實行スルノデアアル

斯ノ如クスルトキハ、先天的ニ計算ノ系統ヲ吞込シテ、ヘンヲ執ツテ記帳ヲスルカラ、何時モ商業ノ實際ト記帳ガ併行シテ行クデアラウ、要スルニ簿記ハ、豫算ノ實行ヲ表示スル一ノ數字デアアルカラ、營業係ト貨物係ト記帳係ト三者ガ寄ツテ、豫算ト決算ノ調和ヲ圖ル、即チ之ヲ商業ト云フノデアアル、斯ク論ズルト記帳係ガ商業上重要ナル地位ニ在ルヲ自覺スルニ足ルデアラウ

思ハズ話ハ岐路ニ入ツタガ、此ノ採算ト豫算ノ諸表ハ、營業係ト貨物係ト記帳係ト協力シテ作成スルモノデアアルカラ、若シ營業係ガ之ヲ怠ツタ場合、記帳係ノ主任ハ、自動的ニ作成ニ着手スル位ノ考デ居テ貰ヒタイ

凡ソ物ニハ行詰リト變化ト一利一害ト云フモノガアル、即チ前述ノ商品代金ノ仕譯豫算採算決算ノ諸表ニハ特ニ其レガ多イカラ、時ニ臨ンデ圓滑ニ行ハル様ニ工夫ヲシテ遣ツテ貰ヒタイ、行詰ツタ場合ニ、徒ラニ立法者ヲ攻撃シ實行ノ不可能ヲ説クガ如キハ、自ラ思慮ノ足ラザルヲ示ス譯デアアル實行ニ臨ンデ行詰マルデアラウト想像セラルル所ハ、貯藏中又ハ積送中、亂儀ヲ生ジタリ荷造ノ改装ヲヤツテ居タリ、或ハ混合マークノモノヲ、一マークトシテ賣却シタル場合ノ如キ、或ハ賣先ガ一軒デ買先ガ數口ニ分レテ居ル場合ノ如キ、記帳ニ迷ヒ整理ニ當惑スルデアラウガ、是等ハ貨物係ト營業係ト協議スレバ良イ智恵ガ出ヨウ

其レカラ元帳日記帳ハ勿論、決算ニ要スル貸借表損益表殘荷表採算表豫算表及手合帳ノ如キ、各帳簿ト諸表ヲ一定スル必要ガアル、之ヲ各店各部別々ニ遣ツテ居ルト、頗ル不便デアリ又經費ガ多ク懸ルカラデア、彼ノ陸海軍ノ兵器ヲ見ヨ、紙一ツ栓一ツ何カラ何迄悉ク同一寸法デアツテ、其レカラ其レヘト急場ノ流用ガ利ク様ニ出來テ居ルノダ

即チ當店ノ諸帳簿諸表凡テノ書類モ、皆斯ノ如キ一定ノモノヲ使用スル必要ガアル、各々勝手ニ御好ミノ形式ヲ拵ヘラレテハ、不便デ且經費ガ嵩ムカラ、各部及各地方支店出張所ト打合セテ、一定ノモノヲ備フル様ニ決定シテ貫ヒタイ、特ニ其ノ中ノ或表ハ之ヲ色別トシ、例ヘバ豫算表ハ赤表ト言ヒ採算表ハ青表ト稱スル様ニ拵ヘテ貫ヒタイ、此レハ其ノ實行ヲ期スル主旨ヲ宣傳スル一ノ手段デアルト同時ニ、其ノ立法ニ對シ善イ感ジヲ與フル方法デアル

之ヲ要スルニ記帳係ハ徒ラニ自分ヲ悲觀セナイデ、商業上ニ於ケル其ノ地位ヲ自覺シ、關係帳簿ヲ理想通リ整理シ、營業係ト協調シ豫算ト決算ノ調和ヲ圖ルヲ以テ己ノ責任トシ、斯ノ平和戰ニ奮闘セラレシコトヲ切望スル、若シ今日ノ商業ガ鐵血ノ戰爭デアツタナラバ、今頃ハ決死隊ヲ組織スル程ノ場合デアルカラ小サイ寸鐵ノベン先デモ、血刀ヲ振廻シテ居ル様ナ心意氣デ、油斷ナク働イテ呉レ給ヘ

◎旅行日報ニ關スル件

(大正十年四月一日附一般宛通知)

本年一月十五日附旅費規程實施ニ關スル通知第十五項ニ依リ三日以上出張者ニハ成ルベク旅行日報ヲ主任者宛ニ送付スベキコトニ相成居候ニ付御實行被下候事ト存候ヘ共往々之ヲ等閑ニ附セラル、向有之遺憾ニ

存候間御部下職員ヘ右實行方再應御注意被下度此段得貴意候

追テ旅行日報用紙ハ鈴木商店本店用度係ニ於テ多數調製致置候間御入用ノ向ハ同係宛御申越被下度申添候

◎職員預金及立替金取扱規定ノ件

(大正九年十二月廿日附一般宛通知十二年三月一部改正)

職員預金及立替金取扱規定左記ノ通決定大正十年一月ヨリ御實行ヲ願フコト、相成候間御了知ノ上可然御取計被下度此段御通知申上候

職員預金及立替金取扱規定

- 一 職員ノ預金勘定ハ鈴木合名會社經理部ニ於テ之ヲ管掌ス
- 二 預金出入ニ關スル手續ハ本社經理部預又ハ各所會計部金係ニ於テ行ヒ其ノ現金ノ出納ハ出納係ニ於テ行フ
- 三 預金セントスル者又ハ預金ヲ引出サントスル者ハ必ず通帳ヲ預金係ニ提出シ預金係ハ之ニ記入捺印ノ上傳票ト共ニ出納係ヘ回付ス出納係ハ直接本人トノ間ニ其ノ金額ヲ受拂ヲ了シ通帳ニ捺印ノ上本人ヘ返付スルモノトス
- 四 各所ニ於テハ前項ノ手續ヲ終リタル後直ニ本社經理部ヘ振替フベシ
- 五 歐米印度濠洲等ノ海外ニ勤務又ハ出張セル職員ニシテ預金ヲ引出サントスルトキハ必ず本社經理部主任宛ニ申出デ漫ニ知人等ニ依頼スルコトアルベカラズ但シ止ムヲ得ザル事由ニ依リ知人ニ依頼シ預金ヲ

- 引出サントスルトキハ知人宛依頼狀ノ寫又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ經理部主任宛ニ送付スベシ
- 六 止ムヲ得ザル事情アル場合ハ本店預金ノ有無ニ拘ラズ毎月支給スベキ諸給與額ノ範圍内ニ於テ一時金・錢ノ立替ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ハ必ズ其ノ月ノ給料支給日ニ於テ差引決済スベシ
- 七 旅行者ニ對シテハ出發前旅費ノ概算ヲ渡スベキモノトスルモ若シ長距離又ハ長期間ノ旅行者ニシテ多額ノ旅費ヲ携帯セザルヲ便トスル場合ハ所屬主任ニ於テ其ノ旅費概算總額ノ範圍内ニ於テ金額ヲ限定シタル旅費假出依頼狀ヲ作成シ之ヲ旅行者ニ交付スベシ
- 八 各所ニ於テハ前項依頼狀ノ定額ヲ超過シテ立替ヲ爲スコトヲ得ズ若シ之ヲ爲ス必要アルトキハ豫メ第九ノ手續ヲ履行スベシ
- 九 他所員轉勤又ハ出張ノ途次旅費其ノ他ノ費金ノ立替ヲ請求シ來リタルトキハ其ノ所屬主任者ノ依頼狀又ハ旅費假出依頼狀ヲ持參セル者ニアラザレバ之ガ立替ヲ爲スコトヲ得ズ
- 十 止ムヲ得ザル事由ニ依リ前項ノ手續ニ依ラズ他所員ニ對シ立替ヲ爲サントスルトキハ一應其ノ所屬所ニ電照シ承認ヲ受ケタル上之ヲ支出スベシ
- 十一 前二項ノ立替金ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ所屬所へ振替フベシ

◎特別ノ事情アル場合職員ニ金品ノ融通ヲ爲スノ件

(大正十四年二月十九日附一般各所主任宛支配人通知)

特別ノ事情アル場合職員ニ金品ノ融通ヲ爲スノ件ニ關シ今回別紙ノ通り取扱内規ヲ定メラレ候處右ハ事情

萬止ムヲ得ザルモノニ限り特ニ便宜ヲ與ヘントスルノ趣旨ニ外ナラズ候ニ付御了承本人ヨリ申出有之候節ハ審カニ其ノ事情ヲ查覈シタル後諾否ヲ決セラレ苟クモ情實ニ拘泥シテ濫出ニ流レ累ヲ他日ニ貽スガ如キコト無之様豫メ御留意被下度尙本件金品融通方ニ關シテハ事體重キモノハ勿論其ノ然ラザルモノニ付テモ機宜ヲ失セザル限リ一應本社ノ承認ヲ經テ御取運相成候様致度爲念此段得貴意候也

特別ノ事情アル場合職員ニ金品融通ヲ爲スノ件(内規)

- 一 職員病氣ニ罹リ若クバ不慮ノ災厄ニ遭ヒ又ハ其ノ他特別ノ事情ニ因リ一時ニ多額ノ費用ヲ要スル場合家庭其ノ他ニ於テ調達支辨スルコト能ハザルトキハ申出ニ依リ其ノ事情ヲ審査シ止ムヲ得ザルモノト認メタル者ニ限り特ニ金品ノ融通ヲ爲スコトアルベシ
- 二 金品ノ融通ヲ受ケタル者ハ左ノ方法ニ依リ償還スルモノトス但シ一時ニ償還スルヲ妨グザルハ勿論トス
- イ 毎月収入額ノ一割以上
- ロ 毎半期賞與額ノ五割以上
- 前項ノ償還金ハ支給ノ都度便宜當該係ニ於テ控除スルモノトス
- 三 金品ノ融通ヲ受ケタル者ハ相當ノ保證人ト連署シタル借用證書ヲ差入ルベキモノトス

◎穿孔郵便切手使用方ノ件

(大正九年十二月十日附關係各所宛通知)

今回郵便切手類記號穿孔(切手面ニ SZKヲ穿孔ス)使用方所轄遞信局ヨリ承認ヲ相受ケ候ニ付自今發送スベキ郵便電信ニハ必ず前記切手ヲ貼用致スコトニ相成候間左記事項豫メ御承知置被成下度候

一 記號切手使用者

- 鈴木合名會社
- 株式會社鈴木商店 (本店)
- 帝國汽船株式會社 (本社)
- 日本金屬株式會社 (本社)
- 太陽曹達株式會社 (本社)
- 大陸木材工業株式會社 (本店)
- 帝國人造絹糸株式會社 (本店)
- 豐年製油株式會社 (神戸支店)
- クロード式窒素工業株式會社 (本社)
- 帝國炭業株式會社 (神戸出張所)

二 記號切手使用局

- 神戸郵便局
- 三宮郵便局

前記二局ニ於テ集配取扱ヲ爲ス郵便函ニ差入ル、郵便物ニ對シテモ貼用スルコトヲ得

三 記號切手使用ノ郵便物並ニ電信ハ其ノ封筒若クハ賴信紙ニ第一項ノ店名又ハ社名ヲ明記シアルモノニ限ル但シ各其ノ部係名、又ハ課名迄ハ併記シテ差支ナキモ成ルベク個人名義ヲ記入セザルコト、尙私信ニ使用スルコトヲ得ズ

◎東京神戸間私送郵便ノ件

(大正十四年十月三日附關係各所宛通知十五年七月一日一部改正)

豫テ御協議中ナリシ電話料節約ノ一方法トシテ私送郵便開始ノ件研究ノ結果鐵道客車便ニ依リ東京神戸相互ノ文書類ノ送達ヲ開始スルコト相成リ先日來實行中ニ有之候間左記御了承本便ノ御利用ニ依リ一層電信電話料ノ節約ニ御留意相煩シ度此段御通知申上候也

一 本便ハ毎日(大祭日ヲ除ク)日曜及普通ノ祭日ハ平日通り發送(本店、鈴木商店東京支店双方ヨリ發送ス)

二 送達文書類ハ午後七時迄ニ信書係へ差出スコト
信書係ニ於テハ一括シテ所定ノ鞆ニ收メ鍵ヲ卸シツツク製袋ニ容レ左記ノ列車ニ託送ス

三 宮驛發午後六時四十七分 東京驛着翌午前八時廿分

東京ヨリハ左記ノ列車ニ託送ス

東京驛發午後七時廿分 三宮驛着翌午前八時六分

三 本便託送物ハ容器ノ關係上縦一尺二寸横一尺高少四寸以内ノモノナルコト

四 本便ハ鈴木商店東京支店ノ外差當リ左記各所宛ノモノヲ取扱フ

- トロロツブコールス代理部 豐年製油本社 合同油脂本社 旭石油本社 大日本鹽業本社 東洋製糖出張所 神戸製鋼所出張所

○囑託辯護士濱宇津惇一郎氏利用ニ關スル件

(大正十二年十月十八日附一般各所主任宛重復通知)

當店各所並ニ關係會社ニ於ケル滯貸金ノ取立整理ハ日常ノ業務ニ妨ゲラレ往々怠リ勝ニ相成可申候間今回濱宇津辯護士ト契約ヲ締結シ債權ノ取立及係争事件ノ解決ヲ囑託スルコトニ致候間御了承滯貸金ハ勿論滯貸ノ虞アル向ニ對スル取立等同氏ヲ利用セラレ候様致度又今後ノ取引上ニ就テモ法律上ノ注意ヲ要スル點ハ進ンデ同氏ニ相談シ適法ノ處置ヲ講ズルコトニヨリ紛争ヲ未然ニ防グ様御配慮相成度候
尙同氏ハ當分合名會社ノ一部ニ席ヲ設ケ毎日出張シ執務セラル、コトニ相成居候間併セテ御承知被下度候

○濱宇津顧問辯護士依囑ニ關スル注意ノ件

(株式會社鈴木商店)

(大正十四年十二月二十九日附本支店出張所宛人事通知第七八二號)

當店顧問辯護士濱宇津惇一郎氏ニ御依頼ノ要アル事件ニ付テハ統一上自今本店監査課迄御申出ノ上御利用相成リ各課各所ニ於テ直接御交渉御依頼無之様致度此段御通知申上候也

◎和文電信暗號使用ノ件

(大正十一年三月廿九日附一般各所宛通知)

從來歐文電報ハ通信係ニ於テ統一ノ上暗號架電致居候モ和文電報ハ各部ニ於テ直接ニ取扱ヒ且平電ニ依ルヲ一般ト致候右ハ主トシテ暗號使用ノ手數多キト本來電報料金低廉ナルトニ基因スルモノト被思候處之ガ爲メ往々秘密ノ漏洩ヲ免レ難キノミナラズ電報料金モ不知不識ノ間ニ巨額ト相成候戰時好況時代ニハ電報料金ノ如キ殆ンド問題ト爲スニ足ラザルベキモ昨今ノ如キ商況閑散ノ場合ニ於テ電報料金ノ有效ナル節減ハ決シテ輕視スベキニアラズ其ノ他ノ一般營業費ノ節約ト相俟チテ不況時代ニ處スベキ必要ナル方策ト存候幹部ニ於テモ豫テ和文電信モ外國電信ト同様統一シテ暗號ヲ使用スル方有利ニ非ザルヤニ關シ十分考慮セラレ候結果決定ヲ見ルニ至リ豫テ編纂中ノ暗號帳モ此ノ程漸ク出來上リ候ニ付愈々來ル四月十日ヨリ實施スルコト、相成候次第御了知ノ上御實行被下度此段得貴意候也

◎記帳用標準數字ニ關スル件

(大正八年二月十四日一般各所宛通知)

總ニ主任會ニ於テ決議セラレ支配人ノ承認ヲ經タル記帳數字手本印刷出來候間御覽ニ供シ候別ニ御手許迄送付致候分ハ乍御手數御部下へ頒與被成下各自業務ノ餘暇ヲ利用シテ練習致候様御獎勵相成度此段得貴意候也

1234567890
 123456789000000
 1111111111111111
 2222222222222222
 3333333333333333
 4444444444444444
 5555555555555555
 6666666666666666
 7777777777777777
 8888888888888888
 9999999999999999
 0000000000000000
 123456789012345678901234567

第二編 本 家

◎本家參趨方ノ件

(大正八年二月二十八日附一般宛通知)

店員ニシテ左ニ該當スル者ハ自今本家へ挨拶ニ趨キ候様御取計被下度本件ハ當方ニ於テモ夫々注意可致候
 へドモ自然遺漏ナキヲ保シ難ク候ニ付爲念御配慮方御願申上置候

追テ主任者ハ益正月ハ勿論其他隨時參趨相成可然又參趨者ハ總テ鈴木商店庶務課へ申出其ノ紹介ヲ受ケ
 ラレ候様致度申添候

イ 新ニ採用セラレタル店員 (有妻者ハ成ルベク妻同伴ノコト)

ロ 店員ニシテ歐米、東洋方面及殖民地へ轉勤又ハ出張スル者及歸朝シタル者 (妻携行者ハ妻同伴參趨
 ノコト又妻ノミ出發又ハ歸朝ノ場合ハ妻單獨ニ參趨ノコト)

ハ 店員ニシテ神戸及附近 (鳴尾及大阪ヲ含ム以下同ジ) ヨリ他へ轉出スル者竝他ヨリ神戸及附近へ轉
 來シタル者 (有妻者ハ成ルベク妻同伴ノコト)

ニ 神戸及附近ニ在勤スル店員結婚シタルトキ (妻同伴ノコト)

ホ 各所在勤者ニテ曾テ參趨シタルコトナキ店員神戸及附近へ出張シタルトキ

◎本家贈與品ニ關スル件

(大正八年二月二十八日附神戶及附近各所並本店各派係宛通知)

從來神戶及附近在勤店員ニシテ妻同伴本家へ參趨シタル者ニハ大抵本家ヨリ紋服ヲ贈與セラル、例ニ候處今回其ノ贈與ニ關シ左記ノ通定タラシ候ニ付御了知ノ上該當者ニ付テハ便宜本社支配人宛御内申相成度右御通知申上候也

追テ本件贈與ハ神戶及附近各所在勤店員及夫人ニシテ時々本家へ參趨シ得ベキ者ニ限ル義ニ有之又紋服ハ本家參趨ノ折ノミニ着用セシメラル、御趣旨ニ付御了知相成度爲念申添候

- 一 現在ノ有妻店員ニシテ既ニ妻同伴本家へ參趨シタルモ未ダ紋服ノ贈與ヲ受ケザル者ニハ追テ贈與セラル
- 二 前項ノ店員ニシテ未ダ妻同伴參趨セザル者ニハ參趨後紋服ヲ贈與セラル
- 三 今後新ニ入店昇格又ハ結婚スル者ニハ妻ニ紋服ヲ贈與セラル、ノ外本人ニモ贈與品アル見込
- 四 以上ノ贈與ハ店員ト爲リタル後一年以後ノコト

◎御家様寫眞贈與ノ件

(大正八年三月一日附一般宛通知)

店員ト爲リタル後一年ヲ經過シ妻ト同棲スル者ニハ所屬主任者ノ申請ニ依リ本家ヨリ御家様ノ寫眞ヲ贈與セラル、コトニ相成候間適宜本社支配人宛御申請相成度右御通知申上候也

◎本家慶弔金ニ關スル件

(大正九年二月廿五日附各所主任宛通知)

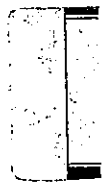
從來職員ノ吉凶ニ關シテハ濟美會ヨリノ慶弔ヲ行ヒ來リ候處來ル三月一日ヨリ右以外ニ鈴木家ノ名ヲ以テ左記ノ標準ニ依リ慶弔セラル、コトニ決定致候ニ付御承知置被下度此段御内報申上候也

追テ右ニ關スル事務ハ各所主任者ニ於テ時機ヲ誤ラズ該當金額(挨拶狀ハ別ニ附セズ)ヲ中ノ奉書紙ニ包ミ水引ヲ掛ケ鈴木家ノ名ヲ以テ本人へ贈呈ノ上其ノ金額ヲ直ニ鈴木商店本店計算課へ御振替被下度候

左記

- 一 結婚祝儀 (濟美會取扱細則第八項ニ依ル場合ハ贈呈セズ)
 - 初婚 五拾圓
 - 再婚 參拾圓
- 一 出產祝儀 (同前)
 - 初子ト次子以下トニ拘ラズ貳拾圓
- 一 家族死亡香奠 (同前)
 - 家族ハ父母妻子ニ限ル參拾圓
- 一 祭祀料
 - 本人ニ限ル百圓 (同前ノ場合ハ五拾圓)

濟美會 (一) 弔金 參拾圓
 初子 貳拾圓
 父母死亡者 參拾圓
 本人死 百圓
 見當ノルセキ者係及一六ノ算七



第三編 社風 紀律

◎職員服務心得

(大正十四年六月二十九日定)

- 一 職員ハ社則ヲ守リ社風ヲ重ンシ上役ノ指揮ニ從ヒ和衷協力シテ誠實ニ其ノ務ニ服シ社運ノ隆昌ヲ期ス
- 二 職員ハ業務ノ進展改善ニ關シ斷エズ研究ヲ怠ルベカラズ
- 三 職員ハ會社ノ利害ニ關スル事項ニ就キ隨時上役ニ具申又ハ稟議スルコトヲ得
- 四 職員ハ上役ノ指揮ヲ承クルニアラザレバ權限外ノ行爲ニ亘ルコトヲ得ズ
- 五 職員ハ業務ニ關スル秘密ヲ他ニ漏洩スベカラズ取引先ノ秘密ニ就テモ亦同ジ
- 六 職員ハ上役ノ承認ヲ經ルニアラザレバ會社ト取引其ノ他ノ關係アル向ヨリ贈與若クハ響應ヲ受ケ又ハ負債ヲ爲スコトヲ得ズ
- 七 職員ハ會社ノ承認ヲ經ルニアラザレバ直接ト間接トシ問ハズ社外ノ業務ニ從事スルコトヲ得ズ
- 八 上役ノ任ニ在ル者ハ部下職員ノ技術成績ノ向上ニ留意シ適切ナル指導督勵ニ努ムベシ
- 九 上役ノ任ニ在ル者ハ部下ノ事務ニ就キ直接之ニ關與セザルノ故ヲ以テ責任ヲ免ル、コトヲ得ズ
- 十 職員ハ質素儉約ヲ旨トシ苟モ投機的行爲ヲ爲スベカラズ
- 十一 職員故意重大ナル過失又ハ專斷ニ因リ會社ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ辨償ノ責ニ任ズベシ

◎懦弱淫逸ヲ避ケ剛健摯實ノ氣象養成ニ關スル件

(明治四十四年十二月三十日附一般宛重役通知)

近來青年者ノ氣風動モスレバ懦弱淫逸ニ流レ剛健摯實ヲ缺クモノ少カラズ私カニ慨歎ニ堪ヘザルモノアリ我商店ト休戚ヲ俱ニスル青年諸君ノ風紀ニ關シテハ不肖平常深ク憂フル所アリト雖モ願ミテ未ダ自ラ意ヲ安ンゼザルモノアリ其ノ弛張如何ハ獨リ諸君一身ノ利害ノミニ止マラズ亦實ニ我商店ノ盛衰榮辱ニ關スルモノ甚ダ多シ希クハ諸君常ニ不肖ト心ヲ一ニシ各自深ク戒飭自重ヲ加ヘ前途ノ大成ヲ期センコト至囑ニ堪ヘザルナリ

歲華茲ニ一新迎春ノ喜ビヲ頒タントスルニ際シ一言セン世上動モスレバ新年ノ樂ミニ辭ヲ藉リ徒ラニ酒色ニ沈溺シテ放逸甚ダ厭フベキノ陋習アリ試ニ問ハン諸君新年數日ニ亘ル休暇ヲ如何ニ利用セントスルカ親戚故舊ヲ訪フ固ヨリ可ナリト雖モ徒ラニ室內ニ在リテ座戲遊興ニ耽ル如キアラバ甚ダ取ラズ茲ニ其ノ可ナリト信ズル一二ヲ舉ゲテ諸君ニ獎メント欲ス曰ク山川跋涉曰ク野外遊戲素ヨリ一ニシテ足ラズ又諸君ノ嗜好自ラ異ルモノアルベシト雖モ要ハ尙武剛健ノ氣質ヲ養フニ留意シ其ノ宜シキヲ得ンコトヲ望ムニ在リ乃チ所感ノ一端ヲ記シテ諸君ノ注意ヲ促スコト爾リ

◎浮華輕佻ヲ避ケ質素朴實ヲ旨トスル件

(大正元年十二月十八日附一般宛通知)

世ノ中ノ進歩發達生活程度ノ向上ニ伴ヒ一般世間ノ風潮浮華輕佻ニ流ル、ノ嫌有之候折柄尙モ質素朴實ヲ

誇レル當店ニ職ヲ奉ズル者ハ嚴ニ自制以テ克ク滔々タル惡傾向ノ外ニ卓立シ縱令服裝ノ如キ瑣事ノ上ニモ充分ノ注意ヲ拂ヒ聊カタリトモ華奢風流ト目サル、如キ事無之様各自ニ於テ御心懸ケ相成度此段得貴意候也

◎形式的諸禮ヲ廢スル件

(大正九年七月五日附一般宛人事通知第三八八號)

職員相互間圓滿ナル親交アルハ洵ニ欣ブベキコトニ候ヘドモ往々形式ニ流レ虛禮トモ思ハル、モノアリテ之ガ廢止ヲ希望スルモ受ケテ酬イザル能ハズ爲メニ溜々其ノ弊ノ行ハル、如キハ遺憾ニ堪ヘザルヲ以テ自今職員相互間ニ於ケル左ノ如キ事項ハ總テ之ヲ廢止スルコト、致度重役ノ御希望ニ候間各位ニ於テモ全廢方御實行被下度特ニ得貴意候也

- 一 年賀狀交換
- 一 寒暑中見舞狀交換
- 一 中元贈答
- 一 年末年始贈答
- 一 新年ノ回禮
- 一 轉勤出張ノ場合ニ於ケル送迎宴會

◎年賀狀交換廢止ノ件

(大正元年十二月十八日附一般宛本店通知)

從來當店々員相互ノ間ニモ世上一般ノ慣例ニ倣ヒ年賀狀ノ遣リ取り相成居候處右ニ對シ曾テ斯ノ如キハ一
虛禮ニ過ギズセメテハ内輪ダケニテモ之ヲ廢止致度旨諸賢ノ御同意ヲ求メ候コト有之候ヘ共兎角習慣ノ情
勢ニテ未ダ十分ニ其ノ趣旨ヲ達シ兼ネ居リ候斯クテハ到底實行ノ期無カルベシト被存候ニ付本年以後ハ斷
然當店々員間ニハ親疎上下ノ別ナク一切年賀狀ノ交換ヲ全廢スル様各位ニ於テ是非御承諾相成度希望ヲ以
テ特ニ右申進候間何卒此議御諒知ノ上本年以後相互間ニ於ケル年賀狀ノ御差立ハ必ズ御見合セ相成度吳々
モ得貴意候也

◎中元贈答暑中見舞遣取等全廢實行ノ件

(大正十一年七月十四日附一般宛支配人通知)

職員相互間竝本家、重役、職員間ニ於テハ形式的儀禮ニ屬スル年賀狀交換、寒暑中見舞狀交換、中元贈答
年未年始贈答等全廢方爰ニ御通知申上置候ニ付御了承ノ儀ト存候處尙往々因襲の舊慣ニ因ハレ之ガ交換贈
答ノ廢止ヲ實行セラレザル向有之頗ル遺憾トスル所ニ御座候方今時勢ノ推移ニ伴ヒ生活上ニ於テモ能フ限
リ繁縛ヲ去リテ簡易ニ就クノ須要ナルハ今更申ス迄モ無之旁々之ガ趣旨ヲ徹底セシムル爲メ今後斷ジテ右
遣取贈答ヲ爲ササルハ勿論萬一之ヲ爲ス者アリタル場合ニハ書狀ニ就テハ答信ヲ廢シ贈品ニ就テハ之ヲ返

却スル等此際形式上ノ儀禮ハ徹底的ニ全廢御實行相成度右特ニ得貴意候也

追テ本文ノ次第ニ付本家ニ於テモ中元年末等ノ贈答ハ廢止セラレ候間御承知置可被下候

◎店員技術員等出張ノ際宴席ヲ設ケ歡待セザル件

(大正五年七月十四日附一般宛重役通知)

近來店員技術員等ノ貴地工場等視察又ハ所用アリテ出張ノ際宴席ヲ設ケテ歡待セラル、コト往々有之候趣
承及候同僚等ニ對スル情誼ハサル事ナガラ斯クテハ個人トシテ失費多キノミナラズ商店工場トシテハ時間
ヲ徒費シ從テ事業ニ影響ヲ及ボスコト尠カラザルベク且風紀ヲ亂ルノ基ト相成誠ニ有害無益ノ事ト存候間
今後店員ハ勿論他ノ參觀人有之候場合モ止ムヲ得ザル者ノ外ハ開宴歡待ハ絕對ニ禁止相成候様致度此段得
貴意候也

◎店員等地方出張ノ際多人數送迎ヲ爲サザル件

(大正五年七月十四日附一般宛重役通知)

從來我商店員等ノ貴地方出張ノ際多人數御送迎相成候趣相聞ニ申候長上ニ對スル禮儀上御尤ノ儀トハ存候

へ共之ガ爲メ貴重ノ時間ヲ徒費スル次第ニモ有之且被送迎者ニ於テモ却テ迷惑ヲ感ズルコトニ付今後ハ然様ノ儀御全廢相成候様致度此段申入候也

◎店用紙葉書及郵便切手等ヲ私用セザル件

(明治四十三年十二月二十三日附一般宛重役通知)

店用ノ用紙葉書及郵便切手等ヲ私用ニ供シ候コトハ素ヨリ嚴禁有之候處追々公私ノ區別ナク使用致候向有之不都合ノ至ニ候間今後一切是ノ如キ事無之様特ニ御注意有之度此段申進候也

◎擅ニ他會社ニ關係スベカラザル件

(大正八年七月十七日附一般宛重役通知)

職員ニシテ店命ニ依リ分身會社、關係會社等ノ株主又ハ役員ト爲ル場合ノ外隨意ニ他會社ノ社員、役員、顧問、相談役、使用人等ト爲リ又ハ新會社ノ設立ヲ計畫シ、其ノ發起人ト爲リ、若クハ其ノ設立ニ便宜ヲ與フルガ如キコトハ店風上從來之ヲ容認セザルコト、相成居候次第ニ御座候就テハ現在ト將來トニ論ナク己ムヲ得ザル理由ニ依リ右様ノ計畫ヲ爲シ又ハ考慮ヲ有セラル、向ニ在リテハ其ノ事由書面ニ御認ノ上支配人迄御差出相成必ズ幹部ノ指圖ヲ待タレ候様致度爲念此段得貴意候也

追テ單ニ私産運用利殖ノ目的ヲ以テ他會社ノ株式又ハ社債ヲ引受又ハ讓受ケラル、ハ差支無之儀ト御承知被下度候

◎擅ニ他會社ノ株式ヲ取得スベカラザル件

(大正八年七月十九日附一般宛重役通知)

七月十七日附會社關係ニ關スル出狀追書私産運用ノ件ハ本社ノ好ム所ニ無之候へ共個人ノ權利ヲ尊重スル爲ニ書キ加ヘタルニ過ギズ候處私産運用ノ爲株式ノ取得社債ノ引受等頻繁ニ行ハレ候事ハ自然店內ノ惡風ヲ馴致スル原因ト相成候ニ付各自所有セラル、私産ノ儀ハ預金其ノ他ノ堅實ナル方法ヲ撰ミ成ルベク株式ノ取得、社債ノ引受等ヲ爲サル様御留意被下度此段特ニ得貴意置候也、

◎關係會社重役報酬金納入ノ件

(大正八年七月十七日附一般宛重役通知)

貴下其ノ他貴方職員ニシテ本社ノ出資ニ依リ關係會社ノ重役ニ名義ヲ列シ縱シ又重役タラズトモ關係會社ヨリ報酬ヲ受ケ居ラン候向ハ其ノ會社名、役名及所得金額ヲ御當人ヨリ直接本社支配人迄書面ニテ御申出相成候様御取計被下度尙又本年七月一日以後ニ於ケル右等報酬金ハ總テ一旦本社支配人經山本社經理部へ

御納金相成候様致度右御通知旁得貴意候也
追テ這般ノ事從來多少散漫ニ涉リ候嫌有之旁統一上斯様決定致候次第不惡御了承願上候

第四編 執務時間 休日 休暇

◎本社休日ニ關スル件

(大正四年五月定一般ノ通知)

本社ノ休日ヲ左ノ通トス

新年三日間

三大節

○日曜日及祝祭日事務繰合セ交代休養ヲ爲ス件 (株式會社鈴木商店)

(大正六年七月十七日附本店各部係宛支配人通知)

從前日曜日及祭日ニハ正午ヨリ退出ノコトニ相成居候處自今更ニ各部係ニ於テ事務御繰合ノ上半數ヅ、交代ニ全日休養相成十分英氣蓄養ノ上一層ノ御活動ヲ願フコトト致度候間左様御了知被下度得貴意候也
追テ出勤ノ方モ正午ヨリ御退出ノ儀ハ從來ノ通ト御承知被下度候

◎職員勤務調ニ關スル件

(大正十年五月十四日附一般宛通知)

職員勤務調ノ儀各所往々區々ニ流レ遺憾ニ存候處今回左記ニ依リ取扱フコトニ決定致候間御了承本月分ヨリ右ニ據リ御實行ノ上御報告被下度此段御通知申上候也

- 一 出勤シタル日ハ休日ナルト否トニ拘ラズ總テ出勤日數ニ算入ス
- 二 店務ヲ帶ビ出張シタル日ハ出張日數ニ算入ス但シ出張中自己ノ都合ニ依リ滞在又ハ他ヘ旅行シタルトキハ其ノ日數ハ出張日數ヨリ控除シ其ノ事由ニ該當スル缺勤トシテ取扱フ
- 三 臨時又ハ定期ニ全員ヲ休業セシメタル日、日曜日又ハ祝祭日(事務ニ差支ナキニ由リ休ミタル場合)ハ公休日數ニ算入ス
- 四 官廳ノ召喚ニ應ジ出勤スルコトヲ得ザリシ日、簡閱點呼、徵兵検査、陸海軍召集令ニ依ル召集、交通遮斷若ハ隔離及其ノ他不可抗力ノ爲出勤スルコトヲ得ザリシ日ハ公休扱トシテ公休日數ニ算入ス
前項ノ事故ニ因リ往復ノ爲前後缺勤ヲ要スル場合ハ其ノ普通旅行日數(普通旅行日數トハ順路ニ依リ滞在ヲ含マザル往復日數ヲ謂フ例ヘバ東京神戸間往復三日、神戸廣島間往復一日等ノ如シ以下同シ)ニ限リ公休扱トシテ前項ノ公休日數ニ加算ス
- 五 慰勞休暇ヲ得テ休ミタル日數ハ慰勞休暇日數ニ算入ス
- 六 忌引ニ因ル左ノ日數ノ缺勤ハ之ヲ忌引日數ニ算入シ喪ニ丁リ歸郷スル場合ハ其ノ往復ニ要スル普通旅行日數ニ限リ忌引日數トシテ加算ス但シ郷里ガ普通日歸路程以内ニ在ル場合ハ加算セズ
父母、配偶者、子 五日以内
祖父母、實兄弟姉妹 三日以内

231

祖父母、父母及子ニ付テハ養實ヲ問ハズト雖モ外戚ハ忌引ノ限ニ在ラズ、葬儀ヲ主宰スル者ニ付テハ事情ニ依リ前項ノ忌引以外ニ二日以内ヲ忌引日數トシテ算入スルコトヲ得

- 七 病氣ニ因ル缺勤ハ病氣缺勤日數ニ算入シ前各項以外ノ私事ノ故障ニ因ル缺勤ハ事故缺勤日數ニ算入ス但シ此ノ缺勤ニ連續又ハ介在セル第三項ノ休日ハ病氣缺勤又ハ事故缺勤日數ニ算入セザルモノトス
- 八 公休日數、慰勞休暇日數及忌引日數ハ缺勤ト看做サズ
- 九 遅刻及早退ハ左記ニ依リ取扱フモノトス但シ本社ニ報告スルヲ要セズ

遅刻ハ出勤時刻ニ遅レテ出勤シタルモノ

本社ニ於テハ昨年來出勤時刻ヲ規定時間ヨリ三十分猶豫シ左ノ時刻ヲ過ギ出勤シタルモノヲ遅刻トス

四月一日ヨリ十月末日迄

午前八時半

十一月一日ヨリ翌年三月末日迄

午前九時

早退ハ退出時刻前ニ退出シタルモノ

本社ニ於テハ午後六時以後退出尤モ五時半以後主任者ノ許可ヲ得テ退出スル場合ハ特ニ早退トセズ(大暑中即七月下旬ヨリ九月上旬迄ハ出勤ヲ午前八時ニ繰上ゲ事務ニ差支ナキ限リ午後五時以後退出)

一〇 勤務簿及勤務報告ニハ左ノ略語ヲ用フ

出勤日數	勤務簿	出勤	勤務報告
出張日數	(白欄又ハ斜線)	出勤	出張
公休日數	休	公休	休

慰勞休暇日數	慰
忌引日數	忌
病氣缺勤日數	病
事故缺勤日數	事
遲刻	チ
早退	ハ

慰勞(又ハ)「休暇」	慰
忌引	忌
病缺	病
事故	事

◎職員慰勞休暇規程

(大正十一年七月二十二日附一般各所主任宛通知昭和二年一月一日一部改正)

第一條 慰勞休暇ハ成績優良ナル精勤者又ハ外國在勤多年ニ亘リ勤勞特ニ多キ者ニ對シ本社ニ在リテハ支配人各所ニ在リテハ當該所長ニ於テ業務ニ差支ナキ場合ヲ見計ヒ本規程ニ依リ之ヲ與フルコトヲ得但シ入社ノ年ニハ慰勞休暇ヲ與ヘザルモノトス

外國在勤者ノ休暇歸朝又ハ臺灣在勤者ノ休暇歸内ニ付テハ豫メ本社ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第二條 慰勞休暇ノ日數ハ左ノ區別ニ從フモノトス

- 一 本邦内地各所北海道及朝鮮在勤者 毎年一週間以内
- 二 東洋方面(新嘉坡、盤谷、西貢地方ヲ除ク)及臺灣在勤者
- イ 本邦ヨリ派遣シタル職員ニシテ着任後滿三年ヲ經タル者ニ休暇歸朝又ハ歸内ヲ許可スル場合

(在勤中休暇又ハ私用ヲ以テ歸朝又ハ歸内シ或ハ店務旅行ノ途次自己ノ便宜ヲ以テ本邦内地ヲ旅行シ又ハ滞在セシ者ニ付テハ其ノ歸任ノ日ヨリ年數ヲ起算ス以下同ジ) 内地滞在三週間以内

ロ 勤務地方ニ於テ休暇ヲ與フル場合 毎年一週間以内

三 印度、南洋、新嘉坡、蘭貢、盤谷、西貢又ハ之ニ準スベキ地方在勤者

イ 本邦ヨリ派遣シタル職員ニシテ着任後滿三年ヲ經タル者ニ休暇歸朝ヲ許可スル場合 内地滞在二箇月以内

前項ノ職員ニシテ引續キ在勤滿五年ヲ經タル者ニ付テハ特ニ内地滞在ヲ三箇月以内ト爲スコトヲ得

ロ 勤務地方ニ於テ休暇ヲ與フル場合 毎年三週間以内

四 歐米濠洲地方在勤者ニ付テハ本社ノ承認ヲ經テ別段ノ取扱ヲ爲スモノトス

第三條 慰勞休暇日數ハ總テ其ノ年ニテ打切り翌年以後ニ繰越サハルモノトス但シ第二條第二號及第三號ノ在勤年數ニ付テハ同條各地間ノ在勤年數ヲ通算スルモノトス

第四條 第二條第二號及第三號ニ據リ慰勞休暇ヲ得歸朝又ハ歸内スル場合ハ内地滞在中ヲ除キ旅費規程ニ依リ在勤地ヨリ本邦着港間ノ往復普通旅費ヲ支給ス尙許可ヲ得テ家族(父母妻子)ヲ同伴スル場合ハ家族一人ニ付本人ニ對スル額ノ三分ノ二、十二歳未滿ノ者ニハ三分ノ一ヲ支給ス

前項歸朝又ハ歸内スル場合ノ往復行程ニ要スル日數ハ休暇トシテ取扱フモノトス本往復行程トハ在勤地ト本邦着港迄ノ順路往復行程ヲ指ス

第五條 慰勞休暇ヲ得テ本邦ニ歸來セル者ハ店務ニ從事スル必要ヲ生ジタル場合ト雖モ本社ノ承認ヲ經ルニアラザレバ所定日數ヲ超エ滞在スルコトヲ得ズ

第五編 業 務

◎資本節約方ノ件

(大正七年十二月十九日附一般各所宛重役通知)

當店ノ我國財界ニ於ケル地位ハ近來漸次向上シ來レル事御承知ノ通ニ有之假リニ當店現在ノ資力ノ二倍ヲ擁セルモノガ一朝當店ト角逐セントスル場合ヲ想像スルニ三五年ノ歲月ヲ以テシテハ到底當店ノ壘ヲ摩スルノ地位ニ達シ難カルベク試ニ當店本年中ノ收益高ヲ算スルモ日本郵船ヲ筆頭トシ某々ヲ二三位トセル我國ニ於テ決シテ第五位ニハ下ラザルベシト信ジ候斯ノ如キハ洵ニ御同慶ニ堪ヘザル所ニ候ヘ共茲ニ考慮ヲ要スルハ各所ヲ通ジ資本ノ固定凝滯稍多キニ過グルノ状態ニ在ルノ事實ニ有之候申ス迄モナク戰時中ハ隨テ買ヘバ隨ツテ利スルヲ得タルニ付首尾一齊ニ買方針ヲ持シ所謂買上手ノ賣下手ヲ以テ終始シ來レルノミナラズ幹部トシテモ工場ノ創設鑛山ノ開掘等ヲ畫策シ之ニ放下シタル資本亦尠カラズ自然今日ノ情勢ヲ馴致セルモノニ外ナラズ候ヘ共當店ガ今後ノ經濟界ニ處スルノ道トシテハ須ラク此ノ際方針ヲ一變シ賣上手ノ買下手タラザルベカラズト存候就テハ各支店ニ在リテハ主任以下商賣ノ衝ニ當ル各位ニ於テ深ク御注意ノ上手持商品ノ數量ヲ極力減少スルノ方針ニ出デラル、ハ勿論包装材料ノ微ニ至ル迄苟モ資本ノ運轉回收ヲ鈍カラシムル原因ト爲ルモノハ銳意之ヲ排除スルニ努メラレ度又各工場方面ニ在リテモ同様ノ趣旨ニ依リ經營上資本ノ死藏ヲ防グ上ニ於テ遠算ナキヲ期セラレ度候小生最近熟慮考究之ヲ久シウシタル結果戰後ノ商戰場裡ニ引續キ優勝者タランガ爲ニハ唯此一策アルノミナルコトヲ痛切ニ感得致候次第宜敷御洞察ノ上各所協力一致此ノ方針ノ下ニ活動被成下度候尤モ各位ノ中ニハ夙ニ此ノ邊ニ御留意相成却テ本店ヲ警醒セラル、向モ尠カラズ感謝スル所ニ有之候御承知ノ通歐米中央市場ニ於ケル大商人ハ資本ヲ單ニ信用ノ象

徴トシテ積ミ置クニ止マリ商賣ノ上ニハ僅ニ電信料ヲ除ケバ全ク資本ヲ使用スルコトナクシテ營業ヲ爲シツ、アリ斯ノ如キ商賣振リハ私カニ羨望ニ堪ヘザル所東洋ニ於テハ必ズシモ直ニ之ニ倣フヲ得ズト雖モ小生等ノ理想ハ即チ當店ヲシテ此ノ域ニ達セシムルニ在リ戰雲ノ戰マリタル最初ノ年末ニ際シ過去ヲ顧ミ將來ヲ思ヒ感慨淺カラザルモノアリ乃チ右特ニ各位ノ賢慮ニ訴フル次第ニ御座候

◎財界不況時ニ於ケル商業上注意ノ件

(大正九年六月十七日附一般各所宛重役通知)

各地財界頗ル險惡隨所ニ一流商店ノ事實上ノ支拂停止ヲ見ルニ至リ其ノ勢停止スル所ヲ知ラズ當分回復ノ見込ナキ有様ニ御座候老生ハ此際各位ニ對シ我鈴木商店ノ爲メ益々御奮勵ヲ祈ルト共ニ聊カ所感ト希望トヲ陳述可致候

- 一 一言ニシテ之ヲ覆ヘバ各自ノ腦裏ニ戰爭並ニ附隨シテ生ジタル諸種ノ變態的事象ハ終滅セリト云フ事實ヲ今一層明確ニ印スル必要アリ即チ各自ノ考ヲ根本的ニ一變セシムル必要痛切ニ有之候勿論誰シモ右ノ事實ヲ知悉シ居ルコトニ候ヘ共不知不識慢性的ニ戰時中ニ在リシ事實ガ今尙繰返サル、コトヲ夢想スル傾未ダ全ク離脱致サズ其ノ結果不測ノ損害ヲ蒙ルコト往々有之候
- 一 戰時中ハ商人ヨリモ迷惑屋ガ儲ケタリ然レドモ今後ハ再ビ眞ノ商人ニ還元セザルベカラズ即チ相場ノ浪デ儲ケルヨリモ確實ナル好得意先ヲ詮議シ自己ノ腕ト努力ト勉強トヲ以テ儲ケル様心掛ケ候コト必要ニ御座候鈴木商店ガ世界各地ニ有スル今日ノ組織ト機關トヲ以テセバ思惑ヲ廢シ註文ノアリシ後

始メテ行動シテモ決シテ人ヨリ後ル、コト無之候

即チ投機的因習ヲ排シ眞ノコンミツシオン、マーチヤントニ復歸スルニ在リト存候

- 一 今後ハ戰時中ヨリモ一層注意周到ナルヲ要スベク候即チ總テノ商賣ガ至ツテ切詰メタル取引ニ相成リ些少ノ行違ニテモ儲ケヲ吐キ出シテ尙不足ヲ生ズル様ノコトニ可相成候
- 一 今後ハ薄利多賣主義ニ復歸スルコト必要ト存候戰時中ニ在リテハ莫大ナル利益アル迄手持シタル方少シヅ、ノ口錢ニテ手離シテ薄利多賣ノ方針ニ出デタルヨリ利益多カリシモ今後ハ此ノ方法ニテハ商機ヲ逸シ市場ノ接觸ヲ失ヒ而シテ競争者ニ傘ヲサシカケテヤリ自分ハ雨ニ濡ル、コトニ相成ルベク候
- 一 今後ノ相場ノ足取ハ恰モ戰時中ノ相場野線表ヲ逆ニ見タル有様ナルベク想像セラレ候即チ戰時中ハ寸退アリシモ尺進シ相場下ル期間ヨリモ上ル期間ノ方長ク且急激ナリシモ今後ハ丁度其ノ逆ト可申些少相場ノ戻リアルトモ決シテ油斷出來不申候
- 一 國際貿易ト云フコト誠ニ結構ニ候ヘ共此ハ總テ本店ヲ經由スルコトニ致度支店間ニ於ケル取引ハ特ニ本店ノ許可ヲ得タル場合ノ外禁止サレ度戰時中日本ノ某大會社ガ支店間又ハ支店限リニテ爲シタルガニニ、鐵、油、生糸、棉花等總テ大ナル失敗ニ終リ同社戰時中ノ儲ノ全部ヲ以テシテモ尙不足ナル由此ハ全ク個々分立致シ候テハ其考ガ地方的ト相成リ且其ノ商品特別ノ事情ニ囚ハレ之ヲ左右スル他ノ經濟的事象ヲ看過シ又ハ支店限ニテ爲シタル事ハ結果不成績トナリタル際之ヲ本店ニ打明ケテ其ノ助力ヲ仰グコトヲ爲サズ臭キ物ニ蓋ヲ爲シ自分限リニテ回復セント焦慮シツ、益々深ミニ陥ルコトト相成ルニ基因スルモノト存候

以上總テ更メテ申述候必要モナキ事ニ候ヘ共爲念御部下諸氏へ御申聞ケ被下度候也

○各所取引先信用調査ニ關スル件 (株式會社鈴木商店)

(大正十五年四月廿九日附各所主任宛重役通知)

目下營業規定制定中ニ有之候處御承知ノ通り口鏡商賣ニ對シテ最肝要ナルハ賣先、買先ノ信用調査ニ御座候、各般ノ商賣ニ對シテ折角安値ニ買入レ之ヲ高値ニ轉賣シ居ルニ拘ラズ先方ノ信用薄弱ナル爲メ取引引出來ザルトキハ折角ノ利益ヲ吐出シ尙買先ヨリハ反對ニ損害賠償ヲ要求サル、ト云フ事起リ可申、又賣先ノ破産ニ因リ約手ノ不渡リトナリ一年間ノ口鏡ヲ全部一取引先ノ破産不渡手形ニヨリテ失フト云フ事モ往々有之候、殊ニ戰時中ノ大暴騰ヨリ急轉直下シタル大暴落ニ因リ各地商人大抵大痛手ヲ負ヒ其ノ後引續ク大不景氣ニ因リ折角戰時中儲ケタルモノヲ大部分吐出シタル者ハ世界到ル處ニ可有之大震災ニ因リ愈々殘リ全部ヲ失フト云フ商人モ東京横濱ニハ多數可有之ト存候

此ノ際各支店出張所ニ於テ左ノ件至急本店へ御通知被下度本店ニ於テ承認ヲ與ヘタル範圍限度ノ取引ノミ許可スルコトニ可致候

買先、賣先ノ各品別ニヨル

名 前

信用限度

取引ヲ許スベキ範圍

約手ヲ取ル商賣ニ對シテノ取引金高限度

現金取引ニ對シテノ取引金高限度

在來ノ店トノ關係、歴史

現金取引ニテモ市價暴落暴騰ノトキハ賣先、買先ニ於テ值合金ノ支拂不能ニ陥ル場合起リ可申現金取引ナ

リトテ決シテ油斷ハ相成リ不申候又内地ニテハ約手ヲ取レバ現金ヲ受取り支拂決済終了シタル様思惟スル人モ往々有之哉ニ候モ賣先ノ信用ガ第一流ノ紡績手形等ナラバイザ知ラズ普通商人ノ手形ハ満期迄ハ決シテ油斷ナリ不申、此ニ於テ賣先ノ信用ニヨリ約手ヲ取ル商賣ニ制限ヲ置クノ必要切ナルモノ有之候、殊ニ昨今ノ如ク内地商人ノ信用甚ダ薄弱ナルニ於テハ一層此ノ感ヲ深ク致候間別紙ノ表ニ御記入品名ニヨリ各課各係ノ分取纏メ至急御報告被下度候、尤モ新規取引ニ對シテ至急ヲ要スルモノニシテ豫メ本店ノ承認ヲ得ル暇ナキトキハ其ノ支店限リニ於テ慎重ニ協議ノ上信用限度ヲ定メ取引ノ上滯滞ナク本店ニ對シ事後承諾ヲ得ルコトニ被成下度候也

追テ取引先ノ信用状態ハ一定不變ノモノニ非ザル故時々其ノ状態ヲ内査シ其ノ都度本店へ御報告被下度從テ一度規定セル取引限度モ其ノ信用状態ノ變化ニヨリ時々變更増減スベキモノト御承知置被下度候

品 名	買先又ハ賣先	信用程度	取引限度	在來ノ歴史	備 考

取引限度ハ現金拂カ手形拂カチ明記スルコト

第六編 職員

第一章 採用 身分 賞罰

◎分身會社所屬職員ニ關スル件

(大正十四年九月十八日附分身會社董役總務部通知昭和二年一月一日一部改正)

第一條 分身會社ニ於テ使用スル職員ハ定員ヲ超過スルコトヲ得ズ

定員ノ増加ヲ要スルトキハ其ノ理由ヲ具シ鈴木合名會社(以下單ニ本社ト稱ス)ノ承認ヲ受クルモノトス

第二條 分身會社ニ於ケル役員及店員ハ當該會社ノ職員タルト共ニ本社ノ職員タル身分ヲ保有シ所屬會社
諸規程ノ及バザル範圍ニ對シ特別ノ定メアルモノ、外本社諸規程ノ適用ヲ受クルモノトス但シ常任ニア
ラザル役員ニ付テハ此ノ限リニ在ラズ

第三條 分身會社ニ於ケル前條以外ノ職員ノ身分ハ其ノ所屬各社ニ專屬スルモノトス

第四條 分身會社ニ於ケル職員ノ階級ハ本社所定ノ階級別ニ依ルモノトス但シ必要アルトキハ本社ニ於ケ
ル資格ヲ基調トシ本社ノ承認ヲ經テ別ニ其ノ業態ニ應ジ適宜之ヲ定ムルコトヲ得

第五條 分身會社ニ於テ職員ノ補充又ハ増員ヲ要スルトキハ店員准店員ニ在リテハ本社ヨリ其ノ配屬ヲ受
ケ雇員ニ在リテハ左記要項ヲ具シ本社ノ承認ヲ經テ之ヲ採用スルモノトス但シ月俸五十圓未滿ノ雇員ニ
在リテハ便宜採用ノ上報告スルコトヲ得

一 履歴書(所定ノ用紙ヲ用フルコト)

二 紹介者及身元引受人タルべき者

三 職 掌

四 俸給豫定額

五 身元調査書(學業成績表)類

六 健康診斷書

七 戶籍謄本

八 寫 真(最近ノモノ)

雇員候補者ノ人選及身元調査ハ之ヲ本社ニ依頼スルコトヲ得

雇員トシテ雇傭スル場合ト雖モ専門學校以上ノ新卒業者ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ本社ヨリ其ノ配屬ヲ受クルモノトス此ノ場合及店員准店員ノ新採用ヲ要スル場合ハ其ノ候補者ヲ推薦スルコトヲ得

第六條 店員ノ解職ニ付テハ其ノ事由並退職慰勞金ニ關スル意見ヲ具シ辭表アル場合ハ辭表ヲ添附シ本社ノ決裁ヲ受ケ准店員雇員ノ解職及慰勞金ニ付テハ本社ノ承認ヲ經ルモノトス職員死亡ノ場合ニ於ケル生前慰勞金及弔祭料ニ付テモ亦同ジ

店員ノ辭表ハ本社ト所屬會社トノ兩社宛ニ爲サシムルモノトス

第七條 職員ノ他社轉勤ニ付テハ關係兩社協議ノ上本社ノ承認ヲ經ルモノトス但シ時宜ニ依リ協議ノ上本社ヨリ轉勤ヲ命ズルコトアルベシ

前項ノ職員ガ准店員又ハ雇員ナル場合ニ於テハ其ノ身分ハ舊會社ヨリ離脱シ從來ノ勤績年數ハ新會社ニ於テ通算スルモノトス

第六條ニ依ル給與金ノ負擔方ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第八條 各社ニ於テ職員ヲ豫備員ト爲シ又ハ店員ニ昇格セシムル場合ハ本社ノ決裁ヲ要シ雇員ヲ准店員ニ

昇格ムルセシ場合ハ本社ノ承認ヲ經ルモノトス

第九條 職員ノ休職復職及社内ニ於ケル轉勤ニ付テハ事後直ニ其ノ事由ヲ具シ本社總務部ニ報告スルモノトス

第十條 各社ニ於ケル職員ノ待遇給與ニ關スル事項ハ本社ノ諸規程並慣例ニ準據シテ之ヲ定メ本社ノ承認ヲ經テ行フモノトス

第十一條 職員ノ進退賞罰及待遇給與ノ異動ニ關スル本人ヘノ通知ハ左記ニ依ルモノトス

一 店員ノ採用解職、准店員雇員ノ店員昇格ニ依ル本社店員籍登錄、店員ノ他社轉勤、豫備員決定及重大ナル賞罰ニ付テハ本社ノ名ニ於テ之ヲ行フ

二 職員ノ待遇給與、勤務指定、社内異動、休職(關係會社入社ヲ除ク)復職、准店員、雇員ノ採用解職、他社轉勤並昇格及前號以外ノ事項ニ付テハ所屬會社ノ名ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 豫備員及關係會社入社ニ依ル休職者ノ身分ハ本社ニ移屬スルモノトス

第十三條 各社ニ於ケル主トシテ精神的勞務ニ屬スル事務ハ職員ヲ以テ當ラシメ尙業務各部ノ主要事務ハ特ニ店員ヲシテ掌理セシムルモノトス

備人(各社限り任意ニ採用シタル使用人)ヲ以テ前項ノ事務ヲ執ラシムルコトヲ得ズ但シタイピスト電話交換手守衛ノ類ハ備人ヲ以テ充用スルコトヲ得

在外各所ニ於テ使用スル外國人ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十四條 各社ハ毎月職員ノ勤怠及備人數ヲ所定ノ様式ニ依リ本社總務部ニ報告スルモノトス

◎分身會社所屬職員ノ進退及待遇ニ關スル通達ノ件

(大正十四年九月十八日附分身會社重役宛總務部通知)

今回「分身會社所屬職員ニ關スル件」ノ決定實施ニ伴ヒ現ニ職員ヲ以テ當ラシムベキ事務ニ備人ヲ充用シ居ラル、向ハ此ノ際所定ノ書類及要項ヲ具シ夫々本社ノ承認ヲ經ラル、コト、致度右得貴意候也
追テ各社ノ名ヲ以テスル本人ヘノ通達ハ本社ヨリスルモノト餘リ異リタル形式ヲ用フルハ面白カラザル様被存候ニ付各社ニ於テモ成ルベク本社從來ノ慣例ニ依リ各社人事々務管掌ノ部係名ヲ以テ左記例文ノ様式ヲ取ラン度候御入用ノ向ニハ用箋御送付可申候

- 一 採用ノ場合
貴下准店員(雇員)ニ採用本社何部勤務ニ決定ニ付御通知申上候
備考 配屬ノ店員ニ對シテハ採用ノ辭令ヲ用ヒズ單ニ次項ノ勤務指定ノ辭令ヲ用フルコト准店員雇員ニシテ本社或ハ他分身會社ヨリ轉勤シタル者ニ付テモ同様ナルコト
- 二 昇格ノ場合
貴下店員(准雇員)ニ昇格決定ニ付御通知申上候
- 三 勤務指定ノ場合
貴下本社何部勤務ニ決定ニ付御通知申上候
- 四 轉勤ノ場合
貴下何支店ヘ轉勤ニ決定ニ付御通知申上候
備考 他分身會社ヘ轉勤ノ場合モ本文ノ辭令ヲ用フルコト
- 五 月俸決定ノ場合

- 六 家族手當支給ノ場合
貴下月俸何圓ニ決定ニ付御通知申上候
備考 本社ヨリ配屬ヲ受ケタル者又ハ他分身會社ヨリ轉勤シタル者ニテ月俸額ニ異動ナキ場合ハ轉入ノ際本辭令ハ別ニ發セザルコト
- 七 家族手當支給ノ場合
貴下本月ヨリ家族手當何圓給與セラレ候ニ付御通知申上候
- 八 休職及復職ノ場合
貴下店務ノ都合ニ依リ何年何月末日迄休職(病氣休職、何年何月末日迄)ニ決定ニ付御通知申上候
- 九 復職本社何部勤務ニ決定ニ付御通知申上候
備考 貴下復職本社何部勤務ニ決定ニ付御通知申上候
備考 貴下依願解雇ニ決定ニ付御通知申上候
備考 退職給與金ノ場合
貴下今回御退職ニ付御在勤中ノ勤勞ヲ謝スル爲メ金何圓贈呈致候也
備考 本事項ニ付テハ在勤各社ノ名ヲ用フルコト店員ニ付テハ本社ノ名ヲ用フ

◎採用者ニ對スル誓約書並身元引請證ニ關スル件

(大正八年三月十二日附一般各所主任宛人事通知第三四三號)

新ニ採用セラレタル職員ニ付テハ從前身元引請人ヨリ引請證ヲ差出サシムルノミナリシガ自今本人ヨリモ誓約書ヲ差出サシムルコト、ナリ尙身元引請證ノ文言ニモ改正ヲ加フルコト、ナレリ各分身會社ニ於テ職員新採用ノ場合ハ右ニ依リ夫々徴取シ置カレタシ

誓 約 書 樣式

誓 約 書

私儀今般貴店ニ御採用被成下候ニ付テハ左ノ件々堅ク相守リ誠實ニ勤務可仕此段誓約候也

- 一 店規、店風及上役ノ御指圖ニ從ヒ可申候事
- 二 仕事ノ種類、勤務所ノ如何ニ付テハ苦情ガマシキコト申出間敷又貴店ノ御都合ニヨリ御關係ノ會社ヘ派遣セラレ候共異存無之候事
- 三 業務ノ爲メニ全力ヲ盡シ苟モ私利ヲ圖リ又ハ恣ニ他ノ業務ニ從事スル等ノ事ハ致ス間敷候事
- 四 貴店ノ業務ニ關スル秘密ハ在勤中ハ勿論退店後ト雖モ漏洩致ス間敷候事
- 五 質素儉約ヲ旨トシ可申候事
- 六 前記各項ニ違背シタルトキハ相當御處分相成候共異存無之尙故意重大ナル過失又ハ專斷ニ因リ貴店ヘ御損害相懸ケ候場合ハ辦償可致候事

年 月 日

住 本 籍 所

戸主又ハ戸主トノ續柄

御 中

(注意 未成年者ニ在リテハ法定代理人連署ノ事)

氏 名 圖

注意

引請人ハ身元確實ナル者ニ名トシ内一名ハ可成父兄親戚等一名ハ可成被服地方ノ居住者タルキコト
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃

引請人ハ身元確實ナル者ニ名トシ内一名ハ可成父兄親戚等一名ハ可成被服地方ノ居住者タルキコト
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃

引請書 樣式

右貴店へ御雇入被下候ニ付拙者ニ於テ身元引請保證致候處實正也然ル上ハ在勤中本人ノ任務地位變更ノ如何ニ拘ラズ本人ノ故意重大ナル過失又ハ專斷ニ因リ貴店ニ御損害相掛ケ候場合ハ總テ本人及拙者共ニ於テ連帶辦償致シ可申候後日ノ爲メ引請證如件

拙者本人精神病又ハ傷害ニ罹リ勤務出来難ク相成候節、直ニ拙者方へ引取可申候

年 月 日 生

引 請 證

參 錢 收 入 印 紙 此

族 本 籍 氏 名 圖 戸主又ハ戸主トノ續柄

年 月 日 生

引 請 人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍

引請人ハ身元確實ナル者ニ名トシ内一名ハ可成父兄親戚等一名ハ可成被服地方ノ居住者タルキコト
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍

引請人ハ身元確實ナル者ニ名トシ内一名ハ可成父兄親戚等一名ハ可成被服地方ノ居住者タルキコト
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍
 引請人 〃 〃 〃
 職業 現住所 本籍

◎引請人身上異動届出方ノ件

(大正六年十二月二十六日附一般宛通知)

各位ノ身元引請人ニシテ其ノ本籍、現住所及身上ニ變動ヲ生シ候場合ハ所屬所ヲ經テ本社ヘ其ノ旨速ニ御届出稍成度此段得貴意候也

○クロード式窒素工業株式會社及同分會社所屬職員ニ對スル特別誓約書ノ件

(大正十二年八月十四日定)

クロード式窒素工業株式會社及同分會社所屬職員ハ別ニ左ノ誓約書ヲ差出サシム

甲 號 (技術員)

誓 約 書

拙者儀今般クロード式窒素工業株式會社(同分會社ノ場合ハ同會社名以下同ジ)(以下クロード會社ト稱ス)ニ勤務スルコト、相成候ニ付テハ將來クロード會社ト利害休戚ヲ共ニスルノ意思ヲ以テ専心業務ニ從事致スベキハ勿論特ニ左ノ事項ヲ誓約仕候

- 一 在職中ハ勿論今後貳拾五箇年間ハクロード會社製品ノ製造方法諸設備機械器具ノ構造裝置其ノ他一切ノ技術ニ關シ絶對秘密ヲ嚴守シ何人ニモ洩シテ漏洩致サルベキ事
 - 二 在職中ハ常ニ製品ノ製造方法諸設備機械器具ノ構造裝置及其ノ他技術ノ改良ニ留意シ之ガ研究ヲ怠ラザルベキ事
 - 三 クロード會社ノ業務範圍ニ屬スル發明ヲ爲シ特許ヲ得タルトキハ必ズクロード會社ニ讓渡致スベキ事但シ在職中ノ發明ニ就キテハ會社ノ名ヲ以テ出願セラレ異存無之事
 - 四 第一項ノ期間中ハ直接ト間接トヲ問ハズ同種又ハ類似ノ事業ニ從事致サルベキ事
 - 五 萬一本誓約ノ趣旨ニ背キ又ハ漫ニ職務上ノ義務ヲ怠リタルトキハ如何ナル御處分ヲ受クルモ異存無之事
- 右誓約仕候也

年 月 日

本 人 氏 名 印

鈴木合名會社代表社員
クロード式窒素工業株式會社々長

殿 殿

乙 號 (事務員)

誓 約 書

拙者儀今般クロード式窒素工業株式會社ニ勤務スルコト、相成候ニ付テハ將來クロード會社ト利害休戚ヲ共ニスルノ意思ヲ以テ専心業務ニ從事致スベク尙特ニ左ノ事項ヲ誓約仕候

一 在職中ハ勿論退社後ト雖モ會社ノ業務及技術ニ關スル秘密ヲ嚴守シ何人ニモ決シテ漏洩致ササルベキ事

二 在職中ト退社後トニ論ナク及直接ト間接トヲ問ハズ同種又ハ類似ノ事業ニ從事致サルベキ事

三 萬一本誓約ノ趣旨ニ背キ又ハ漫ニ職務上ノ義務ヲ怠リタルトキハ如何ナル御處分ヲ受クルモ異存無之事

右誓約仕候也

年 月 日

本人 氏 名 印

鈴木合名會社代表社員
クロード式窒素工業株式會社々長

殿 殿

◎各所傭人ノ件

(大正十二年五月十五日附一般各所主任宛通知)

各所傭人ニ付テハ豫テ御通知ノ通り定員ノ範圍内ニテ各所限リ進退セラレ差支無キコト、相成居候處近來一般職員ノ漸減ニ反シ場所ニヨリテハ稍々其ノ數ヲ増加セル傾アリ此ハ近時漸増ノ事務ガ下級者ニ於テヨリ多クノ手不足ヲ生ジタルニ因ル義ト存候モ此等ノ中ニハ將來結局職員トシテ入籍セシメザルベカラザル者モ可有之ニ付人員ノ節約利用ニ付テハ此ノ上共十分御留意相成今後ハ必要已ムベカラザル場合ノ外増員ヲ爲ササル様御配慮被下度候尙六月ヨリ傭人ノ月末人員數ヲ女給仕男給仕現場補助雜役等其ノ使途ニ依リ適宜大別シ職員勤務報告ノ末尾ニ記載報告方御取計相煩度候

追テ雇員ト傭人ノ區別ニ付テハ從來時々申上置候コトニ候ヘ共尙其ノ徹底ヲ缺キ往々傭人ヲシテ店員雇員ニ伍シ任務ニ當ラシメ居ル向アリ斯ノ如キハ職員統制上甚ダ好マシカラザルノミナラズ本社本來ノ趣旨ニモ反スル義ニ付將來職員ヲ以テスルヲ適當トスベキ事務ヲ執ラシムル爲メ各所限ノ傭人採用ノ義ハ絶對ニ御見合セ相成必ズ所定ノ手續ニ依リ本社ノ承認ヲ經ラレ候様致度爲念申添候

雇員ト傭人ノ區別

一 雇員ハ主トシテ精神的勞務ニ從事スル者

守衛交換手タイピスト現場受渡係等ノ類ハ雇員タルベキコト但シ業體又ハ其ノ地方ノ事情ニ依リ傭人トシテ使用スルヲ適當ト爲ス場合ハ承認ヲ經テ傭人トシテ使用スルコトヲ得

一 傭人ハ主トシテ肉體的勞務ニ從事スル者

在外各所ニ於テハ外國人ハ主要ナル事務ニ當ラシムル者ノ外之ヲ傭人トシテ使用スルコトヲ得

◎見習員制度廢止及准店員ノ階級新設ノ件

(大正十五年五月十日附一般各所主任宛總務部通知)

當店ノ見習員制度ハ御承知ノ如ク年少職員ニ對シ特別ナル監護ヲ加ヘ訓練ヲ施シテ其ノ向上發達ヲ圖ルノ趣旨ニ出デタルモノニ候處近時新採用ノ見習員ハ其ノ程度ヲ普通商業出身者ニ限定シ又舊來ノ小學出身者モ既ニ相當ノ年齢ニ達シ殆ド店員ニ昇格シタルヲ以テ今日ニ於テハ從前ノ如キ指導訓育施設ハ必ズシモ之ヲ要セザル状態ト相成候ニ付此際本制度ヲ廢止シ現見習員中本年入店者以外ハ近ク店員又ハ新設ノ准店員ニ昇格セシメ各位ノ御善導ノ下ニ各人ノ自治節制ト一段ノ修養砥礪ニ依リ其ノ大成ヲ期セシメ度候間何卒此ノ上下モ宜敷御配慮相煩シ度候尙新設資格ノ准店員ハ之ヲ雇員ト店員ノ中間ニ置キ店員ニ至ル一階梯ト爲スト共ニ多年忠勤シタル雇員登用ノ門戸ヲラシムル趣旨ニテ大體左記各項ニ該當スル人々ヲ容ルル方針ニ有之候間併セテ御了承被下度此段得貴意候也

記

- 一 専門學校以上ノ新卒業者(入店當初約一年)
- 二 中等學校卒業者ニシテ入店後一年以上ヲ經成績優秀ナル者
- 三 一般雇員中多年忠勤シ相當重要ノ事務ニ當レル者

◎本社及分身會社職員行賞及懲戒ニ關スル規程

(大正十五年七月五日定)

第一條 職員ニシテ左記ニ該當スル者アルトキハ特ニ行賞ス

- 一 協同一致ノ努力ニ依リ特別ノ業績ヲ舉ゲタルモノ
- 二 利益ノ收得損害ノ防止ニ關シ功績アリタルモノ
- 三 業務上有益ナル發明發見又ハ工夫考案ヲ爲シタルモノ
- 四 事務ノ整理、經費ノ節減、綱紀ノ肅正等ニ貢獻シタルモノ
- 五 克ク幹部ノ命令ヲ守リ其ノ職責ヲ全ウシタルモノ
- 六 忠實恪勤努力衆ニ超エ他職員ノ模範タルモノ

第二條 職員ニシテ左記ニ該當スル者アルトキハ之ヲ懲戒シ尙會社ノ蒙リタル損害ハ情狀ニ依リ之ヲ賠償セシム

- 一 機密ヲ漏洩シ又ハ會社ノ名義信用ヲ利用シテ私利ヲ圖リ又ハ職務ヲ曠怠シタルモノ
 - 二 故意、重大ナル過失、專斷又ハ命令違反ニ因リ會社ニ損害ヲ蒙ラシメタルモノ
 - 三 妄リニ流言ヲ放チ又ハ陰ニ黨同伐異ヲ策スル等會社ノ風紀秩序ヲ紊亂セントスル行爲アリタルモノ
 - 四 職務ノ内外ヲ問ハズ會社ノ體面ニ係ル失行アリタルモノ
- 第三條 懲戒ハ左ノ四種トス

- 一 解雇
- 二 休職
- 三 減俸 六箇月以内月俸額ノ十分ノ三以下ヲ減ズ
- 四 譴責

第四條 重大ナル賞罰ハ分身會社職員ニ對シテモ鈴木合名會社ノ名ヲ以テ之ヲ行フモノトス

◎職員非職規程

(大正十二年六月二十日附一般各所主任宛通知同十五年六月一日一部改正)

大正十二年六月二十日附通知職員非職規程中別紙ノ通一部改正今六月一日ヨリ實施セラレ候間御了知相成度此段御通知申上候也

追テ第六條ノ休職期間ニ付テハ大體左記ニ依リ其ノ都度詮議決定ノ筈ニ有之爲念申添候

記

店 員 六箇月ヲ標準トシ勤務成績宜シカラザリシ者又ハ特別ノ事由アル者ハ適宜短縮ス

准店員雇員 勤續五箇年ヲ超エ勤務成績良好ナリシ者ハ四箇月乃至六箇月其ノ他ハ三箇月トス

職 員 非 職 規 程

第一條 職員職制、定員ノ變更若クハ業務ノ縮小ニ因リ剩員ト爲リタルトキ又ハ事務ノ都合ニ依リ必要ト認ムルトキハ一時之ヲ豫備員ニ移シ又ハ休職ト爲スコトアルベシ

第二條 豫備員ハ復務ニ至ル迄出勤ヲ要セズ居所ハ本人ノ自由トス

豫備員ノ給與ハ現職者ニ同ジ但シ在外給與ハ之ヲ支給セズ賞與ニ付テハ缺勤者ニ準ジ取扱フ

第三條 豫備員ハ自己ノ畫策ヲ建議スルコトヲ得

前項ノ建議ヲ採用シタルトキハ建議者ヲ復職セシメ其ノ事務ヲ擔當セシムルコトアルベシ

第四條 豫備員當分復務ノ見込ナキニ至リタルトキハ其ノ前途ニ關シ特ニ考慮スル所アルベシ

第五條 職員病傷ニ因ル缺勤引續キ六箇月以上ニ至リタルトキハ休職ト爲スモノトス但シ必要ト認ムルトキハ之ニ依ラザルコトアルベシ

第六條 第一條及第五條ニ因ル休職期間ハ三箇月以上六箇月以内トシ其ノ期間本俸ヲ支給ス

前項休職者其ノ休職期間内ニ復職ノ運ニ至ラザリシトキハ期間滿了ト共ニ自然退職ト爲ルモノトス但シ

第五條ニ因ル者ニ付テハ本人ノ希望ニ因リ引續キ無給休職者トシテ在籍セシム

第七條 職員現役兵又ハ志願兵トシテ入營入團シタルトキハ其ノ期間休職ト爲ルモノトス但シ輜重輪卒又ハ補助看護卒トシテ入營シタルトキハ特ニ現職ノ儘トス

前項ノ休職者ニハ本俸ノ四分ノ一ヲ支給ス

第八條 職員特殊ノ事由ニ因リ一時勤務ヲ離ル、コトヲ要スル場合ハ休職ト爲スコトアルベシ

第九條 店員關係會社ニ入社シタルトキハ休職ト爲ルモノトス但シ引續キ本社ニ常務ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 第八條及第九條ニ因ル休職者ハ無給トス

第十二條 第一條及第五條ノ休職者ノ身分ハ最終ノ勤務所々屬トシ其ノ他ノ休職者及豫備員ハ本社所屬トス

第十二條 豫備員又ハ休職者退職シタルトキハ普通退職者ノ例ニ依リ退職手當ヲ支給ス但シ休職者ノ休職

滿期ニ至ル未經過期間ニ對スル給與ニ付テハ詮議ノ上其ノ一部又ハ全部ヲ併給ス

◎非職者心得

(大正十四年九月改定)

- 一 豫備員及休職者ノ身分所屬ハ左ノ通トス
 - イ 關係會社入社ニ依ル休職者及豫備員ハ鈴木合名會社
 - ロ 前各項以外ノ休職者ハ休職ト爲リタル時ニ在籍シタル各社
- 二 兵役ニ服スル爲ノ休職者ニハ休職中本俸ノ四分ノ一ヲ支給ス一年志願兵ニシテ現役ヲ終ヘ引續キ勤務演習ニ應召スルトキハ現役ヲ終リタル時復職ト爲リ爾後現職ノ儘應召スルモノトス
- 三 關係會社入社、學校入學又ハ家事整理ノ爲メノ休職者ハ別ニ通知ナキ限り給與ナキモノトス
- 四 病傷及店務ノ都合ニ依ル休職者ニハ其ノ休職期間中本俸ヲ支給ス
前項ノ休職者ガ休職期間中ニ退職シタルトキハ休職滿期ニ至ル未經過期間ニ對スル給與ニ付テハ詮議ノ上其ノ一部又ハ全部ヲ退職手當ニ加算併給ス
- 五 豫備員及休職者ハ左ノ事項ヲ其ノ所屬所及鈴木合名會社總務部ヘ届出デラルベシ
 - イ 居所ノ異動
 - ロ 戶籍上ノ身分ノ異動、子ノ出生、家族死亡
 - ハ 病傷ニ因ル休職者ノ入退院轉地等ノ事項及其ノ病狀

- ニ 兵役ノ爲メノ休職者ノ退營進級役種及所屬部隊ノ異動(現役滿期後引續キ勤務演習ニ應召スル場合ハ其ノ旨)
- ホ 關係會社入社ノ爲メノ休職者ノ其ノ會社ニ於ケル部屬給與及異動
ヘ 學校入學ノ爲メノ休職者ノ學業成績(發表ノ都度)
- 六 病傷ニ因ル休職者ハ本人ノ希望ニ依リ期間滿了後モ引續キ無給休職者トシテ在籍セシメ得ベキニ付休職滿期ノ場合希望アラバ其ノ旨申出デラルベシ
- 七 店務ノ都合ニ因ル休職者他ニ就職セントスルトキハ其ノ所屬所ノ指圖ヲ受ケラルベシ
- 八 休職者ハ休職ノ事由止ミタルトキハ來店ニ先チ其ノ所屬所ノ指圖ヲ受ケラルベシ
- 九 休職者ニ對シテハ濟美會費ノ徴收ヲ一時停止スルト共ニ現職者同様ノ慶弔金贈與ヲ爲サルモノトス
但シ希望者ニ付テハ從來通其ノ取扱ヲ繼續ス

第二章 願 届

◎職員願届ニ關スル件

(大正六年十二月一日附一般宛通知)

一般職員ガ其ノ身上ニ關シテ承認ヲ受クベキ事項及届出ヲ爲スベキ事項ハ慣例上自ラ定マリ居リ候ヘ共入店後日淺キ職員ノ間ニハ往々等閑ニ附セラル、コトナキニアラザル様被存候ニ付今回願届ニ關スル件左記

ノ通規定セラレ候間周知方可然御取計相成度尙第一條、第二條、第四條ノ各末號ハ各所ニ於テ夫々事情ニ應ジ別ニ相當箇條ヲ設ケラル、必要アルベキヲ豫想シタルモノニ有之適宜御規定相成度又第二條第二號ノ要求承認區域ハ各所ニ於テ可然御取極メ相成度此段御通知申上候也

職員願届ニ關スル件

- 第一條 職員ハ左ノ場合ニ於テハ所屬所長ヲ經テ重役ノ承認ヲ受クベシ
 - 一 赴任又ハ轉勤ヲ命ゼラレタル者自己ノ都合ニ因リ指定ノ期日ニ出發シ難キトキ
 - 二 他ノ囑託ヲ受ケ勞務ニ就カントスルトキ
 - 三 公共團體其ノ他ノ名譽職ニ當選シ承諾セントスルトキ
 - 四 其ノ他特別ノ定アルトキ
- 第二條 職員ハ左ノ場合ニ於テハ所屬所長ノ承認ヲ受クベシ
 - 一 歸郷、轉地療養其ノ他私用ノ爲メ勤務地ヲ離レントスルトキ
 - 二 遠距離ノ地ニ居住セントスルトキ但シ其ノ區域ハ當該所長之ヲ定ム
 - 三 指定セラレタル社宅、合宿所以外ノ場所ニ居住セントスルトキ
 - 四 其ノ他特別ノ定アルトキ
- 第三條 職員結婚シタルトキハ所屬所長ヲ經テ左ノ事項ヲ重役ニ届出ヅベシ
 - 一 配偶者ノ名、年齢、生家本籍戸主及其ノ續柄
 - 二 舉式ノ年月日及場所
- 第四條 職員ハ左ノ事項ニ就テハ所屬所長ニ届出ヅベシ
 - 一 缺勤、遲參、早退
 - 二 赴任、轉勤及出張ノ場合ニ於ケル發着月日

- 三 住所、轉居
- 四 家族同棲、別居
- 五 徵兵検査ノ期日及其ノ結果、入營、退營、一年志願兵志願、勤務演習及簡閱點呼應召
- 六 戶籍上ノ身分ノ異動
- 七 子ノ出生
- 八 家族ノ死亡
- 九 其ノ他特定ノ事項
- 第五條 職員店務ノ爲メ事業所營業所々在地ニ出張シタルトキハ着發月日及宿所ヲ當該事務所ニ通知スベシ

◎職員出張ノ場合發着月日、宿所等ヲ最寄事務所へ通知方ノ件

(大正八年五月十二日人事通知第二六五號一般宛通知)

職員店務ノ爲メ事業所、營業所所在地ニ出張シタルトキ其ノ着發月日及宿所ヲ最寄事務所ニ通知方ニ付テハ職員願届ニ關スル件第五條ニ規定シアル儀ニ候處往々實行セラレザル向有之爲ニ滞在ノ事ヲ知ラバ必然爲シ得ベカリシ店務上ノ打合又ハ傳言等ヲ爲スノ機會ヲ逸スルガ如キ場合尠カラズ遺憾ニ被存候間向後ハ右特ニ御實行相成候様御部下各位へ無漏御傳達被下度爲念此段得貴意候也
追テ本社へ立寄ラレタル節ハ鈴木合名會社總務部又ハ鈴木商店庶務課或ハ人事課へ御通知相成様致度候

◎職員本店來訪ノ節氏名宿所等受付係へ通告方ノ件

(大正八年三月十五日人事係通知第二四三號一般宛鈴木商店本店庶務係通知)

從來各所ヨリ本店ニ來訪セラル、諸彥ニシテ本店受付係ニテ知悉致サル方々有之候爲メ電報書狀參リテモ配達方ヲ誤リ電話ノカ、リ候際モ何レニ通ジテ宜シキヤ不分明ニテ機宜ヲ失シ來訪者アルモ取次ダヲ得ザル等種々差支ヲ生ジ候場合尠カラズ遺憾ニ堪ヘズ候就テハ甚ダ御面倒ナガラ自今御來店ノ節當店受付係へ御姓名並御所屬所名、御宿所等御洩ラシノコトニ被成下候ハ、從來感ジ來リタル不便ヲ一掃致シ從ツテ宜シキニ處スルヲ得テ双方便利カト被存候意ノ在ル所御諒承必ズ實行方御部下へ無漏御通達相願候也

◎職員不正確氏名訂正ノ件

(大正六年十月十二日附一般宛通知)

職員中現ニ使用セル氏名ガ戸籍面ト同一ナラザルモノ往々有之候處右ハ甚ダ不都合ニ付右様ノ者ハ此ノ際戸籍ノ通改訂ノ上其ノ旨届出(戸籍謄本添附)候様御取計被下度右得貴意候也

第七編 職員待遇

第一章 俸給 手當

◎入店退店ノ月ノ俸給算定方ノ件

(大正七年三月二十九日人事通知第九二號)

- 一 月ノ中途ニ入店シタル職員ニ對スル其ノ月ノ月俸支給額ハ日割計算トス但シ前乗後除ノ方法(月俸額ニ支給日數ヲ掛ケ之ヲ其ノ月ノ現日數ニテ割ルコト)ヲ用ヒテ計算シ錢位下ヲ四捨五入シテ拾錢位ニ止ム
- 二 退店ノ月ノ月俸ハ總テ全額ヲ支給ス死亡ノ場合亦同ジ但シ懲戒ニ因ル退店ノ場合ハ退職ノ日迄支給ス

◎轉勤ノ場合ニ於ケル給與負擔方ノ件

(大正九年一月二十日附人事通知第三四二號)

職員轉勤ノ場合ニ於ケル諸給與負擔方左ノ通定ム

- 一 轉勤者ニ對スル轉勤ノ月ノ諸給與ハ出發ノ日ガ月ノ十五日以前ナルトキハ新勤務所十六日以後ナルトキハ舊勤務所ニ於テ便宜其ノ全額ヲ負擔スルモノトス但シ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

◎轉勤者ニ對シ給料前渡しセザルノ件

(大正九年五月十三日一般各所主任宛通知)

職員轉勤ノ場合ニ於ケル給與負擔方ニ關シ本年一月二十日附ヲ以テ轉勤出發日ノ十五日以前ト十六日以後トニ依リ負擔所ヲ區別スベキ旨御通知申上候處往々之ヲ誤解シテ十五日以前又ハ以後ニ出發赴任スル者ニ對シ元勤務所ニテ便宜月俸等ヲ支給セラル、向アル爲轉勤先ノ支給ト重複スルコト有之候素ヨリ月俸ハ定例支給日ニ於テ支給スベシ只前記日限ニ依リ之ガ負擔所ヲ定メテ夫々振替ヘラルベキ儀ニ付出發日ノ如何ニ拘ラズ支給日ニ至ラザレバ支給セザルコトニ御留意被下度若シ已ムヲ得ザル事情ニ依リ月俸支給日以前ニ出發スル者ニ對シ支給セラレタルトキハ其ノ旨直ニ轉勤先ヘ通知セラレ重複支給ノ錯誤ニ陥ルコト無之様御取計被下度爲念此段得貴意候也

◎家族手當ノ件

(大正十三年十二月十八日附一般各所主任宛通知大正十五年七月一日一部改正)

有妻職員ニ對スル家族手當支給方ノ件左ノ通り改正セラレ候ニ付御通知申上候也

- 一 妻帯セル店員准店員及雇員ニシテ左記各項ニ該當スルモノニハ所屬主任者ノ申請ニ依リ詮議ノ上家族手當ヲ支給ス但シ一旦有妻者ノ待遇ヲ受ケル者ハ右ノ制限ニ拘ラズ之ヲ支給ス

- 1 年齢滿二十五歳以上ニシテ月俸店員五十圓准店員、雇員四十圓以上ノ者又ハ年齢三十歳以上ノ者

者

- ロ 月俸三百圓未滿ノ者

- 二 家族手當ノ額ハ店員ニ在リテハ月二十五圓准店員及雇員ニ在リテハ月十五圓トス但シ月俸店員二百七十五圓准店員及雇員二百八十五圓ヲ超ユル者ハ家族手當ヲ減額シテ月俸トノ和ヲ三百圓ニ止ム
- 三 家族手當ハ入店前結婚セル者ニ在リテハ入店ノ翌月入店後結婚セル者ニ在リテハ結婚ノ翌月ヨリ支給ス但シ月ノ一日ニ入店又ハ結婚シタルトキハ特ニ其ノ月ヨリ支給ス
- 結婚舉式ノ翌月以後ニ届出デタルトキハ家族手當ハ其ノ届出ノ月ヨリ支給ス
- 四 家族手當ヲ受ケル職員ニシテ離婚シタルトキ又ハ妻死亡シタルトキハ子ナキ者ニ付テハ其ノ翌月ヨリ六箇月間引續キ同手當ヲ支給スルモ七箇月目ヨリ之ヲ停止ス子アル者ニ付テハ其ノ子ノ死亡又ハ扶養ノ義務ナキニ至リタルニ因リ單身ト爲リタル場合亦之ニ準ズ
- 五 家族手當ハ毎月俸給ト同時ニ支給ス

◎内地在勤者社宅及住宅手當ノ件

(大正十三年十二月十八日附内地各所主任宛通知大正十五年七月一日一部改正)

内地在勤ノ有家族職員ニ對スル社宅及住宅手當ニ關スル件左ノ通り改正セラレ候ニ付御通知申上候也

- 一 内地各所在勤ノ男子職員ニシテ左記ニ該當スル者ニハ左表ニ依リ社宅ニ居住セシメ又ハ住宅手當ヲ支給ス但シハ項該當者ヲ社宅ニ居住セシムル場合社宅ノ都合ニ依リ一戸ヲ給セザルコトアルベシ

- イ 年齢満二十五歳以上ノ者又ハ勤続満三年ヲ超ユル者ニシテ妻又ハ子ヲ有シ一戸ヲ構フル者
- ロ 妻子ヲ有セザルモ年齢満二十五歳以上ニシテ戸主又ハ法定ノ推定家督相續人タル身分關係者少ハ其ノ他特別ナル事情ニ因リ扶養ノ爲メ其ノ父母弟妹ト同棲シ一戸ヲ構フル者
- ハ 前各項ニ該當セザルモ年齢三十歳以上ニシテ一戸ヲ構フル者
- 二 住宅手當ハ支給スベキ事實ノ生シタル月ヨリ其ノ事實ノ止ミタル月迄之ヲ支給ス但シ其ノ事實ノ生シタル日ガ十六日以後ナルトキ又ハ其ノ事實ノ止ミタル日ガ十五日以前ナルトキハ其ノ月分ハ半額トス但シ子ナキ職員ニシテ離婚シタルトキ又ハ妻死亡シタルトキハ其ノ翌月ヨリ六箇月間ハ引續キ住宅手當ヲ支給スルコトヲ得
- 三 住宅手當ハ毎月俸給ト同時ニ支給ス

左 表

雇 員	店 員	
	准 店 員	店 員
社宅ナキトキ	社宅ニ餘裕アルトキ	社宅アルトキ
住宅手當	住宅手當	社宅居住
月 十 圓	月俸 百五十圓未滿 百五十圓以上 月 二十五圓	社宅居住

◎内地在勤者濟美寮寄宿並散宿ノ件

(大正九年七月二十七日附内地各所主任宛通知大正十四年一月一日一部改正)

- 一 濟美寮ヲ有スル個所ニ於テハ年齢二十五歳ニ達セザル獨身ノ店員及准店員ハ濟美寮ニ寄宿セシムルモノトス但シ主任者ニ於テ適當ト認メタルトキ又ハ必要アルトキハ散宿セシムルコトアルベシ
- 二 高等學校程度以上ノ學校ヲ卒業シタル者及父兄ノ許又ハ自宅ヨリ通勤ヲ希望スル者ニ對シテハ前項年齢ノ制限ニ拘ラズ散宿又ハ通勤等機宜ノ取扱ヲ爲スコトヲ得
- 三 前二項ノ散宿又ハ通勤セル者及年齢二十五歳ニ達シタル者寄宿ヲ願出ヅルトキハ濟美寮ニ餘裕アル場合ハ之ヲ許スコトアルベシ
- 有妻店員(既婚者ニシテ現ニ妻無キモ尙有妻者ノ待遇ヲ繼續セル者ヲ含ム以下同ジ)ニシテ單身在勤セル者一時寄宿ヲ願出ヅルトキ亦同ジ
- 四 濟美寮ニ寄宿セザル者ニハ散宿手當トシテ月拾圓ヲ支給ス
- 五 社宅居住者ニアラザル有妻職員ニシテ住宅手當ヲ支給セラレザル散宿者ニハ散宿手當ヲ支給スルコトヲ得
- 六 男子雇員ニ付テハ店員ニ準ジ取扱フコトヲ得但シ其ノ手當ハ月八圓トス
- 七 現ニ散宿セル者ハ引續キ散宿セシムルモノトス

◎在外給與規程

(大正十二年四月一日附關係各所主任宛通知大正十三年八月二十六日同十四年一月一日同十五年七月一日一部改正)

一 在勤手當

第一條 北海道朝鮮臺灣及外國ニ在勤スル職員ニハ本規程ニ依リ別表ノ在勤手當ヲ支給ス但シ甲號表各地ニ於ケル雇員ノ在勤手當及借宅手當限度ハ別表ノ各三分ノ二トス

朝鮮ニ於ケル朝鮮人臺灣ニ於ケル臺灣人及其ノ他ノ各所ニ於ケル外國人タル職員ニ對シテハ本規程中ノ借宅手當及暖房手當ニ關スル規程ヲ除ク外之ヲ適用セズ但シ特別ノ必要上前記朝鮮人臺灣人又ハ外國人タル職員ヲ異ナル邦土ニ呼寄セ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 甲號表各地ニ於ケル獨身者又ハ單身在勤スル有妻者ニシテ本社ニ於テ職務ノ都合上一家ヲ構フル必要アリト認ムル者ニハ第一條ノ在勤手當額ノ三分ノ一ヲ加給ス

第三條 歐米濠洲漢口長沙香港廣東汕頭西貢盤谷マニラ新嘉坡瓜哇蘭貢印度波斯埃及地方在勤者在勤二年ヲ經タルトキハ其ノ翌月ヨリ第一條在勤手當額(乙號表各地ニ於テハ本人在勤手當額)ノ五分ヲ加給シ爾後一年ヲ經ル毎ニ同率ヲ増加シ加給率二割ニ達スルヲ以テ限度トス

前項各地ノ在勤相連續スル場合ハ互ニ通算ス但シ一箇年以内ノ中斷ハ前後連續ト看做シ其ノ前後ノ年數ヲ通算ス

二 借宅手當及妻子内地住宅手當

第四條 甲號表ノ各地ニ於ケル妻同棲者ニシテ社宅ニ居住セザル者(妻同棲者ガ濟美寮又ハ店舗ノ一部ニ居住セルトキハ社宅居住者ト看做ス以下同ジ)ニハ別表借宅手當限度内ニテ借宅費ノ實費ヲ支給ス其ノ自家所有家屋ニ居住スル者ニ付テモ亦之ヲ準用ス

獨身者又ハ單身在勤者ニシテ濟美寮ニ寄宿セザル者ニハ前項借宅手當限度ノ十分ノ六ヲ限度トシ其ノ範

園内ニテ借宅費ノ實費ヲ支給ス但シ第二條ノ加給ヲ受クル者ニハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五條 各所主任者ニシテ特別ノ理由ニ因リ前條ノ限度ニ據リ難キトキハ本社ノ承認ヲ經テ支給額ヲ増加スルコトヲ得

第六條 妻子ヲ内地ニ留メ單身在勤スル者ニハ内地ニ於ケル社宅及住宅手當ニ關スル規定ニ依リ住宅手當ヲ加給ス但シ此ノ場合同棲待遇ヲ與フルヨリモ其ノ給與額ガ多キトキハ少キ方ニ依ル

三 醫療費

第七條 北海道朝鮮ニ在勤スル者ノ醫療費ハ公傷病ニ在リテハ店費負擔其ノ他ノ病傷ニ在リテハ自辨トス

第八條 臺灣滿洲及其ノ他ノ外國ニ在勤スル者ノ醫療費ハ左記ニ依ルモノトス同棲妻子ノ醫療費亦同ジ

一 氣候風土ニ基因スル疾病及傳染病(即チマラリヤ其ノ他ノ風土病、コレラ亦痢痘瘡猖紅熱實布淫、利亞腸室扶斯發疹室扶斯ヘスト)又ハ公傷病ニ因ル醫療費ハ店費負擔トス

二 前號以外ノ病傷ニ因ル醫療費ハ自辨トス

特別ノ事情アルトキハ本社ノ承認ヲ經テ前項第二號ノ醫療費ノ二分ノ一以内ヲ補助スルコトヲ得

第九條 前條第一號ノ病氣ニ罹リタル者特ニ轉地療養ヲ要スル場合ニハ其ノ往復ニ要スル旅費ヲ支給シ滞在療養費ノ負擔ハ前條ニ據ル但シ内地ニ歸來療養シタルトキハ特ニ本社ノ承認ヲ經タルモノ、外内地ニ於ケル醫療費ハ總テ自辨トス

第十條 獨身者又ハ單身在勤有妻者第七條前段及第八條第一號ノ病氣ノ爲メ三十日以上病院又ハ濟美寮内ニテ治療ヲ受クルトキ又ハ内地以外ノ地ニ轉地療養ヲ爲ストキハ其ノ三十日ヲ超過スル期間在勤手當ヲ四分ノ一ニ減額ス此ノ場合發病前ノ借宅ヲ引續キ借置ク必要アル者ニハ借宅手當ヲ支給ス

第十一條 職員及其ノ同棲妻子ノ醫療又ハ轉地療養方法ニ付テハ主任者ニ於テ其ノ病症ニ應ジ適當ノ措置ヲ爲スト共ニ贅澤ニ流レザルヤツ指圖スルコトヲ要ス主任者ノ指圖ニ反シ又ハ承認ヲ經ザル費用ハ自辨

トス

四 雜 給

第十二條 電燈瓦斯及水道ノ諸費ハ甲號表各地ニ於ケル單身濟美寮寄宿者ヲ除ク外社宅ニ居住スルト否トニ拘ラズ總テ自辨トス

第十三條 北海道朝鮮浦沙滿洲及北部支那ニ於テ妻子ト同棲スル在勤者ニハ別表限度内ノ暖房手當ヲ支給スルコトヲ得

第十四條 新嘉坡瓜哇及印度地方ニ在勤スル者ニハ宿舍及特ニ必要ナル什器ヲ貸與スル外食事費電燈瓦斯水道料洗濯賃賃宿舍及食事ニ要スル傭人費等ニ關スル一切ノ費用ハ其ノ自辨トス

第十五條 歐米濠洲及埃及地方ニ在勤スル者ノ住居及食事ニ關スル費用ハ自辨トス

第十六條 歐米濠洲埃及印度地方ニ於テ職務上燕尾服又ハタキシードヲ要スル者ニハ店費ヲ以テ之ヲ支給ス但シ附屬品ハ自辨トス

第十七條 浦沙哈爾賓ニ於テハ主任者ノ定ムル所ニ依リ冬季間防寒具ヲ貸與スルコトヲ得

五 妻同棲待遇制限

第十八條 左記海外在勤有妻者妻子ト同棲スルトキハ當然妻同棲ノ待遇ヲ爲ス但シ主任者及本社ニ於テ特ニ必要アリト認メタル者ハ此ノ制限ニ拘ラズ妻同棲ノ待遇ヲ爲ス

甲號表各地ニ於ケル社宅及借宅手當ニ關シテハ「内地在勤職員ノ社宅及住宅手當ノ件」第一項イ、ロ兩號該當者ニ限り妻同棲者トシテノ待遇ヲ爲スコトヲ得尙暖房手當ヲ支給スル箇所ニ在リテハ之ヲ併給スルコトヲ得

- 一 清津、滿洲、浦沙、香港地方ノ在勤者ハ月俸店員ニ在リテハ六十圓准店員雇員ニ在リテハ五十圓以上ノ者

二 南洋、印度、新嘉坡地方ノ在勤者ハ月俸百圓以上ニシテ其ノ地方勤續滿二箇年ヲ超エ尙引續キ勤務スル必要アル者

三 歐米、埃及、濠洲ノ在勤者ハ月俸百三十圓以上ニシテ其ノ地方勤續滿二箇年ヲ超エ尙引續キ勤務スル必要アル者

第十九條 前條ノ各地在勤者ニシテ妻同棲待遇ヲ受クルニ至ラザル有妻者自己ノ都合ニ依リ妻子ヲ勤務地ニ引繼メ同棲スルトモ其ノ家族ノ旅費ヲ支給セズ且單身在勤者ノ待遇ヲ爲ス但シ獨身待遇ヲ受クル有妻者ニ對シテハ當然獨身待遇ヲ爲ス

六 支 給 方 法

第二十條 本規程ニ依ル給與額ハ別表ニ定メタル貨幣ニ依リ支給ス

前項ノ支給貨幣ヲ更ニ他ノ貨幣ニ換ヘ支給セントスルトキハ支給日ニ於ケル參着爲替相場ニ依ル

第二十一條 本規程ニ依ル月額給與ハ着任ノ月ヨリ轉勤出發ノ月迄支給ス但シ着任ガ月ノ後半内(十六日以後ヲ指ス以下同ジ)ナルトキ又ハ出發ガ月ノ前半内(十五日以前ヲ指ス以下同ジ)ナルトキハ其ノ月分ハ各半額トシ發着ノ月以外ノ中間ノ月ハ支給セズ

前項ノ發着ガ何レモ同月前半内又ハ後半内ニ行ハレタルトキハ其ノ半箇月分ハ在勤手當額ノ多キ方ニ依ル

第二十二條 店務ヲ帶ビ在勤地以外ノ地ニ出張シ又ハ内地ニ歸來シタルトキハ出發ノ月及在勤地ニ歸着シタル月ノミ在勤手當ヲ支給シ中間ノ月及内地滞在ノ月ハ之ヲ支給セズ但シ出發ガ月ノ前半内又ハ在勤地歸着ガ月ノ後半内ナルトキハ其ノ月分ハ半額トス此ノ場合借宅ヲ繼續スルトキハ借宅手當ハ引續キ全額ヲ支給ス

前項ノ場合家族ヲ在勤地ニ留メ置クトキハ前項不支給ノ月ト雖モ在勤手當額ノ三分ノ二及借宅手當ヲ支

給ス暖房手當ヲ受クル地方ニ於テハ同手當ニ付テモ亦同シ

第二十三條 第七條後段及第八條第二號ノ病氣又ハ自己ノ都合ニ依リ又ハ慰勞休暇ヲ得テ在勤地以外ノ地ニ旅行シ又ハ内地ニ歸來シタル場合ハ前條ノ規定ヲ準用ス兵役ニ關シ旅行スル場合亦同シ

前項病氣ノ爲メ又ハ慰勞休暇ヲ得テ内地以外ノ地ニ旅行スル場合主任者ニ於テ必要ト認ムルトキハ特ニ在勤手當ヲ引續キ支給スルコトヲ得

第二十四條 在勤地ニテ退職又ハ死亡シタルトキハ其ノ月ノ在勤手當及其ノ他ノ給與ハ特ニ全額ヲ支給ス
第二十五條 本規程ニ依ル月額給與ハ支給貨幣ノ各單位未滿ノ端數ヲ四捨五入シテ單位ニ止ム但シ磅ニテ定メタルモノハ志未滿ノ端數ヲ四捨五入シテ志ニ止ム

第二十六條 本規程ニ據リ難キ事情アル場合ニ於テモ本社ノ承認ヲ經タル後ニアラザレバ給與方法及手當額ヲ變更スルコトヲ得ズ

甲 號 表 (雇員ノ在勤手當及借宅手當限度ハ本表ノ各三分ノ二トス)

地名	支給貨幣	在勤手當		暖房手當限度	借宅手當限度																
		單身者	有妻者		月俸三百圓以上未滿	月俸二百圓未滿	月俸百六十圓未滿	月俸百圓未滿	月俸七十五圓未滿	月俸五十圓未滿	月俸三十圓未滿	月俸二十圓未滿	月俸十圓未滿	月俸五圓未滿							
北海道	圓貨	月俸ノ二分	月俸ノ二分	〇	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	
盛岡	圓貨	月俸ノ二分	月俸ノ二分	〇	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空

地名	支給貨幣	在勤手當	暖房手當限度	借宅手當限度
釜山	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
大邱	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
京城	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
平壤	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
元山	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
安東	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
清津	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
哈爾濱	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
浦東	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
長春	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
大連	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
天津	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
青島	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
蝦夷地	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
濟南	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
上海	圓貨	月俸ノ二分	〇	空
漢口	圓貨	月俸ノ二分	〇	空

地名	支給		在勤手当	腰房手当限度	借宅手当					限度
	幣	貨			月俸	月俸	月俸	月俸	月俸	
香港	支那	銀圓	月俸ノ月俸ノ	月俸ノ月俸ノ	100	100	100	100	100	100
廣東	支那	銀圓	月俸ノ月俸ノ	月俸ノ月俸ノ	100	100	100	100	100	100
地	支那	銀圓	月俸ノ月俸ノ	月俸ノ月俸ノ	100	100	100	100	100	100

一本表在勤手当ノ最高額ヲ左記ニ止ム
 北海道朝鮮(清津ヲ除ク) 月額 七十圓
 臺灣清津安東縣大連青島 月額 百五十圓
 長春開原天津鐵嶼屯濟南上海 月額 二百圓
 浦沙哈爾濱香港廣東漢口 月額 三百圓
 支給貨ノ支那銀圓ナル箇所ニ在リテハ單位ヲ支那銀圓トス
 天津以下ノ各所ニ於テハ所定ノ手當率ニ依ル算出額ヲ其ノ儘銀圓ノ單位ニ更ヘ支給スルモノトス
 腰房及借宅手當限度ニ付テモ銀圓ヲ以テ單位ト爲スモノトス

乙 號 表 (店員ニ對シテノミ適用ス)

地名	支給貨幣	在勤手当					要同棲者	單身在勤有妻者
		月俸	月俸	月俸	月俸	月俸		
新嘉坡	弗	300以上	300未滿	350未滿	50未滿	90未滿	60未滿	100

北米	英國、濠洲	瓜哇	孟買	甲谷陀	在勤手当		給加割一ノ俸月
					留比	留比	
紐育、桑港、沙市	磅	盾	圓	圓	100	100	上記在勤手当ノ十分ノ四ヲ加給

附 記

一 月俸家族手當内地住宅手當賞與及乙號表各所ニ於ケル單身在勤有妻者ニ對スル加給等ハ總テ本邦貨ニ依ル其地ノ通貨ニ換算セントスルトキハ支給日ニ於ケル參着爲替相場(Demand Rate)ニ依ルニト
 一 甲號表各地ニ於テ職員ノ食事ガ店給ナルコトハ内地同様ノ趣旨ナルヲ以テ是等ニ關シテ別段ノ明文ヲ設ケザルコト同棲妻子ノ食事ハ當然自辦タルコト若シ便宜上店員ト同一竈ノ食事ヲ取ラシメ居ル向アラバ店ニ對シ相當ノ支拂ヲ爲サシムルコト
 一 甲號表各地ニ於ケル借宅手當制度實施ノ結果一部社宅居住者ガ借宅居住者ニ比シ著シク有利トナリ給與ノ均衡ヲ失フ場合ハ社宅居住者ニ對シ其ノ地方ニ於ケル一般ノ標準ニ依リ家賃ヲ徴收シ一率ニ所定ノ借宅手當ヲ支給スルコト

- 一 甲號表各地ニ於テ妻同棲者ガ濟美寮又ハ店舗ノ一部ニ居住スル場合其ノ使用ニ屬スル電燈瓦斯水道料及暖房費ハ當然自辨タルコト
- 一 乙號表各地ノ在勤手當ハ店員ニ對スル給與額ニシテ將來准店員雇員ヲ採用スル場合ハ更ニ決定ノ見込ナルコト
- 一 乙號表中新嘉坡印度瓜哇地方ニ在リテハ在勤手當ヲ増額シ宿舍及必要ナル家具什器ヲ提供スル外一切ノ費用（電燈瓦斯水道ノ諸費食事費洗濯賃宿舍及食事ニ要スル傭人費）ハ自辨タルコト仍テ各人ノ自治節制ト相俟テテ嚴重ニ之ヲ勵行シ公私ノ別ヲ明ニスルコト
- 一 暖房手當ハ別表限度内ニテ適宜支給スルコト

◎新嘉坡印度瓜哇各所特別加給ノ件

（大正十二年十二月五日附關係各所主任宛通知）

- 一 新嘉坡印度及瓜哇ノ各所ニ於テ在勤職員三人以下ノ場合ハ各員ニ對シ左表ノ特別加給ヲ爲ス但シ本加給ニ對シテハ特殊地勤續ノ加給ヲ爲サザルモノトス
- 二 同一地在勤ノ職員中分宿又ハ單獨ノ生活ヲ爲ス者アル場合ト雖モ本加給ハ職員總數ニ對スル加給額ニ據ルモノトス
- 三 合宿居住者中长期旅行又ハ休暇歸朝等ノ爲メ一箇月以上ニ亘リ自辨ニ屬スル費用ノ分擔ヲ爲サザル者アル場合ハ特ニ其ノ間殘留職員數ニ對スル加給額ニ據ルコトヲ得

	支給貨幣	在勤者 人	在勤者 人	在勤者 人
瓜哇	盾	一三〇	六〇	三五
印度	留比	一六〇	七五	四〇
新嘉坡	弗	一〇〇	四五	二五

◎支那各地及香港在勤者ノ本俸及家族手當ノ弗換算率ノ件

（大正十四年八月二十二日附關係各所主任宛總務部通知）

職員ノ本俸及家族手當等ハ豫テ御通知通り一般ニ本邦貨ニ依リ其ノ地通貨ニ換ヘ支給スル場合ハ支給日ノ參着爲替相場ニ依ルコトニ定マリ居レル義ニ候處邦貨ノ漸落ニ伴ヒ在勤手當ノ比較的低率ナル向ハ自然各人ノ苦痛尠カラザルベキニ付今回貴地方ニ付テハ左記ノ通り決定致候間本月ヨリ之ニ依リ御實行相成度此段御通知申上候

記

- 一 支那各地（滿洲ヲ除ク）及香港在勤者ノ本俸及家族手當ヲ弗ニ換算ノ場合支給日ノ參着爲替相場ガ邦貨百圓ニ對シ九十弗ヲ下ルトキハ特ニ九十弗ヲ以テ換算率トス

◎支那各地及香港各所在勤者ノ在外給與ノ弗(銀圓)割増ニ關スル件

(大正十五年十月二十八日附關係各所主任宛總務部通知)

近時銀價ノ暴落ニ伴ヒ弗(銀圓)ヲ以テ支給セラルル在外給與(在勤手當、借宅料、暖房手當)ハ其ノ使用價值ノ漸減ニ依リ各人ニ對シ事實上ノ自然減收ヲ招來セルニ付適當ノ割増率制定方申出ノ向有之尤モノ儀ニ付協議ノ結果邦貨低落時代ニ金圓ヲ以テ支給スル本俸家族手當ノ換算最低率ヲ九十弗トナシタル例ニ依リ左ノ通り決定致シ候間御了承自今之ニ依リ可然御取計被下度此段御通知申上候

記

- 一 支那各地(滿洲ヲ除ク)及香港在勤者ニ對シ弗(銀圓)ヲ以テ支給スル在外給與ハ其ノ支給日ニ於ケル參着爲替相場ガ銀圓百弗ニ對シ金圓ガ九十圓ヲ下ル場合ハ特ニ九十圓ノ割合ヲ以テ支給ス

第二章 旅 費

◎内國旅費規程

(大正九年十二月十八日人事通知第四三三號
大正十年二月廿一日同年七月二十日同十四年一月一日昭和二年三月一日改正)

第一條 職員店務ニ依リ本邦内ヲ旅行スルトキハ本規程ニ依リ旅費ヲ支給ス

但シ本社理事監事鈴木商店常任重役及部長外一般分身會社ニ於ケル社長專務常務取締役ノ任ニ在ル者ハ時宜ニ依リ實費拂ト爲スコトヲ得

第二條 旅費ヲ分チテ普通旅費ト轉勤旅費トシ普通旅費ヲ分チテ鐵道賃、汽船賃、日當及宿泊料トス

第三條 鐵道賃及汽船賃ハ順路ニ依リ別表ニ定ムル等級ノ賃金定額ヲ支給ス但シ急行料又ハ寢臺料ヲ要シタルトキハ之ヲ併給ス

當社並關係會社使用ノ船車ニ乘リ賃金ノ支拂ヲ要セザルトキハ鐵道賃又ハ汽船賃ヲ支給セズ

第四條 宿泊料ハ夜數ニ應ジ日當ハ日數ニ應ジテ別表ノ定額ヲ支給ス

水路旅行ニハ日當ハ四分ノ三ヲ支給シ宿泊料ハ支給セズ

夜行列車ニテ旅行シタル時及店用ノ寮舎ニ宿泊シタルトキハ宿泊料ハ三分ノ一ヲ支給ス

出發及歸着ノ日ノ日當ハ半減ス但シ轉勤ノ場合ハ全額ヲ支給ス出張ノ場合其ノ出發ガ午前歸着ガ午後ナルトキ亦同ジ

日當ノ多キ地ト少キ地トニ跨ル日ハ多キ方ニ依ル

第五條 鐵道汽船ノ便ナキ地點間ニ於テ車馬其他ノ乗物ニ乘リ旅行シタルトキハ日當宿泊料ノ外乗物ノ實費ヲ支給ス滞在都市町村内ニ於テモ亦同ジ

第六條 日歸旅行ノ場合ハ日當ヲ支給セズ旅費ノ實費ヲ支給ス

第七條 同一地ノ滞在七日ヲ超ユルトキハ八日目ヨリ日當ハ三分ノ二トス但シ滞在中他ニ旅行シ滞在在地ニ歸リタル場合ニ於ケル前後ノ日數ヲ通算ス

一箇月以上ニ亘リ關係各所ニ出張勤務スル場合ハ助勤者トシテ取扱ヒ滞在八日目以後ニ付テハ本規程ニ依ル滞在旅費ヲ支給セザルモノトス

第八條 旅行中自己ノ便宜ヲ以テ迂路ヲ取り又ハ滞在シタルトキハ之ガ爲メニ要シタル旅費ヲ支給セズ但

同行

旅費

旅

材料

宿

任

抄

シ病氣ノ爲メ又ハ不慮ノ災難ニ因リ止ヲ得ズ滞在又ハ迂回シタルトキハ事情ニ依リ其ノ旅費ヲ支給ス此ノ場合ハ日當ヲ支給セザルコトアルベシ

第九條 上役ニ隨行シ又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ定額ノ旅費ヲ以テ支辨シ難キトキハ特ニ實費拂ヲ爲スコトアルベシ此ノ場合ニハ相當ノ證明ヲ要ス

第十條 旅行先ニ於テ店用ノ爲メ特ニ交際其他ニ要シタル費用ハ旅費以外ニ實費ヲ支給ス此ノ場合ハ之ヲ證スベキ書類ヲ提出スベシ

第十一條 異リタル地ヘ轉勤スル者ニハ左ノ諸費ヲ支給ス
 一 本人普通旅費
 二 家族旅費 家族(家族ハ父母妻子ニ限ル)一人ニ付本人普通旅費相當額但四歳以上十二歳未滿ノ者ハ半額四歳未滿ノ者ハ四分ノ一

三 移轉料 別表移轉料(有妻者ニシテ單身在勤ノ目的ヲ以テ赴任スル場合ハ別表單身移轉料)ヲ最高限度トシ其範圍内ニ於テ荷物運搬賃及荷造ノ費用ヲ支給ス此ノ場合ハ之ヲ證スベキ書類ヲ提出スベシ

有妻者ニシテ單身移轉料ノ支給ヲ受ケ以後一箇年以内ニ家族ヲ勤務地ニ引纏メタルトキハ移轉料ハ別表有妻移轉料額ヨリ前ニ支給セシ單身移轉料額ヲ控除シタル額ノ範圍内ニテ之ヲ支給シ一箇年ヲ超エ引纏メタルトキハ右ノ控除ヲ爲サズ別表ノ範圍内ニテ支給ス

附近地ニ轉勤シ居所ノ變更ヲ要セザルトキハ本人普通旅費ノミヲ支給ス
 第十二條 着任後直ニ住宅ヲ索メ得ザルトキ又ハ店用寮舎ニ寄宿スル運ニ至ラザルトキハ着後手當トシテ本人及其ノ妻子(妻子以外ノ家族ニハ支給セズ尤モ特別ノ事情アル者ハ此ノ限ニ在ラズ)一人毎ニ日當三日分及宿泊料三夜分以内ヲ支給ス但シ四歳以十二歳未滿ノ者ハ半額四歳未滿ノ者ハ四分ノ一トス

第十三條 轉勤ノ場合ノ日當、宿泊料ノ支給ニ付テハ旅行ニ要スル實際ノ日數又ハ夜數ニ依ル但シ鐵道ハ二百哩、水路ハ百海里、陸路ハ十二里ヲ以テ一日ノ路程トシテ通算シタル日數ヲ超過スルコトヲ得ズ一日未滿ノ端數ハ之ヲ一日トス鐵道四十哩、水路二十五海里、陸路五里以内ノ地ニ轉勤スル場合ノ日當ハ前項ノ規程ニ拘ラズ半日分トス

轉勤旅行ニシテ陸路、鐵道、又ハ水路ニ跨ルトキハ鐵道ハ八哩、水路ハ五海里ヲ以テ陸路一里ト看做シ前二項ノ規程ヲ準用ス

第十四條 轉勤旅費ハ新任地ノ負擔トス但シ會計上獨立シテ損益ノ計算ヲ爲サザル所ニ赴任スル者ノ旅費ハ其ノ所管事業所ノ負擔トス

第十五條 旅費ハ出發前概算ヲ以テ假渡ヲ爲スコトヲ得旅行者ハ旅行終了後五日以内ニ旅費ノ精算ヲ爲スベシ

第十六條 各所ニ於テ頻繁ニ旅行ヲ要スル近距離ノ地又ハ長期間出張ヲ要スル業務區域ノ旅費及各所限使用人ノ旅費ニ關シ本規程ノ金額ヲ低メ支給スル必要アルトキハ旅費特例ヲ設ケ本社ノ承認ヲ經テ實施スベシ

内國旅費

級 別	鐵道	汽船	日當	宿泊料	移 轉 料 限 度				
					五〇哩未滿	一〇〇哩未滿	一五〇哩未滿	二〇〇哩以上	
特 別	店員月俸 壹圓以上	二等	一等	七圓	九圓	一三圓	一七圓	二一圓	二五圓
一	店員月俸 三〇圓以上	二等	一等	六圓	八圓	一二圓	一六圓	二〇圓	二四圓

級 別	鐵道		汽船		日當	宿泊料	移 轉 料 限 度							
	甲	乙	甲	乙			有妻 單身	有妻 單身	有妻 單身	有妻 單身				
店員月俸 100圓以上	二等	二等	一等	二等	六圓	七圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 50圓以上	二等	二等	二等	二等	五圓	五圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 100圓以上	二等	二等	二等	二等	五圓	六圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 50圓以上	二等	二等	二等	二等	四圓	五圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 50圓未滿	三等	三等	二等	二等	三圓	四圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 50圓未滿	三等	三等	三等	三等	二圓	三圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
店員准店員月俸 50圓未滿	三等	三等	三等	三等	二圓	三圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓

附記 一 臺灣ニテハ旅館ニ宿泊シタル場合ノ宿泊料ヲ特ニ三割増トス
 二 都市以外ノ村落ニ宿泊シタル日ノ日當及宿泊料ハ四分ノ三トス

十格 附冊

◎外國旅費規程

(大正九年十二月十八日人事通知第四三二號
 大正十年一月十五日同年二月廿一日同年七月二十日同十四年一月一日昭和二年三月一日改正)

第一條 職員店務ニ依リ外國ヲ旅行スル時ハ本規程ニ依リ旅費ヲ支給ス但シ本社理事監事鈴木商店常任重役及部長外一般分會社ニ於ケル社長專務常務取締役ノ任ニ在ル者ハ時宜ニ依リ實費拂ト爲スコトヲ得
 安東縣及間島ニ付テハ内國旅費規程ヲ適用ス

第二條 外國普通旅費ヲ分テ船舶料、汽車料、客舍料及日當トシ別表ニ依リ之ヲ支給ス但シ日當、客舍料ノ支給方法ハ内國ニ於ケル日當、宿泊料支給ノ例ニ準ズ
 汽船又ハ汽車ニテ中等ノ設ナキトキハ上等トス
 所定貨幣ノ金額ヲ他ノ貨幣ニ換ヘ支給ヲ要スル場合ハ其ノ時ノ爲替相場ニ依リ換算支給スルモノトス

第三條 日歸旅費ノ支給及鐵道汽船ノ便ナキ地點間又ハ滞在在地ニ於ケル乗物賃ノ支給ニ付テハ内國ノ例ニ準ズ

第四條 客舍料ハ陸地宿泊ノ數ニ應ジ之ヲ支給ス但シ航海中汽船ノ寄港地ニ自己ノ便宜ヲ以テ上陸宿泊シタルトキハ之ヲ支給セズ
 第五條 汽車旅行ニ對シテハ日當ノ外相當ノ寢臺料ト客舍料ノ三分ノ一トヲ支給ス急行料ヲ要シタルトキハ之ヲ併給ス

第六條 外國旅費區域ヲA東洋、B印度及南洋、C歐洲及濠洲、D南北亞米利加ノ四ニ分チ各區ノ範圍ヲ左ノ通りトス數區域ニ跨リ旅行スルトキノ日當及客舍料ハ經過各區域別ニ計算スルモノトス
 A 東洋旅費

本邦 (拔錨ノ日ヨリ) 浦汐、滿洲、支那、上海、香港 (碇泊中ヲ含ム) 間
 本邦、マニラ (投錨ノ日迄) 間

B 印度及南洋旅費

香港（拔錨ノ日ヨリ）マニラ、西貢、新嘉坡、印度及ポートサイド、（投錨ノ日迄）間
新嘉坡、瓜哇、ボルネオ間

C 歐洲及濠洲旅費

ポートサイド、歐洲間、マニラ（拔錨ノ日ヨリ）濠洲間

D 南北亞米利加旅費

本邦（拔錨ノ日ヨリ）南北亞米利加間
南北亞米利加、歐洲（投錨ノ日マデ）間

第七條 同一地ノ滞在十日ヲ超ユルトキハ十一日目ヨリ日當ハ定額ノ三分ノ二トス但シ滞在中他ニ旅行シ

滞在地ニ歸リタル場合ニ於ケル前後ノ日數ヲ通算ス

二箇月以上同一地ニ滞在ノ目的ヲ以テ旅行スルトキハ轉勤者ト同様ノ取扱ヲ爲スコトアルベシ内國旅費
規程第七條第二項ニ該當ノ場合亦同シ

第八條 轉勤ノ場合ニハ左ノ諸費ヲ支給ス内國旅費規程第十三條ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

一 本人普通旅費

二 家族旅費 支給スベキ家族ノ制限及支給方法ハ内國ノ例ニ準ズ

三 移轉料

別表移轉料額ノ範圍内ニ於テ内國ノ例ニ準ジ荷物運搬賃及荷造ノ費用ヲ支給ス但シ第六
條ノ二區域以上ニ跨リ轉ズルトキハ其ノ區域中移轉料額多キ方ノ範圍内ニ於テ支給シ滿
二年以上外國ニ在勤シタル者本邦へ轉勤歸朝ノ場合ハ特ニ移轉料限度額ヲ二割増トス
内國旅費規程第十二條ニ準ジ日當五日分以内客舍料五夜分以内ヲ支給ス本邦ニ轉勤ノ場
合ハ當然内國旅費規程所定ノ日數及夜數分ヲ限度トス

四 着後手當

ノ松抄

五、支度料

本邦ヨリ外國へ轉勤スル場合及A又ハB區域ヨリC又ハD區域へ轉勤スル場合ハ別表ニ
依リ支度料ヲ支給ス家族同伴又ハ後日呼寄ノ場合ニハ別ニ定額ノ半額ヲ支給ス

九頁

ニ南

第九條 外國へ轉勤後更ニ前條支度料支給地以外ノ外國又ハ本邦へ轉勤スル場合ニハ支度料ヲ支給セズ但
シ南洋印度地方ニ滿二年以上勤績シタル者本邦又ハA區域へ轉勤スル場合ニハ特ニ本邦ヨリ南洋印度ニ
至ル轉勤支度料額ノ半額以内ヲ支給スルコトアルベシ

本邦へ轉勤歸朝後二年以内ニ更ニ外國へ轉勤スル場合ハ支度料ノ半額以内ヲ支給スルコトアルベシ

第十條 外國へ出張スル場合ハ轉勤支度料ノ半額以内ノ支度料ヲ支給スルコトアルベシ但シ轉勤支度料ヲ
支給セザル各地間ノ出張ニ在リテハ出張支度料ヲ支給セズ一度轉勤支度料又ハ出張支度料ヲ受ケタル者
一年以内ニ更ニ出張スルトキハ出張支度料ヲ支給セズ

出張先ヨリ歸任ノ場合ハ總テ支度料ヲ支給セズ

第十一條 外國へ轉勤又ハ出張スル者出發前店務ノ都合若クハ本人疾病ニ依リ之ヲ取消シタルトキハ支度
料ノ半額以内ヲ支給ス但シ事情ニ依リ半額以上ヲ支給スルコトアルベシ

第十二條 外國轉勤者家族ヲ本邦ニ留ムル爲メ其ノ居住地ヨリ他ノ地へ引纏ムルトキハ内地轉勤ノ場合ニ
準ジ其ノ地迄ノ家族旅費及移轉料ヲ支給ス

第十三條 外國在勤者又ハ其ノ父母妻子病氣療養ノ爲メ特ニ歸朝ヲ要スル場合ハ本邦着港迄ノ往復旅費ヲ
支給スルコトヲ得但シ家族ニ付テハ職員慰勞休暇規程第四條ノ割合ニ依ルモノトス

第十四條 轉勤支度料ハ新任地ノ負擔トシ出張支度料ハ在勤所ノ負擔トス

第十五條 各所近距離旅行及各所限使用人ノ旅行ニ關シテハ當該所長ニ於テ旅費特例ヲ設ケ本社ノ承認ヲ
經テ實施スベシ

第十六條 本規程ニ定メナキ事項ニ付テハ内國旅費規程ヲ準用ス

任取

第一號表 A 東洋旅費

級	區 別	汽車料	船舶料	日常	客舎料	移 轉 料 限 度			
						有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身
一	店員月俸 三〇〇圓以上	上等	上等	七圓	一一圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓
二	店員月俸 一五〇圓以上	中等	上等	六圓	九圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓
三	店員准店員月俸三〇圓以上 店員月俸 一〇〇圓以上	中等	中等	五圓	八圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓	一〇〇圓
四	店員准店員月俸三〇圓以上 店員月俸 五〇圓以上	中等	中等	四圓	六圓	七〇圓	七〇圓	七〇圓	七〇圓
五	店員准店員月俸三〇圓未滿 店員月俸 五〇圓未滿	中等	下等	二圓	五圓	五〇圓	五〇圓	五〇圓	五〇圓

附記 一 南滿洲鐵道沿線ニテハ當分ノ間旅館ニ宿泊シタル場合ノ客舎料ヲ二割増トシ東清鐵道沿線ニテハ同シク客舎料ヲ三割増トス

二 右地方ヲ除ク支那各地及香港ニテハ本文圖ヲ弗ト看做ス

三 本邦ト此ノ區域トノ間ノ旅行ニ付テハ船車賃ハ實際支拂ヒタル貨幣其他ハ總テ本邦貨幣單位ヲ以テ支給ス本區域ヲ出立又ハ通過シテ他區域ニ至ル場合ノ本區域中ノ旅費ニ付テモ亦同シ

第貳號表 B 印度及南洋旅費

級	區 別	汽車料	船舶料	日常	客舎料	移 轉 料 限 度			
						有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身
一	店員月俸 三〇〇圓以上	上等	上等	九	一六	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二	店員月俸 一五〇圓以上	上等	上等	八	一四	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
三	店員准店員月俸三〇圓以上	中等	中等	七	一三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
四	店員准店員月俸三〇圓以上 店員月俸 五〇圓以上	中等	中等	六	一一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
五	店員准店員月俸三〇圓未滿 店員月俸 五〇圓未滿	中等	中等	五	九	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

附記 一 本表ノ金額ハ印度ニテハ「留比」瓜哇ニテハ「ギルダ」ノ如ク其地ノ貨幣單位ヲ以テ支給ス但シ「ギルダ」ニテ支給スル場合ハ本表ノ金額ヲ二割増トシ「留比」ニテ支給スル場合ハ四割増トス

二 本邦ト此ノ區域トノ間ノ旅行ニ付テハ船車賃ハ實際支拂タル貨幣其他ハ總テ本邦貨幣單位ヲ以テ支給ス本區域ヲ出立又ハ通過シテ他區域ニ至ル場合ノ本區域中ノ旅費ニ付テモ亦同シ

第參號表 C 歐洲及濠洲旅費

級	區	別	汽車料	船舶料	日當	客舍料	移轉料限度	
							有妻一單身	有妻一單身
一	店員月俸	三〇圓以上	上等	上等	一八志	三志	三磅	一磅
二	店員月俸	一五圓以上	上等	上等	一六志	三志	二磅	一磅
三	店員准店員月俸	六圓以上	上等	中等	一四志	三志	九磅	二磅
四	店員准店員月俸及雇員	六圓未滿	中等	中等	一二志	三志	八磅	二磅

第四號表 D 南北亞米利加旅費

級	區	別	汽車料	船舶料	日當	客舍料	移轉料限度	
							有妻一單身	有妻一單身
一	店員月俸	三〇圓以上	上等	上等	六弗	二弗	六弗	三弗
二	店員月俸	一五圓以上	上等	上等	六弗	二弗	七弗	三弗
三	店員准店員月俸	六圓以上	上等	中等	六弗	二弗	六弗	三弗
四	店員准店員月俸及雇員	六圓未滿	中等	中等	六弗	二弗	五弗	三弗

第五號表 轉勤支度料表

級	區	別	A 東洋		B 印度南洋		C 歐洲及濠洲		D 南北亞米利加	
			有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身	有妻一單身
一	店員月俸	三〇圓以上	三圓	三圓	三圓	三圓	三圓	三圓	三圓	三圓
二	店員月俸	一五圓以上	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓	二圓
三	店員准店員月俸	六圓以上	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
四	店員准店員月俸	六圓以上	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
五	店員准店員月俸	六圓未滿	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓

附記 一 本表ノA乃至D欄ノ金額ハ本邦ヨリ當該區域ニ至ル轉勤支度料ヲ示ス
 二 本表ニ指示セザル地點間又ハ各區域内轉勤ノ場合ハ支度料ヲ支給セズ
 三 本表中磅又ハ弗ニテ定メタル金額ハ着任地ニテ支給ス

附 則

汽船々室ノ等級ハ特別室ヲ除キ以下同一等級ガ數種ニ區分セラレ居ル場合ハ規程ニ於ケル該當等級ノ第一位ヲ以テ區分等級ノ第一級トシ其ノ第二位以下ハ順次遞下スルモノトス但シ該當等級ノ無キ場合ハ一級ヲ繰上グ

用務ノ種類又ハ特別ノ事由ニ依リ所定ノ汽船等級ニ據リ難キトキハ別段ノ取扱ヲ爲スコトアルベシ

(例)上海航路ニ於ケル長崎丸及上海丸ニ於テハ該當規程級別一級ハ一等二入室二級ハ同二入室三級ハ同五入室トス(該當等級無キニ付一級ヲ繰上グ)

◎日額旅費規程

(大正十二年四月一日附一般各所主任宛通知大正十四年一月一日一部改正)

- 第一條 工事係職員ニシテ土木建築其他ノ工事ニ關シ現場勤務ノ爲メ一定ノ地區ニ滞在ノ目的ヲ以テ出張スルトキハ第二條ノ期間中一般旅費規程ニ依ル日當宿泊料ヲ支給セズ本規程ニ依リ日額旅費ヲ支給ス但シ用務上必要ナル車馬賃及其ノ他ノ費用ハ別ニ其ノ實費ヲ支給ス
- 第二條 日額旅費ハ最初着任後八日目ヨリ用務了リ出發ノ前日迄支給スルモノトス
- 第三條 滞在中更ニ他ニ出張スル場合ハ一般旅費規程ニ依ル但シ滞在地ニ歸來シタル場合ニ於ケル前條ノ期間ニ付テハ前後相連續スルモノトス
- 第四條 滞在地ニ店用又ハ之ニ類スル宿舍及食事ノ設備アルトキハ特別ノ事由ナキニ限り其ノ宿舍及食事ヲ受用スベキモノトス
- 第五條 同一地區内ノ滞在六箇月以上ニ亘ル豫定ヲ以テスル出張ハ轉勤又ハ助勤ノ取扱ヲ爲スコトアルベシ此ノ場合第六條現場手當ノ規定ヲ準用スルコトヲ得
- 第六條 現場員トシテ神戸又ハ其ノ附近ノ工事ニ終日従事スル場合ハ現場手當トシテ一日金五拾錢ヲ支給ス但シ用務上現場ノ附近ニ宿泊ヲ要スル場合ハ日額旅費ヲ支給スルコトヲ得

第七條 本規程ニ定メナキ事項ニ付テハ一般旅費規程ヲ準用ス

日 額 旅 費

等 級	宿 舍 及 食 事	宿 舍 及 食 事	宿 舍 及 食 事
	辦セシムル場合	ヲ給スル場合	ヲ給スル場合
店員准店員月俸一五〇圓以上	四 圓	三 圓	二 圓
店員准店員月俸六〇〇圓以上 雇員月俸一〇〇〇圓以上	三 圓	二圓三十錢	一圓五十錢
店員准店員月俸六〇〇圓未滿 雇員月俸一〇〇〇圓未滿	二圓五十錢	一圓八十錢	一 圓

滞在地ガ都市以外ノ村落ナルトキハ日額旅費ハ四分ノ三トス

◎旅費規程實施ニ關スル注意ノ件

(大正十年一月六日及同六月廿日附一般宛通知)

- 旅費規程實施上左ノ諸項特ニ御注意相願度此段得貴意候也
- 一 鐵道賃及汽船賃ハ所定ノ等級以外ノ等級ニ乗リタル場合ニ於テモ支給額ハ所定ノ等級賃金ニ依ルコト

但シ航路又ハ線路ニ依リ當該等級ノ客室又ハ客車無ク其ノ上級又ハ下級ノ船車ニ乗ルノ外ナキ場合ニ於ケル支給額ハ其ノ乘リタル等級ノ賃金トス

二 汽車ノ外ニ電車ノ便アル地點間ハ差支ナキ限り電車便ニ依ルコト

三 長途ノ旅行ニ於テ特種ノ通シ切符又ハ巡回船車券ガ頗ル便利ニシテ且低額ナル場合多キニ付是等ヲ有利ニ使用スルコト (昭和二年三月一日追加)

四 日歸旅行ヲ實費トシタルハ近距離ニ於テハ成ルベク旅費ヲ少カラシメ敏速ニ事務ヲ處理セシムル趣旨ナルヲ以テ縱令用務ガ一日ニテ終了セザル場合ニテモ日々往復シ止ムヲ得ザル事由アル場合ノ外宿泊ハ容易ニ承認セザルコト

五 旅行中店務ニ依ル通信費接待費ハ旅費以外ニ請求シ得ベキコト勿論ナルモ其ノ地職員ニ對スル響應費ノ如キハ本人ノ自辨タルコト

六 長期間出張先ニ駐在ヲ要スル者又ハ事業所營業所ニ出張勤務スル者ニ對シテハ當該地方ニ於ケル店用寮舎ニ入ラシムル等適宜其ノ居住方法ヲ指示シ滞在旅費ヲ成ルベク少カラシムルコト

七 地方ノ狀況ニ依リ或ル區域ノ出張ニ限り特ニ本規程ニ依ラザルヲ適當ト認メラル、トキ又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ別段ノ規定ニ依ル必要アルトキハ本社ノ承認ヲ經テ特別ノ取扱ヲ爲スコト

八 三日以上ニ亘ル旅行ヲ爲ストキハ成ルベク別式様式(様式省略)ニ依リ主任者ニ對シ旅行日報ヲ送付スルコト

旅行日報ハ之ヲ以テ復命ニ代フルコトヲ得

九 轉勤ノ場合ノ日當ハ旅行ニ要スル實際ノ日數ニ依リ計算スベキ義ナルニ往々哩數又ハ海里數ニ依リ最大限日數ヲ以テ支給スル向アリ必ズ限度内實際日數ニ依ルベキコト

(例) 青島又ハ上海ヨリ神戸ニ轉勤スルトキハ通常汽船ニテ三日乃至五日ヲ要スルヲ以テ日當ハ其

ノ實際日數分ヲ支給スベキ等ナルニ海里數ニ依リ最大限ノ九日分ヲ支給スルガ如キハ適當ナラザルコト

十 水路旅行ノ日當ハ内國旅費規程第四條第二項ニ依リ普通日當ノ四分ノ三ニ改正セラレ外國旅行ニ對シテモ之ヲ準用スベキ義ナルニ往々全額ヲ支給セラル、向アリ必ズ四分ノ三ヲ支給セラルベキコト

十一 移轉料ハ規定ノ限度内ニ於テ實費ヲ支給スベキ義ナルニ往々最大限ノ額ヲ其ノ儘支給スル向アリ實際ノ費用ヲ取調ベ必ズ限度内實費ヲ支給セラルベキコト

十二 旅費額ヲ異ニスル地ニ轉勤スル場合ノ着後手當ハ到着地ニ關スル規定ニ依リ支給スベキ義ナルニ往々舊勤務地ノ規定ニ依リ支給セラル、向アリ尙着後手當支給日數モ外國五日內國三日以內ノ範圍ニ於テ成ルベク實際旅館等ニ宿泊シタル日數ニ依リ支給セラルベキコト

(例) 東洋方面ヨリ内國(轉勤スル場合着後手當ヲ東洋方面ノ規定ニ依リ日當及客舎料ノ各五日分ヲ假渡セラル、向アリ右ノ場合ハ内國ノ規定ニ依リ日當宿泊料ノ三分以內ヲ支給セラルベキコト)

十三 旅行ハ順路ニ依リ成ルベク短時日ニ到着シ且旅費額少キ路ヲ選ブベキ義ニ付自己ノ都合ニ依リ迂路ヲ取リタルトキハ順路ニ依リ精算セシメラルベキコト

(例) 青島又ハ大連ヨリ本邦ニ旅行スル場合自己ノ都合ニ依リ陸路奉天京城ヲ經テ歸朝スルガ如キ場合ハ旅費ハ陸路ニ依ラズ水路ニ依リ支給セラルベキコト)

十四 旅費概算假渡額ハ成ルベク概算總額ノ七掛若ハ八掛位ヲ支給セラレ度獨身者ニ對スル荷物運賃又ハ着後手當ハ實際少額ニテ足ル場合又ハ全ク之ヲ要セザル場合有之候間假渡ノ際ハ成ルベク概算中ニ之ヲ算入セズ精算ノ際實際ヲ取調ベ支給セラルベキコト

十五 傭人ノ旅費ハ下級雇員ノ旅費ノ十分ノ八ノ見當ニ支給セラルベキコト

◎内地外在勤者^{豫備員又ハ店務休職或ハ退職ト爲リタル場合}歸朝旅費支給方ノ件

(大正十三年九月廿五日關係各所主任宛通知)

内地外(臺灣朝鮮及外國)各所在勤者ガ在勤地ニ於テ豫備員又ハ店務ノ都合ニ因リ休職或ハ退職ト爲リタル場合其ノ歸朝旅費ニ付テハ從來取扱方區々ニ亘リ居リ候處今回左ノ通決定相成候間御了承被下度此段御通知申上候也

追テ内地陸後ノ旅費及着後手當等ハ内地及北海道在勤者ガ此ノ種ノ場合旅費ヲ給セラレザル權衡上海外在勤者ニモ之ヲ支給セラレザル義ニ有之爲念申添候

記

- 一 臺灣朝鮮及外國ニ在勤スル店員ニシテ豫備員又ハ店務ノ都合ニ因リ休職或ハ退職ト爲リタル場合休職期間中又ハ退職後一箇月以内ニ在勤地ヲ引揚ゲ歸朝スルトキハ歸朝旅費トシテ直路ニ依リ出發ノ日ヨリ本邦着港ノ日迄本人現職中ノ身分ニ應ジ本人及同棲ノ父母妻子ニ對シ旅費規程ニ依ル轉勤旅費ヲ支給ス
- 二 在勤中死亡セシ者ト同棲シタル父母妻子ニシテ三箇月以内ニ出發歸朝スル場合亦前項ニ同ジ
- 三 准店員及雇員ニシテ本邦ヨリ轉勤シタル者ニ付テハ特ニ前條ニ準ジ歸朝旅費ヲ支給スルコトヲ得
- 三 歸朝旅費ハ最終在勤所ノ負擔トス

◎内地外在勤者結婚ノ場合路費及支度料支給ノ件

(大正九年四月五日關係各所主任宛通知)

職員結婚ノ爲メ往復シタル旅費及結婚後夫人ヲ勤務地ニ同伴シ又ハ呼寄せタル場合ノ夫人ノ旅費支度料ハ從來總テ支給セザル方針ニ有之候處今回内地外在勤者ニ對シテハ特ニ左記ニ依リ給與セララル、コトニ決定致候間御了知被下度此段御通知申上候也

- 一 追テ本件ハ其ノ地方ノ土著人タル職員ニ對シテハ適用セラレザル趣旨ニ有之候間御了知被下度申添候
- 一 内地外在勤職員結婚ノ爲メ内地其ノ他へ往復スルトキ其ノ旅費ハ自辨タルヲ原則トス
- 二 内地外在勤職員内地其ノ他ニ於テ結婚シ勤務地へ夫人ヲ同伴スルトキ又ハ後日夫人ヲ勤務地へ呼寄せルトキハ夫人ニ對シ旅費規程ニ依ル旅費及支度料ヲ支給ス、内地外ノ某地又ハ勤務地へ結婚ノ目的ヲ以テ呼寄せ結婚シタルトキ其ノ夫人結婚前ノ旅費及支度料ニ付テモ亦同ジ
- 三 前項夫人ノ旅費ハ結婚後直ニ夫人ヲ勤務地ニ同伴スル場合ハ結婚地ヨリ勤務地迄ノ路程ニ依リ結婚後夫人ヲ内地其ノ他ニ殘シ置キ後日呼寄せタル場合ハ其ノ居住地ヨリ勤務地迄ノ路程ニ依リ支給ス但シ右結婚地又ハ居住地ヨリノ旅費額ガ本店所在地ヨリノ旅費額ニ比シ多キトキハ本店ヨリノ旅費額ニ止ム内地外ノ某地又ハ勤務地へ呼寄せ結婚シタル場合ハ特ニ其ノ夫人ノ前居住地ヨリノ旅費ヲ支給ス但シ其ノ旅費額ガ本店所在地ヨリノ旅費額ニ比シ多キトキハ本店ヨリノ旅費額ニ止ム

○株式鈴木商店船舶課出張旅費特例

(大正十一年四月廿四日定昭和二年三月二日一部改正)

- 一 船舶課職員ニシテ貨物ノ積入陸揚集散ノ實況視察ノ目的ヲ以テ取扱ノ船舶ニ通計三日以上便乗シ旅行スル場合ハ旅費規程ヲ適用セズ但シ寄港地ニ於テ必要上陸上ニ宿泊シ又ハ陸上旅行ヲ爲ストキハ一般旅費規程ニ據ルモノトス
 - 二 前項ノ職員ニハ乗船手當トシテ月額月俸ノ三割(圓位未滿切捨)ヲ支給ス但シ三割ガ二十圓ニ達セザルモノハ二十圓トシ五十圓ヲ超ユルモノハ五十圓ニ止ム
- 乗船日數ガ通計二十一日以内ノ場合ハ月額ノ十分ノ七同シク十四日以内ノ場合ハ月額ノ十分ノ五同シク七日以内ノ場合ハ月額ノ十分ノ三トス

○株式鈴木商店下關支店管内出張旅費特例

(大正十年十一月十五日定)

- 一 下關支店及所管各所職員店務ニ依リ支店管内ヲ旅行スルトキハ左表ニ依リ旅費ヲ支給ス

級	區	別	鐵道	汽船	日當	宿泊料
特	店員月俸	四五〇圓以上	二 等	一 等	四 圓	九 圓
一	店員月俸	三〇〇圓以上	二 等	一 等	四 圓	八 圓
二	店員准店員月俸	一五〇圓以上	二 等	二〇圓以上 一五〇圓以上 一 等	三 圓	七 圓
三	店員准店員月俸	一〇〇圓以上	二 等	二 等	三 圓	六 圓
四	店員准店員月俸	五〇圓以上	三 等	二 等	二 圓	五 圓
五	店員准店員月俸	三〇圓未滿	三 等	三 等	一 圓	四 圓

店用ノ寮舎ニ宿泊シ店給ノ食事ヲ受ケタルトキハ宿泊料ヲ支給セズ

- 二 前項以外ノ取扱方ハ總テ内國旅費規程ニ依ル

○株式鈴木商店小樽支店管内出張旅費特例

(大正十年十一月十五日定)

- 一 小樽支店管内出張旅費ハ左表ニ依リ之ヲ支給ス

級	區	別	鐵道	汽船	日當	宿泊料
特	店員月俸	四五〇圓以上	二 等	一 等	六 圓	七 圓
一	店員月俸	三〇〇圓以上	二 等	一 等	五 圓	七 圓
二	店員准店員月俸	一五〇圓以上	二 等	二 等 <small>二〇〇圓以上 一五〇圓以上</small>	四 圓	六 圓
三	店員准店員月俸	六〇圓以上	二 等	二 等	三 圓	五 圓
四	店員准店員月俸	一〇〇圓以上	三 等	二 等	二 圓	五 圓
五	店員准店員月俸	三〇圓以上	三 等	三 等	一 圓	四 圓
	店員准店員月俸	三〇圓未滿	三 等	三 等	一 圓	四 圓
	店員准店員月俸	五〇圓未滿	三 等	三 等	一 圓	四 圓
	店員准店員月俸	三〇圓未滿	三 等	三 等	一 圓	四 圓
	店員准店員月俸	五〇圓未滿	三 等	三 等	一 圓	四 圓

一 札幌出張往復旅費ハ二級以上參圓三級以下貳圓ノ打切り支給トス
二 前項以外ノ取扱方ハ總テ内國旅費規程ニ依ル

○^{株式}鈴木商店紐育支店旅費特例

(大正十二年二月十六日定)

一 紐育支店員ニシテ米國內出張ノ場合ノ日當客舍料ハ左表ニ依リ支給ス

區	別	日當	客舍料
店員月俸	三百圓以上	六弗	九弗
店員准店員月俸	六十圓以上	五弗	九弗
店員月俸	六十圓未滿及雇員	四弗	七弗

○南朝鮮製紙株式會社内國旅費規程特例

(大正十一年一月十八日定)

- 第一條 本社在勤職員ニシテ釜山府、東萊、金海兩郡管内へ出張スル者及黃海道出張所在勤職員ニシテ平安南道鎮南浦府、龍岡郡黃海道安岳、截寧、鳳山、信川郡管内へ出張スル者ノ旅費ハ總テ實費支拂トス
- 第二條 本社在勤職員ニシテ黃海道出張所ニ轉勤ヲ命ゼラレタル者及黃海道出張所在勤職員ニシテ歸任ヲ命ゼラレタル者ノ旅費ハ内國旅費規程ニ依ル轉勤旅費ヲ支給スルモノトス
- 第三條 本社在勤職員ニシテ黃海道出張所ニ出張シタルトキ又ハ黃海道出張所在勤職員ニシテ本社ニ出張シタルトキハ其ノ滞在中寮舎ニ宿泊スルモノトス
- 第四條 内國旅費規程別表附記第二號ノ都市トハ道府郡廳所在地ヲ謂ヒ村落トハ同所在地外ノ地域ヲ謂フ
- 第五條 食事ノ給與ナキ汽船ニ依リ旅行シタルトキハ日當ノ四分ノ三及宿泊料ノ三分ノ一ヲ支給ス
- 第六條 傭員ノ旅費ハ雇員旅費ノ十分ノ八鐵道、汽船賃共各三等トス
- 第七條 内地人職工ノ旅費ハ雇員ノ十分六以内ニテ實費支拂トシ鐵道、汽船賃共各三等トス

移轉ノ場合ニ於ケル家族ノ日當及四歳未満ノ者ノ汽車汽船賃ハ之ヲ支給セズ

第八條 内地人職工ニシテ工場所在地外ニ於テ募集ニ應ジタル者ハ應募地ヨリ工場迄ノ旅費及解雇者ニ對シテハ懲戒又ハ自己ノ都合ニ依リ退職スル者ヲ除ク外募集地迄ノ歸郷旅費ヲ支給ス但シ自己ノ不品行又ハ不攝生ニ因ル以外ノ疾病ニ罹リ工場ノ指定スル醫師ノ證明アリタル者モ亦歸郷旅費ノ支給ヲ爲スコトアルベシ

第九條 旅費ノ實費支拂ヲ爲ス場合ニ於テモ五日以内ニ旅費精算ヲ爲スベシ日歸リ旅行ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第三章 雜 給

◎食事店給ニ關スル件

(大正十五年六月廿五日附一般各所主任宛總務部通知)

本社及分身會社在勤職員ニ對スル食事店給ノ制度ハ特殊ノ店風ニ基ク一種ノ優遇施設ナルコト御承知ノ通ニ候處近時其ノ支給方法ガ各所ニ於ケル當面ノ便宜ニ依リ區々ニ變更セラレ尙其ノ費額モ高低一ナラズ自然場所ニ依リ待遇ニ厚薄ヲ見ルニ至リ甚ダ妙ナラザルニ付此際其ノ支給方法ヲ別紙ノ通り決定致候間御了承自今之ニ依リ御實行相成度萬一差當リ本規定ニ依リ實施スルコト困難ナル向ハ其ノ事情ヲ詳具シ本社ノ

承認ヲ得ラレ度候尙食事ハ店給制度本來ノ趣旨ニ依リ現品給與ヲ原則トシ少クモ晝食ニ付テハ特別ノ事由ナキ限り現品ヲ以テシ一面各人ノ浪費ヲ防グト共ニ外出シテ食事ヲ爲スコトニ因ル執務時間ノ空費ヲ止ムル様御考慮相煩度候右御通知旁々得貴意候也

追テ本規定ノ實施ニ依リ三食又ハ朝夕食ニ對シ手當ヲ支給セル箇所ニ於テハ有妻者ノ手當ガ多少減少スルコトニ相成ルベキ向アランモ有妻者ハ獨身者ニ比シ別途優遇ヲ受クルノミナラズ現品給與ノ箇所ニ於テハ事實上其ノ大部分ハ晝食ノミヲ受クル状態ニ付此等トノ權衡ヲモ御考慮ノ上所定通御勵行相成度候尙食事現品給與ノ箇所ニ於テ朝夕食ノ時限ハ事業ノ種類其ノ他ニ依リ一定ナルヲ得ザルベキモ大體商事方面ニ在リテハ左記神戸本店ノ例ニ依リ工業方面ニ在リテハ右朝食ノ時限ヲ約三十分以上適宜繰上グル様御取計相成度候

自四月一日至十月卅一日

自十一月一日至三月卅一日

朝食 自七時 至八時卅分

自七時卅分 至八時五十分

夕食 自五時卅分 至六時卅分

自五時卅分 至六時卅分

食事店給ニ關スル件

- 一 本社及分身會社ニ於テハ職員ニ食事ヲ店給ス但シ特別ノ定メアル箇所ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 二 食事ハ原則トシテ直營賄ノ方法ニ依リ其ノ費用ハ當分炊事夫給料ヲ除ク一切ノ直接間接費ヲ合セ左ノ限度ニ依ルモノトス

本限度ヲ超過シタル費額ハ各人ノ自辨トス

所屬職員一箇月一人當リ

朝食二圓以内 晝食六圓以内

夕食四圓以内

計十二圓以内

支那各地ハ單位ヲ銀圓トス

所屬職員（二社以上共同炊事ノ場合ハ其ノ合計員數ニ依ル）二百名未滿ノ箇所ハ左ノ區別ニ依リ其ノ限度ヲ増加スルコトヲ得尙職員ノ一部ニ對シ現品ヲ以テ給與スル場合ニ於テモ當該炊事費ニ付テハ其ノ人員ニ依リ本項ノ増加限度ニ據ルコトヲ得

- 二百名未滿 一割増 百名未滿 二割増
- 五十名未滿 三割増 十五名未滿 四割増

浦鹽、哈爾濱、香港ハ更ニ其ノ限度ヲ前項ノ二割増ト爲スコトヲ得
 三 少人数ナル場合又ハ特別ノ事由ニ依リ現品給與ノ困難ナル場合ハ三食共又ハ朝夕食ノ現品給與ヲ廢スルコトヲ得此ノ場合左記金額ヲ限度トシ炊事手當ヲ支給ス

- 獨身者 有妻者
- 三食共自辨セシムル場合 一箇月十八圓 同 十二圓 支那各地ハ單位ヲ銀圓トス
- 朝夕食ヲ自辨セシムル場合 一箇月 九圓 同 六圓

浦鹽、哈爾濱、香港ハ其ノ限度ヲ二割増ト爲スコトヲ得
 獨身待遇ヲ受クル有妻者ハ獨身者ノ例ニ依リ女子職員ハ有妻者ノ例ニ依ルモノトス

四 食事店給ノ趣旨ハ素ヨリ報酬的ニ非ザルヲ以テ自己ノ便宜ニ依ル場合ハ勿論勤務ノ都合ニ依リ店給ノ食事ヲ爲サザル場合ト雖モ別ニ之ニ代ルベキ費用ヲ支給ヲ爲サザルモノトス尙食事手當ヲ受クル者ニシテ一箇月内ニ出張及缺勤通計十日以上ニ及ビタルトキハ十日毎ニ其ノ月額ノ三分ノ一宛ヲ減ズルモノトス

五 引慰勞休暇兵役ニ關スル應召ハ缺勤トシテ取扱フモノトス缺勤ニ介在連續スル休日ニ付テモ亦同シ獨身職員ノ病氣缺勤ニ付テハ事情ニ依リ本項ニ依ラザルコトヲ得

備八（各所限リノ使用人）ニハ食事又ハ食事手當ヲ給セザルヲ以テ原則トス但シ炊事ノ設備アル個所

ニ於テハ必要ニ依リ特ニ食事ヲ給スルコトヲ得
 食事 費 限 度 表

	朝	晝	夕	合計	
二百名以上	二、〇〇	六、〇〇	四、〇〇	一二、〇〇	
二百名未滿	二、二〇	六、六〇	四、四〇	一三、二〇	一割増
百名未滿	二、四〇	七、二〇	四、八〇	一四、四〇	二割増
五十名未滿	二、六〇	七、八〇	五、二〇	一五、六〇	三割増
十五名未滿	二、八〇	八、四〇	五、六〇	一六、八〇	四割増

第八編 諸報告 人事通知

◎動靜報告ノ件

(大正六年十月一日附一般宛通知)

事業所營業所職員其ノ他ノ動靜ニ關シテハ從來各所ヨリ時々報告ニ接シ居リ候處御報告機宜ヲ失シ又ハ其ノ事項區々ニ相成リ尙新設ノ個所ニ在リテハ往々御報告ナキ向モ有之遺憾ニ存候ニ就テハ今後前記ノ事項ニ關シテハ其ノ概要ヲ事件發生ノ都度御報告被成下候様願度此段得貴意候也
追テ前記事項中非常事件及職員死亡等ニ付テハ不取敢電信ニテ御報告成下度尙本件ニ付テハ時々問合催促若ハ報告事項ノ増減等擔任者トノ直接御打合セテ便トスル場合モ可有之ニ付之ガ擔任者ヲ定メ置キ成下度擔任者ヲシテ書面ノ欄外等ニ捺印ヲセシムルガ如キハ最便利ノ方法カト存候爲念申添候

動靜報告ノ件

一 事務所營業所ニ係ル事項

事業所營業所ノ開始移轉閉鎖等

工事ノ開始竣成等

事業ノ開始休止等

進水式慰安會追弔會等

風水害火災震災其ノ他非常事項

二 職員ニ係ル事項

發着(新採用者、轉勤者、轉地療養者ノ發着、二週間以上ニ亘ル出張者ノ發着)

- 公共團體其ノ他ノ名譽職又ハ社外ノ囑託トシテ就任ノ場合
結婚（配偶者名年齢本籍戸主名及其ノ續柄舉式月日並場所）
兵事（入營退營一年志願兵志願勤務演習應召等）
出産（月日男女及初子次子ノ別等）
父母妻子死亡（月日父母ニ在リテハ養實ノ別子ニ在リテハ男女及其ノ次順）
罹災（火災風水害其ノ他罹災ノ場合其ノ狀況被害ノ程度等）
病狀（公傷病者アリタルトキ及平病者ノ重態ト爲リタルトキ）
本人死亡（直ニ日時及病狀ヲ電報シ次デ病狀遺族ノ有無其ノ所在地在勤中ノ功績等ヲ詳報ノコト）
三 勞役者ニ係ル事項
職工坑夫傭人ノ重態ナル公傷病及公傷病ニ因ル死亡等
動靜報告ハ鈴木商店各所ニ在リテハ本店人事課ヘ其ノ他ノ分身會社ニ在リテハ所屬本社ヲ經テ本社總務部
ヘ送付スルコト尙濟美會及本家ヨリノ慶弔ニ關スル事項ハ本報告ニ便宜其ノ旨附記スルニ止メラレ差支ナ
シ（大正十四年六月一日改正）

◎職員勤務報告ニ關スル件

（大正六年七月二日附一般各所宛通知）

職員勤務報告ハ各所在勤職員ノ動靜ヲ知ル一資料トシテ御送付ヲ煩シ居リ候次第ニ候處今回其ノ様式ヲ一
部改正（様式省略）左記ニ依リ御取計御願申度此段得貴意候也

- 一 其月中ニ起リタル轉勤休職退店其ノ他ノ事故者ハ一應本報告ニ記載シ摘要欄ニ其ノ事由ヲ記入シ置ク
コト
 - 二 其ノ月中ニ職掌ノ異動シタルモノ及新轉入者ノ所屬決定シタルモノハ必ズ職掌欄ニ「何日何部何係
ヘ」ト記入ノコト
 - 三 月末現在ノ傭人員數ヲ給仕現場補助雜役等其ノ使途ニ依リ適宜大別シテ各其ノ員數ヲ最下欄ニ記入ノ
コト
 - 四 病氣歸國入院等ノ場合ハ其ノ旨長期缺勤ノ場合ハ其ノ事由摘要欄ニ記入ノコト
 - 五 本報告ハ毎月七日迄ニ（海外ハ可成早ク）到着スル機發送セラレタキコト
- 尙本報告ハ鈴木商店各所ニ在リテハ本店人事課ヘ其ノ他ノ分身會社ニ在リテハ所屬本社ヲ經テ本社總務部
ヘ送付スルコト（大正十四年六月一日改正）

◎人事通知ニ關スル件

（大正六年十月一般宛人事通知）

- 一 人事通知ハ職制例規通牒及各營業所及事業所並職員ノ動靜ヲ報道スル爲メ本社直系事業所及分身會社
等ニ配付スルモノナルコト
- 二 本通知ハ外部ノ人ニ示シ又ハ交付セザル様注意セラレタキコト
- 三 本通知ハ職員ニ回覽ノ上逐號編綴保存セラレ散逸セザル様取計ハレタキコト

四 本通知ニ關スル事務ハ本社總務部ニ於テ取扱フコト (大正十四年六月一日改正)

◎人事通知ヲ秘密扱トシテ注意スベキ件

(大正七年二月六日附一般宛通知)

人事通知ノ儀ハ御承知ノ通單ニ職員ノ異動ノミナラズ本社及各所ノ近事等登載致居候コトニ付外部ニ對シテハ素ヨリ秘密扱トシテ職員各位ノミノ御回覽ニ止メラレ度存意ニ候處往々之ヲ「カウソター」其ノ他外部ノ人ノ目ニ觸ルベキ場所ニ放置セラル、向ナキニアラザル哉ノ聞エ有之遺憾ニ存候斯クテハ折角ノ通知モ或ハ之ヲ廢止スルノ已ムヲ得ザルニ至ルヤモ測ラレズト存候間將來ハ右様ノ事決シテ無之様御留意被下度爲念此段得貴意候也

第九編 諸 會

◎在郷軍人會分會組織方ノ件

(大正八年一月八日附各工場宛支那人通知)

比較的多數ノ人員ヲ使用セル工場ニ於テ帝國在郷軍人會分會ヲ組織スルノ有効ニシテ利便尠カラザルコトハ本店及彦島製鍊所ニ於ケル實例ニ徴シテ明カナル所ニ有之即チ其ノ効果ハ廣ク在郷軍人以外ノ職員及職工ニモ及ビ自ラ善良ナル風尚ヲ扶殖シ延イテ工場ノ生産能率ヲモ高メシムルニ至ルベキハ信ジテ疑ハザル所ニ御座候就テハ貴工場ニ在リテモ職員及職工中相當員數ノ在郷軍人有之候ハ、早速之ガ組織ニ着手セラレ候様致度不堪希望候尤モ組織ノ順序及成立後ノ事業方法等ニ就テハ御都合ニ依リ本店ヨリ關係職員出張打合ヲ爲サシメ可申又彦島分會及本店分會ニ於テモ夫々御必要ニ應ジ相當御便宜相圖リ可申答ニ有之御合置相成度右得貴意候也

◎鈴木合名會社濟美會々則

(大正八年一月定同九年一月同十五年二月改正)

第一章 總 則

第一條 本會ハ鈴木合名會社ノ保護監督ノ下ニ鈴木合名會社及其分身會社ノ職員ヲ以テ組織シ鈴木合名會社濟美會ト稱ス

第二條 本會之目的左ノ如シ

- 一 會員ノ親睦ヲ圖リ其ノ吉凶ヲ慶弔スルコト
 - 二 會員ノ修養ヲ助ケ健康ヲ進メ福祉ヲ増サンガ爲メニ相當ノ盡力ヲ爲スコト
- 本會ハ鈴木家ニ對シ及鈴木家又ハ鈴木合名會社ニ特別ノ緣故アル人ニ對シ慶弔ノ意ヲ表スルコトアルベシ又外部ニ對シ慈惠行爲ヲ爲スコトアルベシ

第二章 會 員

第三條 鈴木合名會社及其分身會社ノ職員ハ入店ノ日ヨリ當然本會ニ加入シ會員ト爲ルモノトス

第四條 會員ハ退店又ハ死亡ノ場合ニ限り本會ヲ脱退ス

第五條 會員ハ會費トシテ加入ノ翌月ヨリ脱退ノ月迄毎月左ノ金額ヲ本會ニ納ムベシ但シ休職者タル會員ノ會費ニ付テハ細則ノ定ムル所ニ依ル

- 月俸四百圓以上 月俸ノ千分ノ八
- 月俸二百五十圓以上四百圓未滿 月俸ノ千分ノ七
- 月俸百五十圓以上二百五十圓未滿 月俸ノ千分ノ六
- 月俸七十五圓以上百五十圓未滿 月俸ノ千分ノ五
- 月俸七十五圓未滿 月俸ノ千分ノ四

第六條 會費ハ毎年六月及十二月ニ於テ支給ノ俸給中ヨリ其ノ半季分ヲ引去リ徵收スルモ脱退ノ場合ハ其ノ際未收額ヲ徵收ス

前項ノ徵收額ハ圓位未滿ニ付テハ二十五錢未滿ヲ切捨テ二十五錢以上七十五錢未滿ヲ五十錢トシ七十五錢以上ヲ一圓ニ繰上グルモノトス

第三章 事 業

第七條 第二十條ノ目的ヲ達スル爲メ毎年度ノ初メニ事業豫算ヲ編成シ之ヲ各所ニ配當ス

第八條 會員結婚スルトキハ祝儀トシテ初婚ニ付テハ金參拾圓再婚ニ付テハ金貳拾圓ヲ贈與ス

第九條 會員ニ出產アリタルトキハ祝儀トシテ初子ニ付テハ金貳拾圓其ノ他ハ金拾圓ヲ贈與ス

第十條 會員現役兵又ハ志願兵トシテ一年以上入營、入團スルトキハ餞別トシテ左ノ金額ヲ贈與ス

- 現役兵二年以上 金拾五圓
- 一年志願ノ者 金拾圓

第十一條 會員戰時事變ニ際シテ充員召集ニ應ジ入營入團スルトキハ餞別トシテ金貳拾五圓ヲ贈與ス

第十二條 會員ノ嗣子初メテ結婚スルトキハ祝儀トシテ金參拾圓ヲ贈與ス

第十三條 會員ノ父母、配偶者又ハ子死亡シタルトキハ香奠トシテ金參拾圓ヲ贈與ス但シ見習員タル會員ノ父母ニ付テハ金貳拾圓トス

第十四條 會員不慮ノ災害ニ罹リタルトキ又ハ長期病傷ノ場合ハ見舞トシテ相當ノ金品ヲ贈與スルコトアルベシ

第十五條 會員死亡シタルトキハ祭祀料トシテ金百圓ヲ贈與ス

第十六條 前各條ノ贈與金ハ本會名義ノ外適宜本人勤務所在勤會員等ノ名義ニ分チテ之ヲ贈與スルコトアルベシ又贈與金額ノ一部若クハ全部ヲ相當ノ物品ニ代ヘ之ヲ贈與スルコトアルベシ

第十七條、第十五條ノ贈與金ハ事情ニ依リ所定金額ヲ増減スルコトアルベシ

第十八條 休職者タル會員ニシテ會費ヲ納メザル者ニ對シテハ本章ノ贈與ハ之ヲ止メ又ハ其ノ金額ヲ減ズルコトアルベシ

第十九條 本會ニ於テ前各條ノ慶弔ヲ爲ス場合ハ會員ハ各自金品ノ贈與ヲ爲サザルモノトス

本會ヨリ慶弔ヲ受ケタル者ハ會員各自ニ對シ金品ヲ以テ返禮ヲ爲サザルモノトス

本會ヨリ慶弔ヲ受ケタル者ハ會員各自ニ對シ金品ヲ以テ返禮ヲ爲サザルモノトス

第十九條 本會ハ時々會員ノ動靜、慶弔事項等ヲ掲ゲタル會報ヲ發行シテ會員ノ勤務所ニ配付ス

第二十條 本會ハ會員ノ爲メニ讀書、修養、運動等ニ關スル設備ヲ爲シ又ハ時々講話會、運動會演藝會等ヲ開催シ若クハ是等ノ費用ヲ補助スルコトアルベシ

第二十一條 本會ハ時宜ニ依リ第二條ノ目的ノ範圍内ニ於テ本章ニ掲ゲザル行爲ト雖モ之ヲ爲スコトアルベシ

第四章 機關

第二十二條 本會ニ會長、副會長各一名及評議員若干名ヲ置ク

第二十三條 會長及副會長ハ鈴木合名會社重役ニ選定ヲ請フ會長ハ本會ヲ代表シ鈴木合名會社ノ監督ノ下ニ會務ヲ統理シ副會長ハ會長ヲ佐ケ會長事故アルトキ之ヲ代理ス

第二十四條 評議員ハ會長ニ於テ鈴木合名會社重役ノ承認ヲ受ケ會員中ヨリ選任ス會長ノ諮問ニ應ジ重要事項ヲ審議ス

第二十五條 本會事業經營上必要アルトキハ幹事又ハ委員ヲ置クコトアルベシ

幹事又ハ委員ハ會長ニ於テ任期ヲ附シ會員中ヨリ指名ス會長又ハ各所主任者ノ指圖ヲ受ケ擔任事務ニ從事ス

第二十六條 本會ノ本部ニ屬スル事務ハ會長ノ指圖ノ下ニ鈴木合名會社總務部之ヲ取扱ヒ會員勤務所ニ屬スル事務ハ各主任者ノ責任ニ於テ其ノ指定スル係又ハ係員之ヲ取扱フ

第五章 會計

第二十七條 本會ノ事業年度ハ一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第二十八條 本會ハ鈴木合名會社ヨリ事業ノ資金トシテ必要ナル金額ヲ補助セラル、モノトス

第二十九條 本會ハ寄附ヲ受クハコトヲ得

第三十條 本會ノ資金ハ鈴木合名會社ニ預ケ入ル、モノトス

第三十一條 本會ノ資金ニ不足ヲ告グルトキハ鈴木合名會社ヨリ借入金ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 各所ニ於テハ第七條及第二十條ニ依リ其ノ年實施シタル事業ノ大要並之ガ經費ノ決算ヲ翌年一月廿日迄ニ本會本部ニ報告スルモノトス

第三十三條 本會ハ前條ノ報告ニ依リ全部ノ決算表ヲ作製シ鈴木合名會社重役ノ承認ヲ受ケ之ヲ會員ニ告知ス

第六章 雜 則

第三十四條 本會則ノ實施上必要ナル細則ハ會長之ヲ定ム

第三十五條 本會則ノ改正ニ付テハ會長ニ於テ評議員ノ同意ヲ經鈴木合名會社重役ノ承認ヲ受クベキモノトス

◎關係會社入社者ヲ準會員トスルノ件

(大正九年七月七日附關係各所宛濟美會通知)

從來本社及分身會社職員ニシテ關係會社ニ入社セラレタル向ハ關係會社勤務中其ノ身分休職トナルノミナラズ給與其ノ他ノ關係上該期間濟美會員トシテノ取扱ヲ爲サザルコトニ相成居候處右職員中往々會員タル

コトヲ希望セラル、向鈔カラズ仍テ今回設議ノ結果希望者ニ限り準會員トシテ取扱フコトニ決定致候ニ付左記事項御了知ノ上乍御手數貴社在勤ノ關係諸氏へ便宜御相談被下希望者有之候ハ、其ノ氏名御通知相煩シ度此段得貴意候也

左 記

- 一 準會員ニハ正會員同様慶弔金ヲ贈呈スルモ會則第七條ノ事業費ヲ分配セザルコト
- 二 會則第八條乃至第十四條ニ該當スル事實アリタルトキハ其ノ都度本人ヨリ通知セラレタキコト
- 三 第十五條ノ場合ハ便宜貴會社在勤ノ他ノ會員其ノ他ヨリ通知セラル、様取計ヒ置カレタキコト
- 四 會費(取扱細則九項参照)ハ六月、十二月ノ末日迄ニ本部宛送付セラレタキコト但シ内譯ヲ記シ數名分ヲ便宜取纏メ送付セラル、モ差支ナシ

◎濟美會慶弔及其ノ他ニ關スル取扱細則

(大正十五年二月一日改定)

- 一 男女ノ會員結婚シタル場合ノ祝儀ハ双方ニ贈與シ其ノ間ニ出產アリタル場合ノ祝儀ハ男會員ニノミ贈與ス
- 二 出產ノ子出生後四十八時間以内ニ死亡シタル場合ハ香奠ノミヲ贈與ス但シ既ニ出產祝儀贈與濟ナルトキハ香奠トノ差額ヲ香奠トシテ贈與スルモノトス

- 三 双子出產ノ場合ノ祝儀又ハ双子ガ同日死亡シタル場合ノ香奠ハ一人分ノミ贈與ス三子ナルトキ亦同ジ
- 四 親子ノ會員アリテ父ノ妻死亡シタル場合ノ香奠ハ父ノミニ贈與ス
- 五 兄弟二名以上ノ會員アリテ其ノ父若クハ母死亡シタル場合ノ香奠ハ左ノ順序ニ依リ其ノ中ノ一人ニ贈與ス

直接扶養シ居リタル會員

推定ノ法定家督相續人タル會員

年長者タル會員

- 六 會則第十四條ニ依リ災害見舞トシテ金品ノ贈與ヲ要スルトキハ災害ノ程度ヲ詳具シ本部ノ指圖ヲ受ク

- 七 同第十四條ニ依ル病傷見舞ハ缺勤加療一箇月以上ニ及ビタルトキ金拾圓ヲ限度トシ適宜見舞品ヲ贈與スルモノトス但シ爾後一箇年間ハ再贈與ヲ爲サズ

- 八 同第十七條ノ休職者ニ對スル贈與ハ左ノ場合ニ限ルモノトス但シ特別ノ事情アル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ(本人死亡ノ場合ノ外ハ鈴木本家ヨリ贈與ヲ爲サズ)

- (イ) 結 婚 (初婚ニ限ル) 金參拾圓
- (ロ) 子ノ出產 (初子ニ限ル) 金貳拾圓
- (ハ) 父母又ハ配偶者ノ死亡 金貳拾圓
- (ニ) 本人ノ死亡 金五拾圓

シトセヨス

- 九 關係會社在勤ノ休職々員ニシテ引續キ會費ヲ納ムル者ハ準會員トシテ正會員同様慶弔金ノ贈與ヲ爲ス但シ會則第七條ノ事業費ノ分配ハ之ヲ爲サズ
- 前項會員ノ會費ハ會則第五條ニ依リ算出シタル金額(月俸ハ休職トナリタル當時ノ本俸ニ因ルハシ大正

八年十二月迄ニ休職トナリタルモノハ休職當時ノ本俸ヲ三倍トシ爾後同十三年十二月迄ニ休職トナリタルモノハ同ジク本俸ノ一倍半トシタルモノニ因ルヲ毎年六月、十二月ノ二期ニ徴收ス

十 同第十四條ノ災害見舞及特ニ金額ヲ増減スル必要アル場合ヲ除キ他ハ全部各所ニ於テ立替ヘ時機ヲ失セズ贈與ノ上其ノ都度鈴木商店本店計算課經由振替ヘラルベシ

從來ノ取扱細則及通牒ハ之ヲ廢止ス
附 則

◎鈴木商店本店濟美會運動修養部規程

(大正九年四月一日定)

第一條 本部ハ鈴木商店濟美會運動修養部ト稱シ事務所ヲ鈴木商店本店内ニ置ク

第二條 本部ハ本店勤務ノ濟美會員ヲ以テ組織ス

第三條 本部ハ部員ノ親睦ヲ圖リ修養ヲ助ケ心身ヲ鍛鍊シ健康ノ増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 本部ヲ分チテ左ノ五部トス

一 總 務 部 二 修 養 部

三 戶外運動及武術部 四 室內運動部

五 水上運動部

第五條 各部ノ分掌スベキ事業概ネ左ノ如シ

總務部 一般ノ事務經理及各部ノ連絡統一並各部ニ屬セザル事務

修養部 部員ノ修養ヲ助クル爲メ時々講演會演藝會等ヲ催シ又文藝ノ趣味ヲ涵養スル爲メ必要ニ應ジ部

報ヲ發行シテ會員ニ別ツ等相當ノ盡力ヲ爲スコト

戶外運動及武術部 健康保全ヲ目的トスル戶外運動(擊劍、柔道、角力、庭球又ハ登山等)ノ爲メ相當

ノ施設ヲ爲スコト

室內運動部 健康ヲ進メ併セテ趣味娛樂(撞球、圍碁、謠曲ノ類等)ニ關シ相當ノ設備ヲ爲スコト

水上運動部 技能ノ練磨並健康保全ヲ目的トスル水上運動(水泳ボート等)ニ關シ相當盡力ヲ爲スコト

第六條 本店在勤ノ濟美會員ハ前條各部中二部以上ノ部員トナルコトヲ得但シ此ノ場合ハ部長ノ承認ヲ得

ルモノトス

第七條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

部 長 一名 濟美會長ヲ以テ之ニ充ツ

副 部 長 一名 濟美會副會長ヲ以テ之ニ充ツ

委 員 若干名 部長指名(内一名ハ常務委員トス)委員ノ任期ハ一年トス

但シ重任ヲ妨ゲズ

第八條 部長ハ本部全般ヲ統理ス副部長ハ部長ヲ輔ケ部長事故アルトキ之ヲ代理ス委員ハ部長ノ諮問ニ應

ヘ重要ナル部務ニ參與ス

第九條 本部ノ事業及會計年度ハ一月一日ニ始マリ十二月末日ヲ以テ終ル

第十條 本部ノ經費ハ年度ノ初ニ於テ鈴木合名會社濟美會ヨリ配付ヲ受クルモノトス

第十一條 各部ハ其ノ年ニ於ケル經費豫算ヲ編成シ前年ノ十二月二十日迄ニ部長ニ差出シ承認ヲ經ルモノ

トス

第十二條 各部ハ其ノ年ニ於ケル事業經過ニ決算表ヲ添ヘ翌年一月二十日迄ニ部長ニ差出スモノトス
第十三條 各部ノ組織竝細目ニ關シテハ各部毎ニ規定シ部長ノ承認ヲ受クルモノトス

附 則

本規程ハ大正九年四月一日ヨリ實施ス

第十編 雜 件

◎濟美寮命名ノ件

(大正六年十二月十四日附一般宛支那人通知)

職員各宿所ニ付テハ各所ニ於テ適宜御命名相成居候向モ有之候處今回御家様ニ於テ各地一様ニ「濟美寮(サ
イビレウ)」ト命名相成候間御承知被下度此段御通知申上候也

追テ適當ノ時機ニ於テ適當ノ方法ニ依リ命名式御舉行相成度尙標札等ニハ
株式會社鈴木商店何地支店宿舍 濟 美 寮
日本金屬株式會社何地製鍊所宿舍 濟 美 寮
等ト記スコトニ御取計被下度候

◎株式會社鈴木商店本店濟美寮則

(大正十五年三月二十四日定)

- 第一條 本店宿舍ヲ鈴木商店濟美寮ト稱ス
- 第二條 濟美寮ノ管理寮員ノ收容等ニ關スル事務ハ人事課之ヲ掌理ス
- 第三條 寮員ハ紀律節制ヲ重ンジ自治ノ精神ヲ以テ寮ノ秩序及平和ヲ保持スルニカメラルベシ
- 第四條 寮舎ニ理事一名ヲ置ク

理事ハ寮ノ取締ニ任ズ

第五條 寮員ハ第三條ノ趣旨ニ依リ之ガ徹底ヲ期スル爲メ規約ヲ定メ理事ヲ經テ人事課ノ同意ヲ得タル上實行セラルベシ

第六條 規約中ニ定ムベキ主ナル事項ヲ左ノ通トス

一 寮員ト理事及人事課トノ間ノ聯絡ニ關スル事項

二 門限、起床、就寢、入浴及其ノ他ノ時限ニ關スル事項

三 寮舍内ノ清潔整頓及寮員ノ病傷ニ關スル事項

四 警備ニ關スル事項

五 其ノ他寮ノ秩序維持ニ關スル事項

第七條 理事ハ規約ヲ定ムル際之ニ關與スルモノトス

○^{株式}鈴木商店本店濟美寮規約

(大正十五年三月二十四日定昭和二年二月十五日一部改正)

第一條 寮員ハ總テ本規約ヲ遵守スルコト

第二條 寮員ヲ二班ニ分チ各班ニ委員三名ヲ置クコト

第三條 委員ハ各班ヲ代表シ寮員ト理事トノ連絡ヲ圖ルコト

第四條 委員ハ各班寮員中ヨリ推薦スルコト

第五條 委員ノ任期ハ六箇月トス但シ重任ヲ妨ゲザルコト

第六條 委員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク其ノ班ニ於テ補缺ヲ爲シ理事ニ報告スルコト

第七條 委員ハ委員會ヲ開キ濟美寮則第三條ノ趣旨ノ徹底ニ努ムル爲メ協議ヲ爲スコト

第八條 委員會ノ決議事項中必要ト認ムルモノハ理事ニ報告スルコト

第九條 寮内ノ秩序維持並設備ニ關スル事項ハ委員會ニ於テ協議シ理事ヲ經テ人事課ノ同意ヲ得之ヲ實行スルコト

第十條 門限、起床、就床及入浴ハ左ノ時限ニ依ルコト

門限 午後十一時

起床 出勤時刻一時間前迄

就床 午後十時半迄

入浴 午後十時半限

第十一條 寮員外泊セントスルトキハ豫メ委員又ハ理事ニ届出ツルコト

第十二條 寮員ハ常ニ自ラ室内ノ清潔整頓ヲ圖ルコト

第十三條 寮員中ニ病傷アルトキ又ハ寮舍内ニ異狀アルトキハ同室者又ハ之ヲ知リタル寮員ヨリ遲滯ナク委員又ハ理事ニ通知スルコト

第十四條 寮員ハ各室ノ戸締及火氣ノ始末ヲ嚴ニシ盜難火災ノ豫防ニ努ムルコト非常事變ニ際シテハ委員及理事ト協力シ應急ノ任ニ服スベキコト

第十五條 寮員ハ室内ニ於テモ自己ノ趣味ノ爲メニ他人ニ迷惑ヲ及ボスガ如キ行爲ナキ様注意スルコト

第十六條 寮員來客ヲ宿泊セシメントスル場合ハ豫メ委員ヲ經テ理事ノ承認ヲ受クルコト

- 第十七條 寮員中本規約ヲ遵守セザル者アルトキハ委員又ハ理事ヨリ相當注意ヲ加ヘ尙改悛ノ狀ナキトキハ其ノ事實ヲ人事課ニ報告スルコト
- 第十八條 寮員本寮ノ改善ニ就キ希望アルトキハ委員又ハ理事ニ申出ヅルコト
- 第十九條 規約改正ハ委員會之ヲ審議シ總會ヲ經テ理事及人事課ノ同意ヲ受ケ實行スルコト

◎鈴木學生貸費規則

(大正十一年三月廿三日定)

- 第一條 鈴木家ハ前途有望ノ學生生徒ニシテ學資乏シキ爲メ其ノ志ヲ遂グル能ハザル者ニ對シ本規則ニ依リ貸費ス
- 第二條 貸費スベキ者ハ高等學校、專門學校程度以上ノ學校ニ在學シ身體強健、學術優等、品行方正ノ者ニ就キ銓衡ノ上之ヲ定ム但シ鈴木合名會社職員ノ子弟ニ在リテハ中等程度ノ學校ニ在學スル者ト雖モ一年以上在學シ其ノ席次同級生中二分ノ一以內ノ者ニ限り特ニ貸費スルコトヲ得
- 第三條 貸費ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ學業履歷書、學業成績表、身體檢查書、戶籍謄本並家計ノ狀況ニ關スル明細書ヲ添ヘ保證人二名(內一名ハ親權者又ハ自家ノ戶主)連署シ相當ノ紹介者ヲ經テ差出スベシ
- 第四條 貸費ノ承諾ヲ得タル者ハ第二號書式ノ誓約書ニ最近ノ寫眞一葉(名刺形半身像臺紙ナキモノ)ヲ

添ヘ差出スベシ

- 第五條 貸費ハ授業料及毎月交付金トシ授業料ハ納付期毎ニ、毎月交付金ハ毎月下旬之ヲ交付ス
- 第六條 貸費生左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ其ノ資格ヲ喪失スルモノトス
- 一 在學中落第シタルトキ
- 二 學業ヲ懈リ又ハ品行ヲ紊ル等學生生徒ノ本分ヲ守ラズ若クハ其ノ體面ヲ汚損スル行爲アリタルトキ
- 第七條 貸費生ニシテ病氣其ノ他止ムヲ得ザル事故ノ爲メ原級ニ留マリタル者ニ對シテハ詮議ノ上特別ノ取扱ヲ爲スコトアルベシ
- 第八條 貸費生ハ隨時其ノ修學狀況ヲ報告スベク又休學退學ノ場合ハ勿論及第落第又ハ卒業シタルトキハ其ノ都度遲滞ナク届出ヅベシ
- 第九條 休學シタル者ニハ休學期間貸費ヲ停止ス
- 第十條 保證人ハ丁年以上ノ戶主ニシテ一家計ヲ立ツル者タルベシ
- 第十一條 保證人死亡シタルトキハ遲滞ナク代員ヲ定メ届出ヅベシ
- 第十二條 貸費生卒業シタルトキハ卒業後滿二年ニ達シタル月ノ翌月ヨリ起算シ貸費ヲ受ケタル月數ノ二倍半ノ期間ニ於テ之ガ總額ヲ月賦返納スベシ
- 前項月賦返納ハ返納月數(貸費ヲ受ケタル月數ノ二倍半)ヲ三等分シ其ノ各期間ニ對シ左ノ率ヲ以テ算出シタル月割額ニ依ルモノトス
- 第一期間 貸費金總額ノ百分ノ二十五ノ月割額
- 第二期間 貸費金總額ノ百分ノ三十五ノ月割額
- 第三期間 貸費金總額ノ百分ノ四十ノ月割額
- 第十三條 貸費金ハ前條ノ規定ニ拘ラズ本人ノ希望ニ依リ卒業後一箇年ヲ經ルヲ待タズシテ返納ヲ始メ若

クハ一時ニ返納シ又ハ月賦返納額ヲ増加シテ其ノ期限ヲ早ムルコトヲ得
第十四條 貸費生第六條ニ依リ其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ卒業ニ至ラズシテ漫ニ退學シタルトキハ貸費金總額ヲ三箇月以内ニ返納スベシ

前項ノ期限ヲ過ギ返納セザルトキハ保證人ニ於テ代納スベキモノトス但シ事情ニ依リ特ニ月賦返納ヲ許スコトアルベシ此ノ場合ニ於ケル月賦返納ノ方法ハ第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十五條 貸費生病氣ノ爲メ修學ニ堪フル能ハズ承認ヲ經テ退學シタル者ニハ其ノ家計ノ如何ニ依リ貸費金ノ全部又ハ一部ノ返納ヲ猶豫又ハ免除スルコトアルベシ

第十六條 貸費生又ハ貸費生タリシ者死亡シタルトキハ事情ニ依リ本人ノ既ニ受ケタル貸費金若クハ之ガ未完納額ノ返納ヲ免除スルコトアルベシ

第十七條 兵役服務中ニ在リ又ハ一定ノ職業ヲ得ズシテ何等ノ收入ナキ爲メ貸費金ノ返納ヲ爲スコト能ハザル者ニハ願ニ依リ特ニ之ヲ猶豫スルコトアルベシ

第十八條 左ノ事由ニ因リ貸費金ノ返納ヲ爲スコト能ハザル者ニハ願ニ依リ特ニ之ヲ猶豫又ハ減額スルコトアルベシ

- 一 本人又ハ近親ノ者重患ノ爲メ多大ノ治療費ヲ要シタルトキ
- 二 近親ノ者死亡シ多大ノ支出ヲ要シタルトキ
- 三 火災水難其ノ他重大ナル事變ニ遭ヒタルトキ

附 則

第十九條 本規則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十條 大正八年七月三十一日人事係通知「職員ノ子弟ニ對シ學費貸與ノ件」及大正十年二月十八日人事係通知「見習員給費獎學規程」ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ成規ニ依リ現ニ給費生タル者ニ

付テハ其卒業ニ至ル迄舊ニ仍リ取扱フベキモ現ニ貸費生タル者ノ貸費返納ニ關シテハ特ニ貸費ノ初ニ溯リ本規則ヲ適用スルモノトス

第二十一條 貸費事務ハ當分ノ間鈴木合名會社總務部ニ於テ之ヲ取扱フ

(第一號書式)

貸 費 願 (用紙美濃紙)

私儀何學校何科何學年ニ入學致(修業中ニ)候處學費ニ乏シク困難罷在候間何年何月ヨリ右學校ヲ卒業スル迄毎月金何圓宛及各期授業料借用致度仍テ學業履歷書等添附保證人連署ヲ以テ此段相願候也

大正 年 月 日

本 籍 現住所 本人 何 某印

本 籍 現住所 本人 何 某印

木 籍 現住所 本人トノ關係 職業 保證人 何 某印

本 籍 現住所 本人トノ關係 職業 保證人 何 某印

本 籍 現住所 本人トノ關係 職業 保證人 何 某印

本 籍 現住所 本人トノ關係 職業 保證人 何 某印

本人下ノ關係
職業
保證人

何 生 年 月 日 某印

鈴木家御中

(第二號書式)

參錢收入
印紙貼用

誓 約 書 (用紙美濃紙)

私儀本年何月ヨリ肩書ノ學校ヲ卒業スル迄毎月金何圓宛及各期授業料借用ノ事御承諾被成下候ニ付テハ御規則ヲ遵守シ貸費金ハ御規定ニ從ヒ無相違返納可致候仍テ誓約書差出候也

大正 年 月 日

本 籍

現住所

何學校何學科何學年生

本 人

何 生 年 月 日 某印

右何某ニ對シ今般貸費御承諾被成下候ニ付テハ御規則ヲ遵守爲致可申ハ勿論萬一本人ニ於テ貸費金ノ返納ヲ怠リ候節ハ拙者ニ於テ代納可致候也

本 籍
現住所

本人トノ關係

職 業

保證人

何 生 年 月 日 某印

本 籍

現住所

本人トノ關係

職 業

保證人

何 生 年 月 日 某印

鈴木家御中

(注意) 本人及保證人轉籍轉住等本書要項ニ異動ヲ生ジタルトキハ速ニ届出ツベキコト

○株式鈴木商店ノ商號及商標ニ關スル件

(大正十二年三月十五日附各所宛通知)

- 一 商號ノ書キ方ハ次ノ通スルコト
 - 株式會社 鈴木商店 (株式會社 鈴木商店トセザルコト)
 - 株式會社 鈴木商店 ○○支店 (又ハ株式會社 鈴木商店 ○○出張所)
- 支店出張所ニ在リテハ其ノ地名ヲ挿入シテ次ノ通スルコト

- 二 商標ハ内地用  外國用  トシ適宜使用スルコト

◎東京ステーションホテル(重役専用室)使用ニ關スル件

(大正七年四月十六日人事通知第一〇〇號)

各位御上京中東京ステーションホテル第二十號室(重役専用室)ヲ御使用相成候向有之候處差支ヲ生シ候例モ少カラズ候ニ付御上京中同室御使用ノ必要アル場合ハ豫メ一應鈴木商店東京支店庶務課へ御協議相成度右御通知申上候也